



子どもの母校は、我が母校

# 会員のための大学ガイドブック 2016

後援会は学部学生すべての父母・保証人が会員です



# 「会員のための大学ガイドブック」発行にあたって



法政大学後援会会長  
祖父江 一仁

ご入学おめでとうございます。法政大学後援会は首都圏及び北海道から沖縄までの全国36支部で構成され、約2万8,000人の会員を有する父母・保護者の組織です。「大学の教育方針に則り、大学と学生家庭との連絡を緊密にして教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図る」ことを目的に1947年に設立され、今年で設立69年目を迎えます。「大学と家庭が統一ある教育理念のもとに学生の人間形成の推進に協力する。広い立場に立って学生生活をより豊かにする」という理念に基づき、大学への助成・寄贈、奨学金による学生支援、体育会等への課外活動支援などを行っています。この『会員のための大学ガイドブック』は大学と後援会が連携し発行している後援会情報冊子です。学習環境、履修、成績、進級・卒業要件、留学・奨学金制度、就職活動、課外活動などの最新情報を広く掲載しています。4年間の学生生活の様々な場面において必要な情報が詰め込まれていますのでぜひご活用下さい。後援会はこのガイドブック以外に年8回発行の広報誌「法政」、大学と連携した「新入生父母の集い」や「父母懇談会」などの行事開催、後援会ホームページ、メルマガなどで後援会会員に対し様々な情報発信を行っています。より充実した学生生活が送れるよう後援会をご活用いただければと思います。

法政大学は設立150周年を迎える2030年に向けて長期ビジョン「HOSEI2030」を策定しています。後援会は大学の教育方針に則り、教育の内容と質の向上を時代の変化に合わせながら、法政OB組織である校友会と連携し大学をバックアップしていきます。法政大学後援会は会員の皆様に支えられて活動しています。“学生と大学の一番の応援団”として学生生活に対するさらなる満足度向上を目指していきます。これからも後援会活動へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

## 法政大学後援会事務局

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学九段校舎 4F

TEL : 03-3264-9350・4120 FAX : 03-3264-9367 E-mail : koenkai@hosei.ac.jp

[後援会ウェブサイト]

<http://www.hosei-koenkai.org/>



[メールマガジン登録]

[koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp](mailto:koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp)



# 後援会に期待します



法政大学総長  
田中 優子

スーパーグローバル大学創成支援の採択を受け、グローバル化に向けて、さらなる教育環境づくりと教育内容の充実に取り組みます。

21世紀社会においては、少子高齢化やグローバル化の台頭などの急速な変化により、これまでの知識や経験では解決することが困難な、様々な問題が発生しています。世界情勢や社会の現状を把握し、自らが考え、行動し、解決することができる自立型人財の育成を目指した大学づくりを目指さなければなりません。

学問への意欲を高めていく環境づくりのためには、より一層、学校・家庭・地域における互いの連携と協働が必要です。本学後援会の「子どもの母校は我が母校」という合言葉は全国のご父母の皆さまとの絆を深め、密接な協力・支援体制が築かれています。

これからも法政大学後援会が本学とともに手を携え発展されますとともに、ご支援とご協力を賜りましょう、よろしくお願いいたします。

## CONTENTS

法政大学後援会について	2
事業	3
2015年度収支予算	7
法政大学後援会組織図／法政大学後援会の運営諸機関	9
法政大学後援会寄贈	10
法政大学後援会会則	11
法政大学後援会の歴史	12
法政大学後援会スポーツ応援隊／後援会ウェブサイトのご案内	14

●学びと学生生活	15
授業の形態／シラバス／履修登録	16
試験と成績(成績評価・GPA)／単位／進級・卒業要件	17
法政大学の学習環境／学習支援	18
法政大学ピアニット／大学主催の行事	19
クラブ・サークル活動	20
学費と休学・退学について／各種の届・願の提出先	22
奨学金制度	23
診療所／健康診断	29
学生相談室・障がい学生支援室・ハラスメント相談室	30
法政大学学生教育研究災害傷害保険(略称:学研災)について	32
トラブルに巻き込まれないために	33
防災面での危機管理について	34

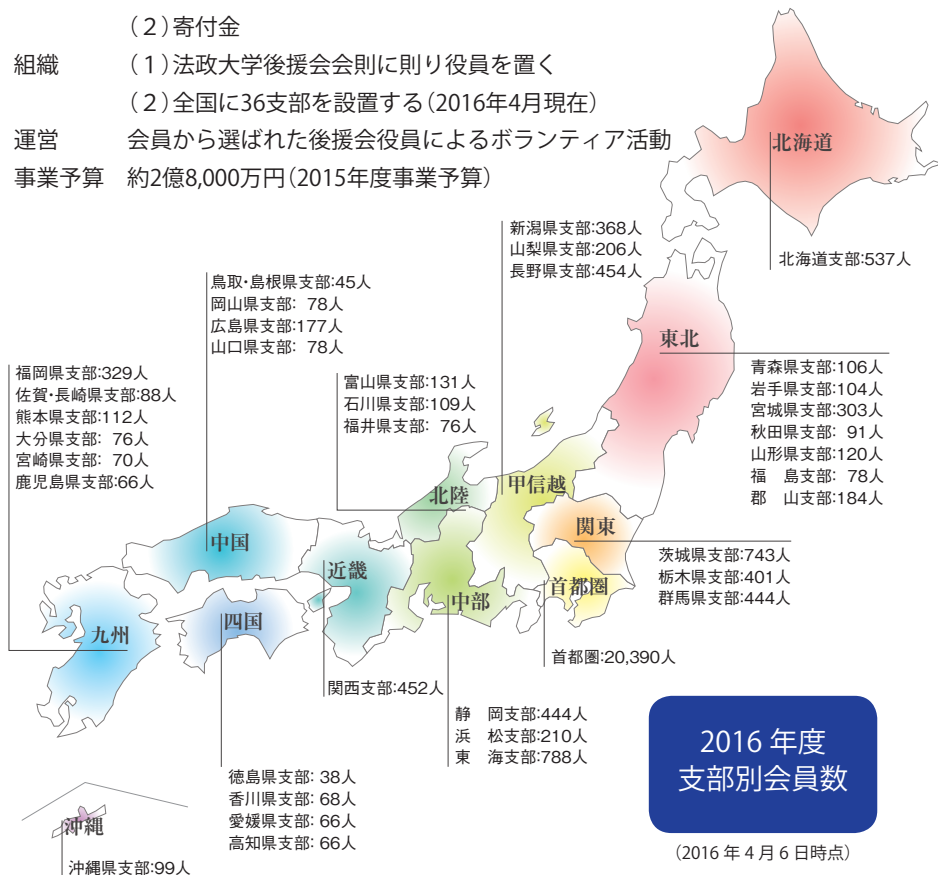
●就職	35
就職	36
理系の就職活動	38
教職・資格	39
講座	40
公務員	42
学部別の主な就職先	43
就職に関するQ & A	44

●大学情報	45
法政大学の歴史・草創期の功労者	46
著名出身者	48
校旗・校章	49
校歌・応援歌・学生歌・法政大学行進曲	50
市ヶ谷キャンパスMap	52
多摩キャンパスMap	56
小金井キャンパスMap	60
オレンジネットワーク事業／定期刊行物案内	64
国際教育交流	66
海外交流大学	68
一般社団法人法政大学校友会(卒業生組織)	69
学校法人法政大学データ一覧	70
大学院	77
図書館	78
活躍する体育会	79
法政オリジナルGOODS	80
問い合わせ電話番号と関連記事	裏表紙

## 「子どもの母校は、我が母校」

～学生の学問と学校生活に対する満足度向上のために～

1. 会員 法政大学に在籍する学部学生すべての父母・保証人 全国約28,000人
2. 目的 大学の教育方針に則り、大学と学生、家庭との連絡を緊密にして教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的とする。
3. 発足 1947年
4. 主な事業 (1) 学生と大学への助成  
(2) 広報関係への助成  
(3) 支部総会・父母懇談会・首都圏父母懇談会の開催  
(4) 後援会奨学金の策定と運用
5. 経費 (1) 会費(毎年度授業料納入時に大学が代理徴収)および入会金(新会員のみ)  
(2) 寄付金
6. 組織 (1) 法政大学後援会会則に則り役員を置く  
(2) 全国に36支部を設置する(2016年4月現在)
7. 運営 会員から選ばれた後援会役員によるボランティア活動
8. 事業予算 約2億8,000万円(2015年度事業予算)



**2016年度  
支部別会員数**

(2016年4月6日時点)

## 1. 学生と大学への助成

課外活動・学生行事・各種講座、スーパーグローバル大学に対する支援、奨学・奨励金などの学生支援を行うとともに、図書・備品等の大学への助成・寄贈を行います。



備品の寄贈・図書購入の補助・各種講座の助成等、学生と大学への支援は多岐に渡ります

## 2. 会員向け企画の充実

父母懇談会は、保護者が教育環境や学生生活を知る機会として、また、新入生父母の集いは、新入生保護者の不安解消のために、首都圏と全国の支部で行われており、一層の充実を図ります。また、首都圏並びに全国の支部では、校友会との交流も積極的に行っています。



首都圏父母懇談会

## 3. 広報活動の推進

広報誌「法政」の制作費等の補助を行います。また、「会員のための大学ガイドブック」を作成するとともに、後援会ホームページを充実させ、各活動報告やスポーツ応援などの情報発信を行います。



## 4. 自然災害等被災学生への支援

自然災害等に被災した学生への就学特別支援を実施します。



支援学生からは感謝の言葉が寄せられています

## 【父母が利用できる大学施設】

利用申込および問い合わせ先：法政大学 80 年館受付 TEL.03-3264-9810

### ①石岡総合体育施設

1泊3食 5,400 円で利用できます。学生の利用が多い春・夏季休暇期間をご遠慮ください。



### ②白馬山荘

1泊 2,700 円、朝食 432 円、夕食 648 円、冬季暖房費（11 月～4 月）540 円で利用できます。



## ■2016年度の主な事業計画

2016年度(2016年4月～2017年3月)の主な事業計画は以下の通りです。

事業項目		主な事業	主な活動内容
1.父母懇談会	支部	・支部総会・父母懇談会を36支部で開催(7月9日～8月28日)	・周年支部で記念事業を実施(若手県、福島、郡山、茨城県、岡山県、佐賀・長崎県支部) ・参加者数の増加並びに満足度向上を目指した取組み。(例：後援会ホームページを活用した欠確認の運用開始(6/4～以降)、情報交換や個別相談の充実)
	首都圏	・東京・神奈川・千葉・埼玉の父母を対象に3キャンパスで開催 ・市ヶ谷キャンパス(10月9日) ・小金井キャンパス(10月15日) ・小金井キャンパス(10月16日)	・各キャンパスの特色にあわせた内容とする ・3キャンパスとも別日程で開催
2.新入生父母の集い	支部	・各支部で実施(5月～7月)	・大学職員・後援会支部役員が出席して、学生生活を中心とした情報提供をするともに、新入生父母の疑問や質問に答え不安の解消に努める
	首都圏	・大学主催による「新入生父母説明会」への協力	・大学主催による「新入生父母説明会」を支援し、学生生活を中心とした情報提供をするともに、新入生父母の疑問や質問に答え不安の解消に努める ・新入生父母に対する後援会活動の紹介と参加案内(HSCスポーツ応援などの案内)
3.支部における諸活動		・キャンパス見学(スポーツ応援)の実施 ・支部による学生課外活動の支援 ・支部活動の活性化に向けた議論 ・校友会との連携強化 ・支部長会議への参加	・最新の支部活動情報を後援会ホームページで会員に広報 ・支部長会議などで支部活動や支部活動活性化の情報交換 ・校友会との懇談会を実施
4.学生・大学への助成		・自然災害などにおける学生支援 ・経済的困窮学生の為の支援 ・大学行事、国際交流、大学備品購入、各種講座、就職活動、体育会系クラブ、課外活動、図書購入、広報誌「法政」、全学生に配布する学生手帳作成、就職活動手帳作成、その他の助成を実施 ・大学の歴史を体系化する取組みへの支援	・自然災害などで被災した学生への修学特別支援 ・スーパーグローバル大学事業へ重点支援 a) 後援会奨学基金経費負担助成積増 b) グローバル留学関連演習費助成 ・ピアサポート経費補助、各キャンパス法政祭補助及び広報活動補助など ・学生の食生活改善のため100円朝食の補助 ・富士見ゲート竣工記念寄贈品(オレンジホール移動観覧席) 予算執行 ・「法政大学後援会特別支援費」の継続積立
5.広報活動		・後援会だより、後援会ホームページの活用 ・「会員のための大学ガイドブック」の改善 ・スポーツや文化活動の情報発信	・主な後援会活動や体育会スポーツ応援活動を後援会ホームページ及び広報誌「法政」で随時報告 ・後援会紹介DVDを作成し、首都圏父母懇談会、支部総会などで放映。また、後援会ホームページにて配信 ・「会員のための大学ガイドブック」の改訂 ・後援会ホームページの表示並びに機能の継続的な向上に努める。(例：リニューアル・スマホ対応の運用開始 6/4～以降) ・法政大学後援会パンフレット(FAQ)製作
6.大学、校友会との連携強化		・後援会運営委員と総長・学内理事、学部長・常任参与・参与、校友会との懇談会の実施 ・校友会との共同企画を実施	・大学との懇談会実施 ・大学、校友会との共同事業委員会に出席 ・校友会主催行事への出席 ・校友会との懇談会実施 ・校友会とのスポーツ支援への連携強化
7.学生(課外)活動支援		・東京六大学野球・ラグビー・アメフト・箱根駅伝などの応援 ・文化系学生の各種発表会の支援	・HSC(HOSEI SPORTS COMMUNITY)活動支援および財政支援 ・HSCにおいて応援やイベント日程を後援会ホームページ、メールマガジンなどで広報し、応援参加者を募る ・東京六大学野球・ラグビー・アメフト・駅伝などの支部・本部合同応援
8.組織の充実		・新入生保護者への後援会活動の情報発信 ・支部役員と本部役員との交流 ・本部3キャンパス役員との交流 ・会員であること意識向上についての取り組み	・入学式で後援会会長が後援会活動について紹介 ・新入生保護者へパンフレットを配布 ・支部キャンパス見学、スポーツ応援において、本部役員へ支部との交流促進呼びかけ ・首都圏父母懇談会にて、3キャンパス役員の相互支援 ・新役員への啓発活動(新役員との交流会など実施) ・後援会役員連絡体制の整備(首都圏)
9.後援会設立70周年に向けた準備		・2016年度：準備委員会の立ち上げ	・70周年記念事業の企画・準備(記念式典、寄贈品、記念刊行物など)
10.その他の具現化		・対外組織との連携 ・一部学生が抱える発達障がいに関する啓発	・関西大学教育後援会との合同研修会開催 ・東京私立大学父母・保護者の会事務局連絡会 ・後援会役員研修にて学生の発達障がいの現状を啓発

## 2016年度の主な年間行事

月	日	曜日	行事	内容
4月	3日	日	入学式	大学行事、日本武道館にて開催、後援会会長が後援会の活動について説明
5月	21日	土	幹事会	後援会の役員会。決算報告、予算案等を審議
6月	3日	金	支部長懇談会	支部活動の報告と意見交換
	4日	土	支部長会議	後援会事業と支部総会・父母懇談会について打ち合せ
			総会	事業報告・決算報告、事業計画・予算案、2016年度役員を審議決定
			懇親会	大学主催の懇親会
12日	日	首都圏新入生父母説明会	首都圏の新入生父母を対象(大学主催)	
7月	11日	月	校友会との懇談会	大学発展のために、校友会と後援会が年1回行う懇談会
7月～8月		土・日・祝	支部総会・父母懇談会	全国36支部で開催(6ページ参照)。総長、理事、副学長、学部長。学務・学生・就職関係職員が講演や説明を行う
10月	9日	日	首都圏父母懇談会(市ヶ谷キャンパス)	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県在住の会員を対象に各キャンパスごとに開催。講演、キャンパスツアー、個別相談、学生サークル等の紹介等が行われる。(多摩キャンパスは多摩祭と同日開催。)
	15日	土	首都圏父母懇談会(多摩キャンパス)	
	16日	日	首都圏父母懇談会(小金井キャンパス)	
11月	11日	金	支部長懇談会	支部活動の報告と意見交換
	12日	土	支部長会議	支部総会・父母懇談会の報告、活動の情報交換
			学部長・後援会懇談会	支部父母懇談会で会員から寄せられた質問に学部長が回答
	18日～19日	金・土	関西大学教育後援会との懇談会	1961(昭和36)年から続いている関西大学教育後援会との定期研修会
	30日	水	総長・学内理事との懇談会	総長・学内理事と後援会運営委員が会談
1月	21日	土	オール法政賀詞交歓会	総長をはじめとする法政関係者が集う新年会
3月	4日	土	幹事会	後援会の役員会。暫定予算などを審議
			後援会賞表彰	難関試験を突破した学生などを表彰
	24日	金	学位授与式 留学生表彰	大学行事、日本武道館にて開催 国際交流に尽くした留学生を後援会会長が表彰



首都圏父母懇談会



学部長・後援会懇談会



後援会賞表彰

## ■2016年度父母懇談会のお知らせ

ご出席の際は、本誌『会員のための大学ガイドブック』をご持参ください。

●支部総会・父母懇談会 ※該当支部の父母・保証人の皆さまには、6月より順次、案内状をお送りいたします。

支部	開催地	開催日	会場
北海道	札幌市	7月30日(土)	KKRホテル札幌
青森県	青森市	7月10日(日)	ホテル青森
岩手県(50周年)	盛岡市	7月9日(土)	エスポワールいわて
宮城県	仙台市	7月24日(日)	メルパルク仙台
秋田県	秋田市	7月10日(日)	イヤタカ
山形県	山形市	7月24日(日)	ホテルキャッスル
福島(50周年)	福島市	7月10日(日)	福島グリーンパレス
郡山(50周年)	郡山市	7月30日(土)	郡山ビューホテルアネックス
茨城県(40周年)	水戸市	7月16日(土)	水戸京成ホテル
栃木県	宇都宮市	7月17日(日)	ホテルニューイタヤ
群馬県	高崎市	8月20日(土)	エテルナ高崎
新潟県	新潟市	8月21日(日)	万代シルバーホテル
富山県	富山市	8月20日(土)	ANAクラウンプラザホテル富山
石川県	金沢市	8月21日(日)	金沢ニューグランドホテル
福井県	福井市	7月9日(土)	ユアーズホテルフクイ
山梨県	甲府市	7月23日(土)	岡島ロイヤル会館
長野県	松本市	7月24日(日)	ホテル プエナビスタ
静岡	静岡市	7月18日(月・祝)	ホテルセンチュリー静岡
浜松	浜松市	7月24日(日)	ヴィラ呉竹
東海※1	名古屋	8月6日(土)	名鉄グランドホテル
関西※2	大阪市	8月7日(日)	ホテル京阪ユニバーサル・タワー
鳥取・島根県	倉吉市	7月16日(土)	ホテルセントパレス倉吉
岡山県(20周年)	岡山市	8月27日(土)	岡山プラザホテル
広島県	広島市	7月24日(日)	RCC文化センター
山口県	山口市	7月23日(土)	山口グランドホテル
徳島県	徳島市	8月28日(日)	ザ・グランドパレス
香川県	高松市	8月27日(土)	高松国際ホテル
愛媛県	松山市	8月21日(日)	ネストホテル松山
高知県	高知市	7月31日(日)	城西館
福岡県	福岡市	8月20日(土)	ホテルオークラ福岡
佐賀・長崎県(50周年)	佐賀市	8月21日(日)	ホテルニューオータニ佐賀
熊本県	熊本市	8月21日(日)	アークホテル熊本城前
大分県	大分市	8月28日(日)	レンブラントホテル大分
宮崎県	宮崎市	7月31日(日)	宮崎観光ホテル
鹿児島県	鹿児島市	8月27日(土)	城山観光ホテル
沖縄県	那覇市	7月16日(土)	ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー

※1 東海(愛知県、岐阜県、三重県) ※2 関西(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県)

●首都圏父母懇談会 ※東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県在住の1～3年生の下記の皆さまには、9月に案内状をお送りいたします。

キャンパス	開催日	学部
市ヶ谷キャンパス	10月9日(日)	法学部、文学部、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、キャリアデザイン学部、デザイン工学部、GIS(グローバル教養学部)
多摩キャンパス	10月15日(土) 多摩祭と同日開催	経済学部、社会学部、現代福祉学部、スポーツ健康学部
小金井キャンパス	10月16日(日)	情報科学部、理工学部、生命科学部



# 2015年度収支予算

2015年4月1日～2016年3月31日

## 経常費

### 【収入の部】

(単位：万円)

科目(款)	2015年度予算額
1.一般収入	22,696
2.雑収入	52
3.積立金・引当資産からの繰入	2,500
4.預り金収入	7
当年度収入合計(A)	25,254
前年度繰越金	2,301
収入合計(B)	27,555



六大学野球応援

### 【支出の部】

科目(款)	2015年度予算額
1.自然災害等被災学生のための学生支援費	2,000
2.学生支援費	9,033
3.会員情報費	3,155
4.会員行事費	4,174
5.役員活動費	1,232
6.企画運営費	2,542
7.人件費	1,442
8.学生支援積立金	3,000
9.後援会積立金	0
10.引当資産	100
11.未払金支払	5
12.前払金	0
13.予備費	500
14.期末未払金	0
15.前期末前払金支払	0
16.預り金支払	0
当年度支出合計(C)	27,183
当年度収支差額(A)-(C)	△ 1,929
次年度繰越金(B)-(C)	372
支出合計(D)	27,555



六大学野球応援



甲子園ボウル(アメフト)



箱根駅伝

(注) 上記の表の金額は万円未満を四捨五入しているため、合計の数値が計算上一致しない場合がある。

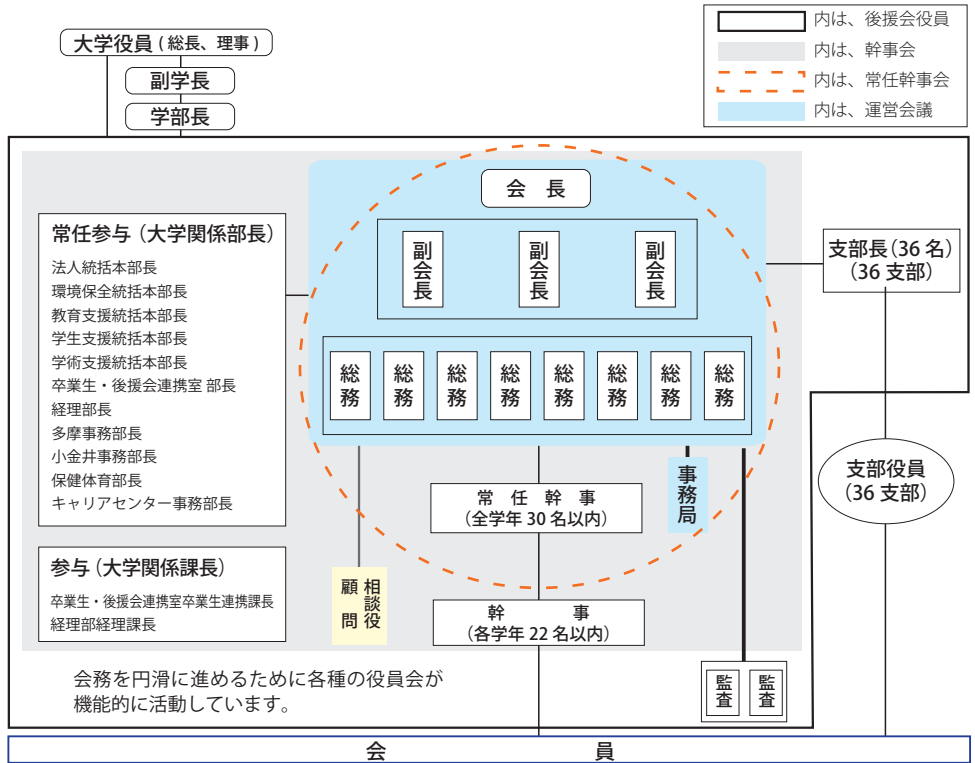
## ■大学および学生への支援費・会員への情報費(2015年度予算)

(単位:万円)

1) 自然災害等被災学生のための学生支援費 2000万円		2,000	自然災害等の被災学生を支援
2) 学生支援費		9,033	学生や大学への助成費
後援会賞 147万円	後援会賞	131	後援会が学生を表彰。対象：難関試験等の合格者、スポーツで顕著な活躍をした学生
	外国人留学生表彰	16	対象：国際交流に貢献した外国人留学生
後援会特別支援費 2,000万円	後援会特別支援費	2,000	LU募金に積立
寄贈品 980万円	寄贈備品	670	多摩キャンパスベンチ、学生団体高額機材購入補助
	寄贈図書	310	3キャンパスの図書館に図書等の寄贈
奨学・奨励金 1,540万円	海外留学奨学金	1,000	派遣留学生奨学金経費一部補助 20万円×49人、認定海外留学生 10万円×2人
	スポーツ奨励金	540	後援会体育会スポーツ奨励金規程により18万円(入学金相当額)×30人
学習・就職支援 456万円	ラーニングcommons運営助成費	350	市ヶ谷地区ラーニングcommons運営助成(学生の学習支援のための運営費補助)
	各種講座助成費	106	自主マスコミ講座、教員採用試験対策講座に助成
課外活動支援 2,596万円	ピアサポート助成費	500	課外教養プログラム、ボランティアセンターイベント等実施する活動に補助
	課外活動助成費	640	各サークルの運営活動に助成
	体育会助成費	1,436	①各部運営補助(スポーツ安全保険加入分含む) ②遠征補助 ③特別合宿補助 ④激励金
	留学生助成費	20	留学生による日本語スピーチコンテストに補助
学生行事支援 363万円	新入生歓迎会	105	学生が主催する3キャンパスの新入生歓迎会に補助
	卒業祝賀会	108	学科ごとに30,000円
	大学祭	115	法政祭環境対策費補助、多摩祭環境対策費補助、小金井祭環境対策費補助
	各種大会補助	35	多摩スポーツフェスティバル補助、小金井スポーツ大会補助
記念品代 770万円	学生記念品費	770	入学生配付CD作成、大学ホームページ動画配信代、学生手帳、就職活動手帳作成補助
祝金 160万円	祝金	160	大学関係行事・祝賀会祝金
弔慰金 20万円	学生弔慰金	20	学生の死去に香典2万円
3) 会員情報費		3,155	
広報誌「法政」 2,631万円	広報誌「法政」作成補助	1,653	大学が制作し、年8回発行している広報誌「法政」の作成および会員への郵送代の補助
	広報誌「法政」郵送費	978	
大学ガイドブック 280万円	大学ガイドブック作成費	211	新入生父母保証人に送付する「会員のための大学ガイドブック」の作成と郵送代、会員全員に大学問い合わせ電話番号一覧送付のための印刷代
	大学ガイドブック郵送費	69	
ホームページ 244万円	ホームページ作成・維持費	244	後援会ホームページ維持費、後援会ホームページリニューアル費用

(注) 上記の表の金額は万円未満を四捨五入しているため、合計の数値が計算上一致しない場合がある。

# 法政大学後援会組織図



## 法政大学後援会の運営諸機関

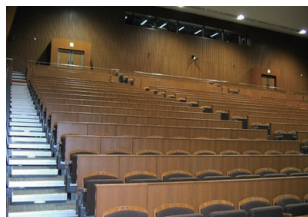
後援会は、次の機関で運営しています。

機関名称	構成員等	機能・役割等
運営会議	会長、副会長3名、総務8名 会長、副会長は常任幹事より、総務8名は、幹事または常任幹事より選出	会長は本会の代表 副会長は会長を補佐 会務の企画・実施
監査	2名を相談役・顧問経験者より選出	会務および会計を監査
常任幹事会	運営委員、常任幹事 常任幹事は幹事より30名以内を選出	会務に参画し、常時会務を掌理し、予算その他重要事項を審議
幹事会	運営委員、常任幹事、幹事、相談役、顧問、常任参与、参与 幹事は各学年会員より22名以内を選出	決算・予算・事業計画、その他重要事項を審議 暫定予算の審議決定 年2回開催(3月、5月)
支部長会議 支部長懇談会	運営委員ならびに各支部より支部長と支部役員1名	後援会事業および支部総会・父母懇談会等支部活動に関する事項を審議 年2回開催(6月、11月)
総会	全役員および父母保証人(会員)	決算、予算、その他重要事項を審議決定 定例年1回(6月)
支部総会	支部役員および支部会員	支部の決算、予算、その他重要事項を審議
支部役員会	支部長および支部役員	支部の運営を協議

\*相談役、顧問は若干名を幹事会で推薦 \*常任参与、参与は、若干名で大学の後援会関連事務部局の所属長、管理職

# 法政大学後援会寄贈

学生と大学への助成の一環としての機器備品等の寄贈の一例です



ロールバックチェア外濠校舎薩埵ホール  
(市ヶ谷キャンパス)



ロールバックチェア東館2階体育館  
(小金井キャンパス)

応援旗



野外用テーブルチェア(多摩キャンパス)



テーブルとイス



チアリーディング部衣装



構内循環バス(多摩キャンパス)



トレーニングマシン(多摩キャンパス)

# 法政大学後援会会則

1964年6月施行

一部改正	1967年6月	1969年6月	1971年6月	1972年6月
	1975年6月	1977年6月	1981年6月	1991年6月
	1993年6月	1994年6月	2001年6月	2007年6月
	2009年6月	2010年6月	2014年6月	

- 第1条 本会は法政大学後援会と称し、事務所を法政大学内に置く。  
第2条 本会の会員は法政大学学部学生の父母/保証人とする。  
第3条 本会は法政大学の教育方針に則り大学と学生家庭との連絡を緊密にして教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的とする。  
第4条 本会は下記の事業を行なう。

- (1) 学生の学業徳操に関する事項。
  - (2) 学生の体育保健に関する事項。
  - (3) 大学の発展および施設の充実にに関する事項。
  - (4) 教授ならびに講師の研究補助に関する事項。
  - (5) 会員の親睦に関する事項。
  - (6) その他本会の目的達成に必要な事項。
- 第5条 本会の経費は会費、入会金および寄付金をもって充てる。  
(1) 会員は別に定める会費を負担し、授業料と共に納めなければならない。  
(2) 会員は新たに本学に入学した学部学生1名につき、会費と入会金を納めなければならない。  
(3) 会費および入会金は総会において定める。

第6条 本会は支部を置くことができる。

第7条 本会に下記の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3名
- (3) 総務 8名
- (4) 監査 2名
- (5) 常任幹事 全学年30名以内
- (6) 幹事 各学年22名以内
- (7) 支部長 各支部1名
- (8) 相談役 若干名
- (9) 顧問 若干名
- (10) 常任参与 若干名
- (11) 参与 若干名

第8条 第7条第1号から第6号までの役員については幹事会において役員の中から選出した選考委員をもって構成する選考委員会が次の各号により選出し、総会の議を経て決定する。

- (1) 会長および副会長は常任幹事より選出し、総務は常任幹事または幹事より選出する。
  - (2) 常任幹事は幹事より選出する。
  - (3) 幹事は会員より選出する。
  - (4) 監査は相談役・顧問経験者より選出する。
2. 支部長は支部会員より選出する。  
3. 相談役および顧問は幹事会で推薦する。  
4. 常任参与は参与中より会長が委嘱する。  
5. 参与は教職員中より幹事会の推薦により会長が委嘱する。
- 第9条 役員任期は1か年とする。ただし重任を妨げない。
- 第10条 会長は会務を総理し、本会を代表する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長が職務を遂行できないときは、その職務を代行する。
3. 総務は会長の諮問に応ずるほか、運営会議に出席し、会務に参画する。

4. 常任幹事は会務に参画し、常時会務を掌理し、常任幹事会に出席して予算その他重要な事項を審議する。

5. 幹事は会務に参画し、幹事会に出席して付議事項および会長が必要と認める事項を審議する。

6. 監査は本会の会務および会計を監査する。

7. 相談役、顧問および常任参与は、会長の諮問に応ずるほか、幹事会その他の会合に出席し、会務に参画する。

8. 参与は幹事会その他の会合に出席し、会務に参画する。

9. 支部長は本会会則および支部会則により会務に参画する。ただし本部会務への参画は会長の要請に基づくものとする。

第11条 定時総会は年1回開催し、次の事項を審議する。

- (1) 決算、予算の承認 (2) 役員改選 (3) その他重要事項
2. 次の場合、会長は速やかに臨時総会を開催しなければならない。  
(1) 幹事の2分の1の要求があった時。  
(2) 常任幹事会の決議があった時。  
3. 定時総会及び臨時総会は、会長が招集する。  
4. 定時総会及び臨時総会の議長には、会長がこれに当たり、その議事は、出席者の過半数をもって決する。可否同数の時は、会長がこれを決定する。

第12条 運営会議は、会長、副会長および総務で構成し、会長が招集する。

2. 常任幹事会は、会長、副会長、総務および常任幹事で構成し、会長が招集する。

3. 幹事会は、会長、副会長、総務、常任幹事、幹事、相談役、顧問、常任参与、参与で構成し、会長が招集する。

第13条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

2. 総会までの年度当初予算については、幹事会において暫定予算を決定し、支出することができる。

第14条 本会則は総会の議決によらなければ変更することができない。

第15条 本会に協力する卒業生父母/保証人をもって賛助員とすることができる。

## 附則 1

(第二部在学生の父母加入に関する経過措置)

第1条 この改正会則の第二部在学生の父母等に対する適用は、1992年度以降とする。

但し、1991年度以前に入学した第二部在学生の父母等については、入会金および会費を免除する。

第2条 会費等について

1. 新一年生より順次徴収する。
2. 入会金・会費については、第一部学生と同額とする。

## 附則 2

第5条 (1)項の会費には広報誌「法政」購読料を含む。

## 附則 3

この会則は、2014年6月7日から第2条を一部改正し施行する。

## 附則 4

この会則は、2014年6月7日から第5条を一部改正し施行する。

第5条 入学する第二子目以降の学生について納入する入会金と同額の負担金を、会則では便宜的に「入会金」と称する。

## 附則 5

この会則は、2014年6月7日から第15条を一部改正し施行する。

以上

# 法政大学後援会の歴史

年度 (4月～3月)	後援会関係事項	支部設立等	大学と学生への寄付・助成・寄贈
1947 (昭和22)	6月28日、法政大学後援会の前身「法政大学父兄会」が、野上豊一郎総長が在京父母に呼びかけて学内で開催した「法政大学父兄懇談会」の席上で誕生 ○父母の教養講座の開催(美濃部亮吉氏や谷川徹三氏らが講師の人気講座で7回続く) ○「父兄会会報」発行		○「大学復興協力募金事業」に協力
1952 (昭和27)			○後援会の全額助成により雑誌「法政」を刊行
1955 (昭和30)	○元井上通信英語学校跡地に後援会事務所の開設		○診療所にレントゲン一式を寄贈
1961 (昭和36)	○関西大学教育後援会との交流を開始		
1965 (昭和40)	○第1回学生父兄欧州旅行団を実施	○岩手県支部	○「大学創立85周年記念事業」に寄付
1966 (昭和41)	○後援会OBの会「法政大学後援会クラブ」の結成	○福島支部、郡山支部、佐賀県支部、青森県支部	
1967 (昭和42)	○法政大学後援会20年史「学生と共に」発刊	○新潟県支部	
1968 (昭和43)	○「支部長会議」の開始		○川崎グラウンド土地買収費の一部を助成
1969 (昭和44)		○静岡中部支部	○工学部入口にバス停を寄贈
1970 (昭和45)		○山形県支部	
1971 (昭和46)	○大学との定期連絡会の開始	○浜松支部	○「大学創立90周年事業」として、大学が取得した町田校地用に桜の苗木を寄贈
1973 (昭和48)	○総長との新春座談会を開催		○「市ヶ谷体育館建設資金」第1回分を寄付
1974 (昭和49)	○卒業式後に後援会主催「謝恩会」を開催。以後恒例となる		○「市ヶ谷体育館建設資金」第2回目を寄付
1975 (昭和50)	○「大学との業務連絡会」を開催		○本校及び工学部体育館用体育器具購入資金を助成
1976 (昭和51)		○茨城県支部、栃木県支部	
1977 (昭和52)	○大学の「国際交流センター」開設に伴い、「海外研修セミナー」に助成を開始	○群馬県支部、福岡県支部 ○静岡中部支部を静岡支部に改称	
1979 (昭和54)	○「東京地区父兄懇談会」を開催		
1980 (昭和55)			○図書館建設助成積立金を大学に寄付
1981 (昭和56)	○法政大学報を会員に郵送(～2001年度)		○「法政大学100周年記念事業」に寄付
1982 (昭和57)	○「より良き学園をめざして/法政大学後援会35年史」の発刊	○北海道支部	○学生部に映写機を寄贈
1984 (昭和59)	○父母懇談会で成績表を配付	○広島県支部	○市ヶ谷キャンパス、小金井キャンパスにトラックを寄贈
1987 (昭和62)	○「法政」臨時増刊号の発刊	○愛知県支部	○応援団吹奏楽部の楽器購入補助
1988 (昭和63)		○鹿児島県支部	○工学部技術連盟にトラック寄贈
1989 (平成元)	○大学から大学職員が事務局長として出向		○スポーツ海外交流(招聘)の助成
1990 (平成2)	○「総長との懇談会」開始	○長野県支部	○応援団に団旗を寄贈
1991 (平成3)	○「法政大学後援会寄付・学生事故災害補償基金」の覚書を締結	○石川県支部、宮城県支部	○「日中合同科学探検法政大学タクラマカン砂漠第1次調査隊」に寄付
1992 (平成4)	○第二部在学生父母の後援会加入	○四国支部	○第二部学生父母の加入を記念した法政大学後援会寄付・学生事故災害補償基金積立の開始 ○「日中合同科学探検法政大学タクラマカン砂漠第2次調査隊」に寄付
1993 (平成5)	○「首都圏父母懇談会」の開始 ○「学部長懇談会」の開始		
1994 (平成6)	○阪神大震災罹災者に対する減免措置を決定	○関西支部	○市ヶ谷・小金井キャンパスにトラック寄贈
1995 (平成7)	○阪神大震災罹災者に会費・入会金の免除と見舞金の措置	○愛知県支部を東海支部に改組	○山嶽絶トヨウ・ユ一遠征助成
1996 (平成8)	○総長の支部父母懇談会への出席開始	○岡山県支部	

年度 (4月～3月)	後援会関係事項	支部設立等	大学と学生への寄付・助成・寄贈
1997(平成 9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>後援会創立50周年記念式典・祝賀会開催</li> <li>後援会50年史「より良き学園をめざして」の作成と配布</li> <li>創立50周年記念事業として支部旗を作成し、祝賀会で支部旗贈呈を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>富山県支部、沖縄県支部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多摩キャンパスに屋外ベンチ他寄贈</li> <li>サッカー部トレーニング機器を寄贈</li> </ul>
1998(平成10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「法政大学後援会賞」の発足(外国人留学生表彰)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋田県支部、山口県支部、熊本県支部</li> </ul>	
1999(平成11)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「後援会賞(学術・スポーツ部門他)」の制定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取・鳥根県支部</li> <li>佐賀県支部を佐賀・長崎県支部に改組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「法政大学後援会寄付・学生事故災害補償基金」の完成</li> <li>チョモランマ登山隊に遠征資金寄付(1回目)</li> </ul>
2000(平成12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業と支部プロジェクトの発足</li> <li>三宅島噴火罹災者に見舞い状と会費減免の措置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大分県支部、山梨県支部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「法政大学創立120周年記念」に学生貸出用ノートパソコンを約180台寄贈</li> <li>チョモランマ登山隊に遠征資金寄付(2回目)</li> </ul>
2001(平成13)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「父母のための大学ガイドブック」を父母に郵送</li> </ul>		
2002(平成14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>履修成績通知書を大学から父母に送付</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>応援団に団旗を寄贈</li> </ul>
2003(平成15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>後援会ホームページの開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国支部の分割</li> <li>高知県支部、徳島県支部、香川県支部、愛媛県支部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「法政大学120周年記念事業・募金」に団体寄付</li> <li>市ヶ谷キャンパス、小金井キャンパスにトラックを寄贈</li> </ul>
2004(平成16)	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害救助法適用地域会員への会費・入会金の減免と見舞金の支給を決定</li> <li>「新入生父母の集い(首都圏)」の開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福井県支部、宮崎県支部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「多摩キャンパス開設20周年」にイルミネーションを寄贈</li> <li>「工学部設立60周年・小金井移転40周年」に祝金</li> </ul>
2005(平成17)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「法政大学後援会奨学金制度」の発足</li> <li>会員に分かりやすい後援会予算科目の開始</li> </ul>		
2006(平成18)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「臨時総会」を開催し、補正予算により外濠校舎にロールバックチェアの贈呈を決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学主催法政フェア(広島、札幌)を大学、校友連合会と主催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外濠校舎にロールバックチェアを寄贈</li> <li>オレンジコミュニティネットワークシステム開発費用を補助</li> </ul>
2007(平成19)	<ul style="list-style-type: none"> <li>法政大学後援会創立60周年式典・祝賀会開催</li> <li>法政大学後援会60年史発行・後援会紹介DVD作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡県支部総会・父母懇談会を法政フェアと同日開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後援会創立60周年記念の桜を植樹</li> <li>チャリーディング部にコスチューム寄贈</li> </ul>
2008(平成20)	<ul style="list-style-type: none"> <li>支部新入生父母の集いに大学職員が出向</li> <li>経団連に学生採用早期化に対する要望書を提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟県支部設立40周年総会・父母懇談会を法政フェアと同日開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各キャンパスにAEDを寄贈</li> <li>小金井キャンパス東館竣工に体育館施設を寄贈</li> </ul>
2009(平成21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学に後援会業務を委託</li> <li>学位授与式の二部制への移行により謝恩会取止め</li> <li>校友連合会との共同企画「特別講演会」を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県支部総会・父母懇談会を法政フェアと同日開催</li> <li>佐賀・長崎県合併10周年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「リーディング・ユニバーシティ法政」募金に積立開始</li> </ul>
2010(平成22)	<ul style="list-style-type: none"> <li>会則変更(総務の増員と監査の独立)</li> <li>経済的困窮学生に対するの支援について大学・校友連合会に提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県支部・大分県支部10周年、宮城県支部20周年、静岡県支部・山形県支部40周年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多摩キャンパス構内循環バスの寄贈</li> </ul>
2011(平成23)	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災学生支援としての会費・入会金の免除と見舞金などの措置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野県支部・石川県支部20周年、浜松支部40周年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピアサポートや市ヶ谷ラーニングcommonsの助成</li> <li>各キャンパス講堂に司会台寄贈</li> <li>エベレスト登山隊に遠征資金寄付</li> </ul>
2012(平成24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学主催「首都圏新入生父母説明会」開催、協力</li> <li>東日本大震災学生支援継続</li> <li>大学に業務委託(追加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道支部30周年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災における被災学生への特別就学支援措置</li> <li>応援団吹奏楽部に楽器寄贈</li> <li>法政大学後援会奨学金の継続</li> </ul>
2013(平成25)	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災学生支援継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛媛県支部・香川県支部・徳島県支部・高知県支部10周年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災における被災学生への特別就学支援措置</li> <li>法政大学後援会奨学金積み増し</li> </ul>
2014(平成26)	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災学生支援継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮崎県支部・福井県支部10周年、関西支部20周年、広島県支部30周年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災における被災学生への特別就学支援措置</li> <li>法政大学後援会奨学金積み増し</li> <li>「小金井キャンパス50周年」時計を寄贈</li> </ul>
2015(平成27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>後援会ホームページのリニューアル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栃木県支部40周年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多摩キャンパスに野外用テーブルチェアを寄贈</li> <li>法政大学「援会奨学金積み増し</li> </ul>

# 法政大学後援会スポーツ応援隊

## ■活動概要

春と秋の東京六大学野球リーグ戦、秋から始まるラグビーやアメリカンフットボールのリーグ戦、そして箱根駅伝などをメインに応援活動を行っています。

神宮球場の東京六大学野球では法政大学応援団と共に声援を送ります。エール交換や校歌斉唱の厳粛さは、法政大学と東京六大学野球の伝統を感じさせてくれます。

東京近郊で開催されるラグビー部の関東大学リーグ戦やアメリカンフットボール部のリーグ戦ポストシーズンゲームは迫力満点で声援に力が入ります。

ぜひ一緒に学生スポーツを応援し感動を味わいましょう。



神宮球場前（野球）

## ■参加資格

法政大学スポーツを共に応援されたい方ならどなたでも参加いただけます。

入会金、年会費など一切ありません。なお試合会場での入場料は自己負担となります。

## ■応援日程

スポーツ応援活動は、法政大学後援会ホームページ「お知らせ」にてご案内しています。

メールマガジンに登録いただければ、「スポーツ応援隊応援のお知らせ」などを配信いたします。

### メールマガジン申込み

下記のアドレスへ「メールマガジン希望」と明記し、登録されるメールアドレスよりお送りください。

メールマガジン登録申込みアドレス：[koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp](mailto:koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp)

\*メールマガジンが配信されない場合は、迷惑メールのフィルター設定などをご確認されるか、上記アドレスにお問い合わせください。



QRコード

### 後援会ウェブサイトのご案内

URL:<http://www.hosei-koenkai.org/>

法政大学のウェブサイトを開いていただき、オレンジのインデックス「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。是非一度ご覧ください。



QRコード





# 学びと学生生活



市ヶ谷学生生活課

多摩学生生活課

小金井学生生活課

授業の形態／シラバス／履修登録／試験と成績（成績評価・GPA）／単位／進級・卒業要件／法政大学の学習環境／学習支援／法政大学ピアネット／大学主催の行事／クラブ・サークル活動／学費と休学・退学について／各種の届・願の提出先／奨学金制度／診療所／健康診断／学生相談室・障がい学生支援室・ハラスメント相談室／法政大学学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）について／トラブルに巻き込まれないために／防災面での危機管理について

# 授業の形態／シラバス／履修登録

ここでは大学での学びについて、学生のみなさんに配布している「法政大学学習支援ハンドブック2016」から引用して会員のみなさんにお伝えします。

## 時間割をつくる

### ①授業の形態

大学での授業には、講義、実験・実習、ゼミ(演習・卒業研究)と大きく分けて3種類の形態があります。

#### 【講義】

講義科目では、先生の講義を聞いてノートを取ることが授業参加の第一歩ですが、実は講義のスタイルは先生によって違いますし、板書のスタイルも十人十色で、学生にとってはノートの取り方が学びの基本です。多くの授業では総まとめとして、期末に試験やレポートなどが課されます。

#### 【実験・実習】

実験・実習科目ではグループでのテーマに沿った実験と結果の分析、コンピュータや作品制作のワークショップ、社会調査のフィールドワークなどがあります。課題に挑戦して、講義だけでは知りえないことを探求します。

#### 【ゼミ(演習・卒業演習)】

ゼミ(演習・卒業演習)では、指導教員の助言を受けながら、時間をかけて問題意識を深め研究に取り組みます。一般にはゼミの成果がいわゆるゼミ論ですが、それが卒業研究、卒業論文(卒論)となる学部もあります。ゼミとは大学での学びの到達点ともいえるでしょう。

### ②シラバス

それぞれの科目の内容を詳しく知るために、学生のみなさんは学部が発行する「シラバス」に必ず目を通します。シラバスでは、その科目の目的、学習の到達目標、授業計画、成績評価の方針などが記載されています。このシラバスは学部で配布されますが、冊子とWebによるものがあります。

### ③履修登録

最良の履修計画は一人ひとり異なります。自分にとって最良の履修とは何かをよく考えて、どの科目を履修するか決めます。先生方や先輩、事務の窓口にアドバイスをもらうのも参考になるでしょう。学部学科によっては、必修科目を多く指定するところもあ

れば、あらかじめ受講するクラスを指定する科目もあります。履修の手引きとシラバスをよく読んで、学部の教育方針や履修指針をきちんと理解することが大切です。

## 履修や成績などにかかわる各種システム

大学には履修や成績、Webシラバスなど、授業や履修にかかわる様々なシステムがあります。用途により、利用するシステムが違いますので、内容をよく理解して活用することが求められます。

### ①情報システム(ユーザーサポートサイト)

<https://www.hosei.ac.jp/as/student/>

Web履修登録システム、各種お知らせ配信サービスなど、学部の事務を中心に学生生活をサポートします。

#### 【Web版の主な機能】

履修申請：履修登録ができます。※履修登録は全員が必ず行わなければなりません。

授業・時間割照会：自分が履修登録した授業時間割を確認できます。事務による履修登録承認後利用できます。

休講・補講状況照会：履修登録した授業の休講・補講を確認できます。事務による履修登録承認後利用できます。

抽選授業履修申請：抽選対象科目の申請、および結果の確認ができます。

単位修得状況照会：自分が修得した単位を確認することができます。

キャリア就職：就職活動の補助ツールとして、企業検索などができます。

奨学金申請：奨学金の申請ができます。

#### 【携帯版の主な機能】

時間割：自分が履修登録した授業時間割を確認できます。事務による履修登録承認後利用できます。

休講情報：履修登録した授業の休講情報を確認することができます。

### ②Webシラバス

<https://syllabus.hosei.ac.jp/>

各授業の概要をWeb上で公開しています。授業の到達目標、テーマ、授業計画、テキスト・参考書、成績評価基準など、授業を選ぶ際の参考となる情報が閲覧できます。

# 試験と成績（成績評価・GPA）／単位／進級・卒業要件

## 試験と成績

- ①定期試験：春学期と秋学期の年2回(デザイン工学部は年4回)
- ②試験の種類：筆記試験、レポートなど
- ③再試験制度：学部によって制度の有無があります
- ④成績の発表：通常は春学期・秋学期の各学期が終了した後にWebで各自が確認します

## 成績評価

成績はA+・A・B・C・D・Eによって表されます。各成績評価と評価基準との関連は以下の通りです。評価基準の点数は、各科目の担当教員が定期試験・レポート・出席などに基づいて、それぞれ独自に基準を設けています。グレード・ポイント(GP)は成績評価を4~0に置き換えたものです。

成績評価	合格(単位取得)					不合格	
	A+	A	B	C	D	E	
評価基準	100-90点	89-80点	79-70点	69-60点	59-0点	未受験・他	
GP	4	3	2	1	0	0	

## 成績通知

毎年、春学期(4~9月)、秋学期(9~3月)各期の成績を、保証人宛に送付します。春学期の成績は10月末頃、秋学期の成績は4月末頃に発送します。新入生の保証人のみなさまには、前年度の成績がありませんので、当年度の春学期分(10月末頃発送)からのお知らせとなります。

ただし、在学生本人が「保証人宛に成績を送付するか否か」を選択できる仕組みになっておりますので、すべての保証人にこの通知書が送付されるわけではありません。通知の時期や回数などは、学部ごとの定めがありますので、ご不明な点は学部にご直接お問い合わせください。

## GPA(グレード・ポイント・アベレージ)制度

成績をより客観的に見るために、学習状況を把握し成績向上に役立てるための指標です。算出方法は、表のとおり換算したGPIに、その科目の単位数を掛け、履修単位数の合計で割ります。0となるD・Eも算入されるため、学生個人の全体の成績評価をつかむことができます。

## GPAは何のために？

学生自身が、自分の「学び」について振り返る上で、取得した単位の「量」のみでなく「質」も考慮することが容易になります。学生は学期ごとに算出されたGPAと、その時点までの通算GPAを見ることで、入学後の学年ごとや学期ごとの自分の「学び」のあり方について振り返ることが可能になります。

## 単位

大学では、それぞれの科目に合格したり、不合格となった場合、「単位が取れた」とか、「単位が取れなかった(または落とした)」などと表現します。この単位とは、進級・卒業などの資格を算定するために用いられる学課履修計算の基準で、15時間から30時間までの範囲で大学が定める時間の授業を1単位とする、として大学設置基準で定められています。

1科目あたりの単位数は、それぞれ科目により異なりますが、「外国語などは2単位(半期1単位)」、「教養科目や専門科目などは4単位(半期2単位)」となるのが一般的です。理系学部などは、専門科目であっても2単位の科目が多いのが特徴です。

## 進級・卒業要件

進級や卒業するためには、それぞれの学部・学科が定めた要件を満たす必要があります。たとえば、法学部の卒業所要単位は、市ヶ谷基礎科目44単位以上、専門教育科目88単位以上で合計132単位以上となっています。学部を問わず、概ね124~132単位修得することが求められます。

卒業要件や進級要件は、学部・学科ごと、あるいは入学年度によっても異なることがありますので、詳細をお知りになりたい場合は、学生のみなさんがお持ちの「履修の手引き」をご覧ください。



## ラーニングcommons

「ラーニングcommons」とは、一般的に学生がノートパソコンや図書資料を用いながら、ディスカッションを交えたグループ学習やグループ発表の準備などを自発的に行うことができる学習のための共有空間(アクティブラーニングスペース)を指します。自由にレイアウトできる可動式の机や椅子、ホワイトボード等があり、従来の学習施設とは全く異なる発想で設計されたスペースです。

2010年10月に市ケ谷図書館でオープンし、多くの学生に活用されています。2013年9月には多摩図書館でもオープンし、さらに2014年12月に3階の一部が「クリエイティブルーム」に改装され、アクティブラーニングスペースがさらに広がりました。そして小金井キャンパスでは、南館2階の「アクティブラーニング教室」に加えて、2015年9月より小金井図書館にもオープンしました。3キャンパスすべてでグループ学習への支援が行われており、いずれも人気のスペースとなっています。



ラーニングcommons(市ケ谷図書館)

## 学習ステーション

学生・教員・職員が協働して、「学生の学習活動をサポートする」ことを目的に、2011年4月、市ケ谷キャンパス富士見坂校舎2階に設置されました。学内では「Lステ」として親しまれる学習サポート空間です。新入生サポート活動や、教員による30分一本勝負のLステゼミ、職員と対話する職員トーク、学生同士が学び合う学生プログラム、学生目線を取り入れた各種プロジェクトを実施しています。

## オフィスアワー

学生からの相談に対して、教員が特定の曜日・時間帯に研究室等で応じるようにしています。各学部の「履修の手引き」などに、対応する場所や曜日・時間帯を記載しています。

## Gラウンジ(Global Lounge)

外国語コミュニケーション空間として、3キャンパスそれぞれに設けられています。英語強化プログラム(ERP)や国際ボランティア・国際インターンシップの受付窓口である他、英語ネイティブスピーカーの「英語学習アドバイザー」が待機し、英語で話したい、英語の上達方法を教わりたい、海外の文化を知りたいといった学生の希望に対応しています。また、海外の新聞を閲覧することができるイメージデータベースが設置されていたり、学生スタッフが自主的な企画を開催したりしています。

### ■ 授業時間割

	市ケ谷	多摩・小金井
1時限	9:30~11:00	9:30~11:00
2時限	11:10~12:40	11:10~12:40
昼休み		
3時限	13:30~15:00	13:30~15:00
4時限	15:10~16:40	15:10~16:40
5時限	16:50~18:20	16:50~18:20
6時限	18:30~20:00	
7時限	20:10~21:40	

### 【市ケ谷キャンパスのみ】

2016年度秋学期の授業時間割が下記のとおり変更となります。

	市ケ谷
1時限	9:15~10:45
2時限	11:00~12:30
昼休み	
3時限	13:20~14:50
4時限	15:05~16:35
5時限	16:50~18:20
6時限	18:30~20:00
7時限	20:10~21:40

# 法政大学ピアネット／大学主催の行事

## 法政大学ピアネット

本学には、サークルやゼミの仲間が別の仲間のサポートをする、ピア(Peer:仲間)・サポート活動の伝統があります。2007年度に文部科学省の学生支援GPに採択され、課外教養プログラムやボランティア活動などを中心に展開してきた活動は、現在では多くの部局にて教職員と協働で500名超の学生スタッフが活動する規模に発展しています。

各部局のピアサポートについて、学生スタッフの連携や情報の共有、プログラムの充実を目的として全学的に発展させて活動をしているのが「ピアネット」です。学生センター、キャリアセンター、図書館、学務部教育支援課、入学センター、グローバルラーニング課が連携し合い、市ヶ谷、多摩、小金井の3キャンパス体制で運営しています。

各部局のサポート活動の共通点は、学生が学生を支援する取り組みの中で、支援を受けた学生が、次は支援する側へと回る「循環」を生んでいる点です。学生スタッフはプログラムの企画や、教職員との議論、外部機関との折衝等を通じて主体的な役割を担い、チームワークやコミュニケーション力を身に付けています。

ピアネットでは、各部局の学生スタッフ活動の一部をトピックスとして紹介する「ピアネット・マンス



障がい学生サポートスタッフ オープンキャンパススタッフ

リー」や学生スタッフの活動内容を1冊にまとめた『ピアネットガイド』を発行して、活動を学内・学外に伝えています。

共通の研修会や効果測定テストの実施を通じ、ピアネットの学生スタッフ同士の交流も盛んです。

本学は今後も、ピアネットを通じた学生支援活動を進めることで、学生の成長と法政コミュニティの活性化につなげていきたいと考えています。

※「課外教養プログラムプロジェクト」「ボランティアセンタープロジェクト」等については、本学後援会の財政援助を受けて活動しています。

## 大学主催の行事

### ○新入生歓迎会

毎年4月上旬に新入生を歓迎するための催しが学友会の主催で開催されます。さまざまなサークルが勧誘や入会説明をします。

### ○優勝パレード

春・秋に行われる東京六大学野球で優勝すると、学友会の主催で優勝パレードが行われます。市ヶ谷キャンパスから大学周辺を野球選手が乗ったオープンカーを先頭にして練り歩きます。

### ○大学祭

学生の実行委員会が主催する形で市ヶ谷、多摩、小金井キャンパスで「法政祭」が開催されます。各キャンパスではサークルが模擬店を出し、校舎内では講演会、自主映画の上映、音楽団体のライブ演奏などが行われ、1年間のサークル活動の集大成となっています。

多摩キャンパスで行われる大学祭最終日の花火大会は、近隣の皆様からも楽しみにいただいています。

また、小金井キャンパスでは子どもたちを対象とした工作教室が行われて、地域社会との連携にも貢献しています。多摩祭の花火購入費など各キャンパスの大学祭には法政大学後援会から助成が行われます。

### 【大学祭】

＊市ヶ谷：11/ 3(木・祝)～11/ 6(日)

＊多摩：10/15(土)・10/16(日)

＊小金井：11/ 3(木・祝)～11/ 5(土)

### ○卒業祝賀会

3月24日の学位授与式終了後、各学部や学科ごとに先生を囲んで卒業を祝います。

### ＊学友会

法政大学の全学生が会員となっている組織で、各キャンパスの登録団体および応援団、体育会、第二体育会から選出された役員により運営されています。

## クラブ・サークル活動

登録されているだけで約200のクラブやサークルが活動しています。伝統のある体育会系、文系、理系、そのほかにもユニークな活動を行ったり、高い実績を上げているものなど数も種類も充実しています。学生

生活を豊かなものとするため、また自分自身の人格形成のため、正課授業はもちろんのこと、サークル活動も重視されています。

### 体育会

アメリカンフットボール部、ボクシング部、山岳部、自転車競技部、自動車部、サッカー部、水泳部、スキー部、スケート部、相撲部、ハンドボール部、卓球部、テニス部、ソフトテニス部、野球部、準硬式野球部、馬術部、バレーボール部、陸上ホッケー部、ヨット部、バスケットボール部、ラグビー部、陸上競技部、フェンシング部、空手部、バドミントン部、柔道部、重量挙げ部、レスリング部、剣道部、航空部、ワンダーフォーゲル部、射撃部、ボート部、ゴルフ部、弓道部、少林寺拳法部、ラクロス部

※体育会の試合レポート・インタビューは、スポーツ法政新聞会 スポーツ法政Web版 でご覧になれます。

<http://sports-hosei.net/>

### 登録団体

#### ●応援団

リーダー部、吹奏楽部、チアリーディング部

#### ●第二体育会

ボクシング部、水泳部、準硬式野球部、空手部、卓球部、陸上競技部、柔道部、ソフトテニス部、剣道部、バスケットボール部、バドミントン部

#### ●市ヶ谷キャンパス

【音楽系】アカデミー合唱団、アカペラサークル BeBap!、アコースティックギターサークル、アリオンコール、With Heart、音楽企画倶楽部、カントリーレンジャースエリマ、ギタークラブ、ギター研究会サークル仲間、交響楽団、ジャズ研究会、二部モダンジャズ研究会、ニューオレンジスウィングオーケストラ、New Sounds Project、ピアノの会、フォークソング研究会、HOME、マンドリンクラブ、民族音楽研究会、Musik、横浜シーパラダイスオーケストラ、ロック研究会

【表現系】アナウンス研究会、I部演劇研究会、I部美術研究会、映画愛好会、映像研究会、お笑いサークルHOS、カメラ部、カレッジライフクラブ、K-POPダンスサークルCHU、視覚芸術会、Cinema Original Members、写真研究会、声優研究会、つくりびと、デザイン工学研究会、二部映画研究会、二部演劇研究会、二部美術研究会、美術集団あ〜と、舞台技術研究会、漫画研究会、メディアデザイン研究会



アカデミー合唱団



アメリカンフットボール部



応援団



航空部

【出版・編集系】新聞学会、スポーツ法政新聞会、ミニコミ出版研究会

【語学系】英語研究会ESS、コズモラマ・ランゲージ・ソサイエティCLS

【趣味系】アイドル文化研究会、アイドルマスター研究会、囲碁研究会、市ヶ谷将棋部、かるたサークル、奇術愛好会、散歩のド素人、創作同盟くりめいと、鉄道研究会、パフォーマンスサークルすだま、北欧研究会NORDIC、ポケモンだいすきクラブ、マジシャンズクラブ

【スポーツ系】合気道部、アクアダイビングクラブ、ウムラウツ、FRBラグビーフットボールクラブ、キャラバン部、極真空手部、剣道会、剛柔流空手道部、国際空手道連盟極真会館法政大学同好会、サイクリング同好会、ジャズダンスサークルONE、スペイン語研究会、剣道部、卓球同好会、探検部、チアリーディングチームGRANDS、釣友会、橙青会、軟式野球部、バスケットボール愛好会、バドミントンサークルLa strada、バドミントン同好会72、バレーボール同好会、富士見サッカークラブ、フットサル同好会TOGETHER、舞踏研究会、モーターボート水上スキークラブ、洋弓部、YOSAKOIソーランサークル鳳遙恋、レインディアスキークラブ、ローバース部

【古典芸能系】茶道研究会、三曲会、書道会、能楽研究会、落語研究会

【ボランティア系】IVUSA、イレギュラー、ACIプロジェクト、キャンパス・エコロジー・フォーラム、SEET、児童文化研究会、手話サークル「わたがし」、Sotobori Canale

【学術系・その他】学術紀行研究会、広告研究会、志法会、志雄会、心理学研究会、戦史研究会、地学会、天文研究会、ドイツゲーム研究会、日本文学研究会、Hi-C Orange、文学研究会、模擬国連四ッ谷研究会、U.I.A、歴史研究会

●多摩キャンパス

ASA-MAC'S、エッグマガジン編集部、カフェ部、環境系総合サークルH.E.L.P.、Community Field、サーフライフセービングクラブ、Jazz Study Club、多摩ESS、多摩茶道サークル、たまぼら、ダンスミュージック研究会、つり研究会、トライアスロンチームAfro-Q、Film Making Club、Free Music Society、弁論部、Voice Of Winds、法政コンテンツ研究室、もの書き同盟、よせがに

●小金井キャンパス

【技術系】あぐり、機械研究会、経営工学研究会、計算技術研究会、航空工学研究会、自動車研究会、電気研究会、Libertyer

【スポーツ系】合気道部、アメリカンフットボール部、アルティメット部、空手部、剣道部、硬式庭球部、硬式野球部、ゴルフ部、サッカー部、柔道部、少林寺拳法部、水泳部、スキー部、ソフトテニス部、卓球部、バスケットボール部、バレーボール部、ボクシング部、ラグビー部、陸上競技部、ワンダーフォーゲル部

【文化系】ESS、ウェスタンプレイボーイズ、エレクトーンサークル「COSMOS」、サイクリングクラブ、社交舞踊研究会、写真技術研究会、将棋部、鉄道研究会、フォークソングクラブ、放送研究会、漫画研究会、マンドリンクラブ、ロック研究会



ボート部



フェンシング部



ラグビー部



テニス部

(写真の一部はスポーツ法政新聞会から提供)

# 学費と休学・退学について／各種の届・願の提出先

## 学費と休学・退学について

学費の納付	春学期(1期)	納入期限 4月30日	経理課 03-3264-9270
	秋学期(2期)	納入期限 9月30日	

	「願」提出時期・期限		学費について	その他
休学	年間	5月31日	休学在籍料 10万円	新入生はその他諸会費の納入が必要となります
	春学期	5月31日	休学在籍料の半額・5万円	春学期休学の場合にはその他諸会費の納入が必要となります。
	秋学期	10月31日		
退学	各期学費納入者			退学許可日:退学願が許可された日付
	春学期	5月31日		退学許可日:前年度3月31日付
	秋学期	10月31日		退学許可日:9月15日付

## 各種の届・願の提出先

事項	ひとこと	取扱窓口	電話番号
学生および保証人の住所変更 保証人の変更 学生の氏名変更 (市ヶ谷は学部事務窓口が扱います)	「変更届」を提出してください。	市ヶ谷：学生生活課 多摩：各学部事務課 小金井：学生生活課	裏表紙参照
学生証再発行	2,000円 紛失のときは、悪用のおそれがありますので警察に必ず届けてください。	市ヶ谷：各学部事務担当 多摩：各学部事務課 小金井：学生生活課	
休学・退学・復学	「願」を提出してください。	市ヶ谷：各学部事務担当 多摩：各学部事務課 小金井：各学部事務担当	
盗難・災難 落し物、拾い物	各窓口へ届けてください。	市ヶ谷：学生生活課 多摩：学生生活課 小金井：学生生活課	03-3264-9475 042-783-2152 042-387-6011
健康診断証明書 (大学の診療所で健康診断が必要です)	健康診断証明書 1通 200円	4年:証明書自動発行機 1～3年:各キャンパス診療所	下記参照

### ■ 証明書自動発行機

証明書の多くは、各キャンパスに設置されている証明書自動発行機で取得できます。利用には学生証が必要です。機能は各キャンパス共通のため、通学しているキャンパス以外でも利用できます。

キャンパス	設置場所	取扱時間
市ヶ谷	58年館1階 学務部事務室前	月～金 9:00～21:00 土 9:00～17:00
	市ヶ谷田町校舎2階	月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00
	新一口坂校舎1階	月～金 9:00～19:00 土 9:00～17:00
	大学院棟1階	月～金 9:00～20:30 土 9:00～17:30
多摩	各学部事務室前	月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00
小金井	管理棟2階学部事務室前	月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00

上記の時間は、授業実施期間の取扱時間です。授業期間外の取扱時間や取扱停止日は、大学ホームページでご確認ください。



# 奨学金制度

## 1. 法政大学独自の奨学金 (給付：返還不要)

### 1. 経済的支援を目的とした奨学金制度

奨学金名称の前に★印のあるものが4月に一斉に出願を受け付ける奨学金です(二次募集はありません)。

奨学金の名称	金額(年額)	採用 予定者数	採用 学年	(募集予定期)問合せ先	応募・採用条件	
★校友会奨学金	文系25万円 理工系30万円 を上限	若干名	2~4 年生	(4月)厚生課 多摩・小金井学生生活課	学業成績が極めて優れ、教育上経済的援助が必要な者(留学生を除く) 前年度の修得単位数が、教職資格科目を除き35単位以上(ただし理工系学部の4年生は30単位以上の者)	
★大成建設株式会社奨学金	文系25万円 理工系30万円 を上限	若干名	2~4 年生	(4月)厚生課 多摩・小金井学生生活課	学業成績が極めて優れ、教育上経済的援助が必要な者(留学生を除く) 前年度の修得単位数が、教職資格科目を除き35単位以上(ただし理工系学部の4年生は30単位以上の者)	
★株式会社橙青奨学金	文系20万円 理工系25万円 を上限	若干名	2~4 年生	(4月)厚生課 多摩・小金井学生生活課	学業成績が極めて優れ、教育上経済的援助が必要な者(留学生を除く) 修得単位数基準は、前年度の修得単位数教職資格科目を除き35単位以上(ただし理工系学部の4年生は30単位以上の者)、その中でも成績が優れ、かつ経済的に非常に困難な者を採用	
★株式会社工イチ・工一奨学金	文系20万円 理工系25万円	40名 程度	2~4 年生	(4月)厚生課 多摩・小金井学生生活課	学業成績が極めて優れ、教育上経済的援助が必要な者(留学生を除く) 修得単位数基準は、前年度の修得単位数が教職資格科目を除き35単位以上(ただし理工系学部の4年生は30単位以上)、その中でも成績が優れ、かつ経済的に非常に困難な者を採用	
★新・法政大学100周年記念奨学金	文系20万円 理工系25万円	400名	1~4 年生	(4月)厚生課 多摩・小金井学生生活課 (留学生はグローバル教育センター)	学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者 新1年生は全員申請可能 2年生以上は、前年度の修得単位数が、教職資格科目を除き30単位以上(ただし理工系学部の4年生は25単位以上)の者	
★法政大学学生生活支援奨学金	12万円	268名	1年生	(4月)厚生課 多摩・小金井学生生活課 (留学生はグローバル教育センター)	新入生のうち経済的援助が必要な自宅外通学生	
法政大学吉田育英会奨学金	文系20万円 理工系25万円	若干名	1~4 年生	(10月)厚生課 多摩・小金井学生生活課	帰国生のための入試で入学した者のうち、学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者	
家計急変の場合の奨学金	福田明安奨学金(冠奨学金)	30万円	4名	1~4 年生	(6月・11月)厚生課 多摩・小金井学生生活課	主たる家計支持者である保証人(親)の死亡または離別、失職、病氣、事故、災害等により家計が急変し、その事由が発生した月から12カ月を超えない期間内に大学納付金を納期内に納入できない者であり、過去に本奨学金の給付を受けたことのない者
	法政大学後援会奨学金	当該期の大学納付金相当額(第1期または第2期の授業料、実験実習料、教育充実費)を上限	若干名	1~4 年生	(6月・11月)厚生課 多摩・小金井学生生活課	法政大学後援会の寄付金をもとに設けられた制度。主たる家計支持者である保証人(親)の死亡または離別、失職、病氣、事故、災害等により家計が急変し、その事由が発生した月から12カ月を超えない期間内に大学納付金を納期内に納入できない者であり、過去に本奨学金の給付を受けたことのない者
	林忠昭奨学金	文系30万円 理工系35万円 を上限	若干名	1~4 年生	(6月・11月)厚生課 多摩・小金井学生生活課	大学の卒業生である林忠昭氏の寄付金をもとに設けられた制度。家計が急変し、その事由が発生した月から12カ月を超えない期間内に大学納付金を納期内に納入できない者であり、過去に本奨学金の給付を受けたことのない者
	法政大学家計急変学生支援奨学金	20万円を上限	若干名	1~4 年生	(6月・11月)厚生課 多摩・小金井学生生活課	個人・企業からの指定寄付金および法政大学古本募金を財源としている。主たる家計支持者である保証人(親)の死亡または離別、失職、病氣、事故、災害により家計が急変し、その事由が発生した月から12カ月を超えない期間内に大学給付金を納期内に納入できない者であり、過去に本奨学金の給付を受けたことのない者
	法政大学生協学生生活支援奨学金	20万円	若干名	1~4 年生	(6月・11月)厚生課 多摩・小金井学生生活課	法政大学生生活協同組合の奨学金 学業成績が優れ、修得単位数が進級・卒業見込み要件を満たしているながらも、家計急変(事由発生より1年以内)により学費支払が困難な者 *本奨学金は「民間奨学金」に該当しますが、大学で申請を受け付けられるので、ここに記載しています。

## 2. 学業、スポーツ、芸術、ボランティア活動など各分野で優秀な学生を奨励する制度

奨学金の名称	金額(年額)	採用予定者数	採用学年	(募集予定期) 問合せ先	応募・採用条件	
開かれた法政21 奨学・奨励金	チャレンジ法政奨学金 (入試出願前予約採用型給付奨学金)	入学時 文系38万円 理工系43万円  2～4年生の継続時 文系20万円 理工系25万円	100名	1年生  2～4年生は、継続のための審査あり	学生センター 厚生課	【申請資格】以下の(1)～(7)の条件、すべてに該当する者 (1)2017年度一般入試(T日程・A方式)、大学入試センター試験利用入試(B方式・C方式)を受験する者 (2)日本国籍を有する者、または永住者、定住者、日本人(永住者)の配偶者・子 (3)東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県以外の高等学校または中等教育学校の出身者(通信制を除く) (4)上記の学校を2017年3月卒業見込みの者または2016年3月以降卒業した者 (5)上記の学校(中等教育学校の場合は後期課程)における全ての教科・科目の評定平均値は「4.1以上」である者(卒業見込みの者は、最終学年1学期<前期>までの成績で審査。卒業した者は、最終学年3学期<後期>までの成績で審査) (6)父母年収合計が600万円以下(税込み)の者(事業所得の場合は197万円以下)※父母それぞれの所得証明書の年収・所得を合算(申請時において最新のもの) (7)本学に入学を強く志望する者。 【申請後の流れ】出身校の評定平均値・家計状況を総合的に審査し、採用候補者を決定。入学試験を受験し、合格・入学手続きを完了してはじめて正式採用。
	入学時特別奨学金 (A方式入試)	当該年度の授業料相当額	220名	1年生	—	入学試験時(A方式入試)の各学部成績上位者のうち、当該学部に入学した新入生【指名制】※2015年より募集停止
	成績最優秀者特別奨学金	当該年度の授業料相当額	15名	4年生	—	各学部4年生の累積成績最優秀者【指名制】
	成績優秀者奨学金	当該年度の授業料半額相当額	256名	2～4年生	—	各学部2～4年生の前年度成績上位者【指名制】 学部ごとの採用数は学部定員比による。
	認定海外留学奨学金	当該年度の授業料半額相当額	15名以内	2～4年生	グローバル教育センター	単位認定が受けられる本学の認定海外留学生採用者には、別途「後援会認定海外留学奨学金」10万円が支給されます。
	スポーツ奨励金	当該年度の授業料半額相当額	応募・採用条件を満たす者	1～4年生	(12月)厚生課 多摩・小金井 学生生活課	スポーツの分野において優秀な成績をおさめた者(体育会に所属していない学生も応募可)(注)すべてのスポーツが該当するとは限りません。また、法政大学学生特別表彰とは併給できません。
	学術・文化奨励金	30万円を上限	20名(団体)以内	1～4年生	(10月)市ヶ谷・多摩・小金井 学生生活課	学術・研究・ボランティア活動・文化・芸術・芸能等の分野で秀でた業績をあげた者または団体
	指定試験合格者奨励金	当該年度の授業料相当額	応募・採用条件を満たす者	1～4年生	(11月)厚生課 多摩・小金井 学生生活課	2016年度中に司法試験予備試験、公認会計士試験、国家公務員採用総合職試験、税理士試験(全科目合格)、弁理士試験、司法書士試験に合格した者
L・U奨学金	L・Uキャリア・アップ奨励金	20万円	応募・採用条件を満たす者	1～4年生	(1月)厚生課 多摩・小金井 学生生活課	2016年度中に気象予報士試験、行政書士試験、高度情報処理技術者試験(情報セキュリティスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験、システムアーキテクト試験、ITストラテジスト試験、ITサービスマネージャ試験、エンベデッドシステムスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、ネットワークスペシャリスト試験、システム監査技術者試験)、社会保険労務士試験、税理士試験(複数科目合格者に在学中1回のみ給付)、中小企業診断士試験、通訳案内士試験、不動産鑑定士試験に合格した者
	団体スポーツ奨励金	50～100万円	応募・採用条件を満たす団体	1～4年生	(12月)厚生課 多摩・小金井 学生生活課	団体スポーツにおいて優れた成績をおさめた団体 *団体競技の場合 全日本学生選手権レベル以上の大会で優勝または準優勝した団体 *個人競技における団体戦の場合 全日本学生選手権レベル以上の大会で優勝した団体 (注)すべてのスポーツが該当するとは限りません。
法政大学後援会 体育会スポーツ奨励金	18万円 (入学金相当額)	30名	1年生	(4月) 保健体育部	体育会に所属する1年生のうち、高校生を対象とした全国レベル以上の大会で優勝した者 ※本奨励金は、法政大学後援会からの助成金です。	
派遣留学奨学金	派遣先により A.100万円 B.70万円	約50名	3～4年生	(6・10月) グローバル教育センター	派遣留学に関する詳細についてはグローバル教育センターに問い合わせてください。 ※給付金のうち20万円は法政大学後援会からの助成金です。	
法政大学グローバル キャリア支援基金による 海外留学支援奨励金	50万円 (条件付入学者は25万円)	若干名	2～4年生	(5・12月) グローバル教育センター	認定海外留学に決定した者のうち、海外一流大学の正規課程に入学許可・条件付入学許可を受けた者 詳細はグローバル教育センターに問い合わせてください。	

## 3. 各学部独自の奨学・奨励金

奨学金の名称	金額(年額)	採用予定者数	採用学年	(募集予定期) 問合せ先	応募・採用条件
法学部HOP奨学金	(A) 4万円 (B) 10～20万円	(A) 全員 (B) 10～20名程度	当該年度 HOP 参加者	法学部	(A) HOP参加者全員 (B) (A)のうち特に学業成績が優れ、現地研修で優れた成果をあげた者((A)に加算)
文学部英文学科 SA奨学金	(夏期)5万円 (秋学期)20万円程度	(夏期)25名 (秋学期)18名	1～4年生	文学部	SA参加決定者で、審査の結果承認された者
文学部哲学科「国際哲学特講」履修に伴う海外体験学習実習費補助金	5万円を上限に 実習費等の25%まで	20名以内	2～4年生	文学部	哲学科生のうち、「国際哲学特講」履修者全員 (「国際哲学特講」は定員制で20名まで履修可能)
経営学部 SA奨学金	前年度旅費総額の 30%程度	28名 (前年度実績)	2・4年生	経営学部	SA参加決定者のうち、学業成績が優れている者
国際文化学部 SA奨学金	(A) 25万円 (B) 30～60万円程度	(A) 全員 (B) 49名 (前年度実績)	当該年度 SA参加者	(6月) 国際文化学部	(A) SA参加決定者全員 (B) (A)のうち特に学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者((A)に加算)
国際文化学部 SJ奨学金	上限10万円	全員	2016年度 SJ参加者	国際文化学部	SJ参加決定者全員 (S Jとは国際文化学部の外国人留学生を対象にした国内研修制度(スタディ・ジャパン)です)
人間環境学部 社会人奨学金	2016年度の 授業料半額相当額	3名 (前年度実績)	1～4年生	(7月) 人間環境学部	社会人入学者のうち、学業成績が優れ、教育上経済的援助が必要な者
人間環境学部 海外フィールドスタディ 奨励金	9万円を上限とし、 研修費等の50%まで	90名程度	当該年度海外FS参加者	人間環境学部	海外フィールドスタディへの参加に強い意志を持ち、選考により決定した者 本奨励金の給付は在籍中、1回限りとする。
キャリアデザイン学部 キャリアアップ奨励金	受講料等の補助： 上限15万円 受験料等の補助： 上限2万円	40名程度	1～4年生	(5月) キャリアデザイン 学部	給付対象となる講座・資格等を修了もしくは取得した者 (上限の範囲内で一部又は全部を補助)
キャリアデザイン学部 「海外キャリア体験学習」 実習費補助金	20万円を上限とし、 実習費等の50%まで	各コース10名	2～4年生	キャリアデザイン 学部	キャリア体験学習事前指導(国際)およびキャリア体験学習(国際)履修者
キャリアデザイン学部 体験型実習費科目に係 わる実習費補助金	上限2万まで。詳細はキャ リアデザイン学部に関 合せてください。	60名程度	2～4年生	キャリアデザイン 学部	「キャリア体験学習」「キャリアサポート実習」「地域学習支援士II」履修者
キャリアデザイン学部 SA奨学金	旅費総額の30%程度	10名程度	1～4年生	キャリアデザイン 学部	学業成績に優れ、かつ経済的支援を必要とする者
GIS(グローバル)教養学部 OAS奨学金	(A)短期：50万円 長期：100万円 (B)短期：10または20万円 長期：10または40万円	(A) 全員 (B) 20名程度	当該年度 OAS参加者	(5月) GIS (グローバル) 教養学部	(A) SA参加決定者全員 (B) (A)のうち特に学業成績が優れている者 ((A)に加算)
経済学部 SA奨学金	30万円程度(前年度旅費 総額の30%程度)	42名 (前年度実績)	2年生	経済学部	SA参加決定者のうち、学業成績が優れている者
社会学部 SA奨学金	留学先により 26～53万円程度	30名程度	当該年度 SA参加者	社会学部	SA参加決定者のうち、学業成績が優れている者
現代福祉学部 国内研修奨励金	3万円を上限に交通費、 研修費、宿泊費相当額	30名程度	1～4年生	現代福祉学部	研修計画が学部審査を通過した者 研修終了後、レポート提出あり
現代福祉学部 海外研修奨励金	20万円を上限に研修費等 の60%まで	30名	2年生	現代福祉学部	研修参加への強い意志を持つ者のうち、学業成績が優れ、選考試験により参加が決定した者
理工系学部 教育・研究振興基金奨 学金	5万円	各学科1名	3年生	情報科学部 デザイン工学部 理工学部 生命科学部	2年次までの累積成績優秀者【指名制】
理工学部 SA奨学金	10または15万円	(夏期)11名 (春期)8名 (前年度実績)	(夏期) 1～4年生 (春期) 1～3年生	理工学部	SA参加決定者のうち、学業成績が優れている者
生命科学部SA奨学金	10または15万円	(夏期)10名 (春期)2名 (前年度実績)	1～4年生	生命科学部	SA参加決定者のうち、学業成績が優れている者
スポーツ健康学部 海外課外研修奨励金	20万円を上限に研修費等 の60%まで	22名	2・3年生	スポーツ健康学部	海外課外研修参加決定者

#### 4. 冠奨学金 (寄付者の名称を冠して設立された給付型の奨学金制度です)

奨学金の名称	金額(年額)	採用予定者数	採用学年	(募集予定期) 問合せ先	応募・採用条件
牧野奨学金	25万円	若干名	2～4年生	(6月) 厚生課	文学部哲学科に在籍し、学業が優れ、教育上経済的援助が必要な者
法政大学現代福祉学部 和ちゃん奨学金	15万円	若干名	2・3年生	(9月) 現代福祉学部	現代福祉学部在籍し、学業が優れ、障がい者福祉に強い関心を有する者
法政大学大成建設株式会社 ベトナム友好奨学金	授業料相当額等	若干名	入学前	グローバル教育センター国際支援課	デザイン工学部(建築学科・都市環境デザイン工学科)に入学するベトナム国籍の留学生

#### 5. 私費外国人留学生対象の奨学金

奨学金の名称	金額(年額)	採用予定者数	採用学年	(募集予定期) 問合せ先	応募・採用条件
法政大学国際交流基金(H I F) 外国人学部留学生奨学金	100万円	9名	1～4年生	(4月) 国際支援課	学部へ入学・在籍する学業・人物ともに優秀な私費外国人留学生
法政大学グローバル キャリア支援基金による 外国人留学生支援奨励金	文系：30万円 理工系：40万円	若干名	4年生	(6月) 国際支援課	学部4年生に在籍し、卒業見込みであるが学費の支払いが困難な私費外国人留学生

## II. (独)日本学生支援機構奨学金(貸与：卒業後に返還必要)

URL <http://www.jasso.go.jp/>

国の奨学機関である「(独)日本学生支援機構」が、有為な人材の育成と教育の機会均等をはかることを目的とした貸与型奨学金制度です。卒業後に返還が義務付けられています。日本学生支援機構奨学金についての詳細は、ホームページも参照してください。

### 1. 定期採用奨学金

種類・貸与額(月額)

奨学金の種類	通学形態	予定貸与額
第一種奨学金(無利子)	自宅通学者	30,000円、54,000円から選択(*貸与額変更可)
	自宅外通学者	30,000円、64,000円から選択(*貸与額変更可)
第二種奨学金(有利子) *利率は年3.0%を上限(利率固定方式、利率見直し方式のいずれかを選択) *在学期間中は無利息です	通学形態に関係なく、 30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円 から選択(*貸与額変更可)	

\*日本学生支援機構奨学金の定期採用については、4月に一斉に出願を受け付けます。二次募集はありません。

\*本奨学金について、外国人留学生はグローバル教育センターへお問い合わせください。

【参考】2016年3月貸与終了時利率(利率固定方式0.16%、利率見直し方式0.10%)

## 2. 緊急採用・応急採用奨学金(貸与型)(随時受け付け)

対象は、家計急変の事由が発生してから12カ月以内の方(外国人留学生を除く)で、随時受け付けています。

## 【緊急採用奨学金(無利子)】

貸与額は(独)日本学生支援機構奨学金の「第一種奨学金」と同一です。貸与開始月は、家計急変の生じた月以降で、申込者が希望する月とし2017年3月まで貸与可能です。(緊急採用奨学金継続願の提出により翌年度以降も貸与可能です)。

## 【応急採用奨学金(有利子)】

貸与額は(独)日本学生支援機構奨学金の「第二種奨学金」と同一です。貸与開始月は、家計急変の生じた月以降で申込者が希望する月とし、卒業時まで貸与可能です。

## 3. 短期留学用奨学金

本学のSA(スタディ・アブロード)や派遣留学などに限り、3カ月以上1年以内の短期留学のための奨学金があります(単位認定の無い私費留学には適用されません)。貸与額は定期採用奨学金の「第二種奨学金(有利子)」と同一です。申請期間は留学の出発時期によって異なります。詳細は各キャンパスの奨学金担当窓口へお問い合わせください。

## 4. 学部卒業後の海外留学用奨学金

大学を卒業後、海外の大学院へ学位取得を目的とした進学を希望している人を対象にした第二種奨学金(有利子)の予約も扱っています。詳細は各キャンパスの奨学金担当窓口へお問い合わせください。

## III. 民間奨学財団奨学金(給付または貸与)・地方公共団体奨学金(貸与)

## 【民間奨学財団奨学金】

民間奨学財団が募集する奨学金で、給付型(返還不要)と貸与型(返還必要)があります。

## 【地方公共団体奨学金】

地方公共団体の教育委員会等が募集する貸与型奨学金(返還必要)です。大学を通さず、個人で申請できるものもありますので、出身地の教育委員会などへお問い合わせください。

※募集は4月上旬に集中しますので、希望者は各キャンパスの「奨学金掲示板」で確認し早めにお申込みください。

## IV. 国の教育ローン

日本政策金融公庫が取り扱う融資制度です(年利1.90% 2016年5月10日現在)。銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協の窓口でも取り扱っています。詳細については、以下の教育ローンコールセンターに直接問い合わせてください。保護者(家計支持者)の方が各金融機関などに直接申し込み・契約をします(随時)。大学への連絡は不要です。

日本政策金融公庫  
教育ローン  
コールセンター

ナビダイヤル 0570-008656 TEL 03-5321-8656

※日曜日・祝日・年末年始(12月31日～1月3日)はご利用いただけません。

受付時間 月～金 9:00～21:00 土 9:00～17:00

URL <http://www.jfc.go.jp/>

### V. 短期貸費金

財布を紛失するなどの緊急時のための貸費制度です(大学院・通信教育部生は除く)。所定の申請書および誓約書の提出が必要です。貸費金額は10,000円以内で、返済期限は貸費を受けた日から1カ月以内です。詳細は各キャンパスの奨学金担当窓口へお問い合わせください。

### VI. 奨学金を受給する上での注意事項

各種奨学金を受給中または貸与中に学籍異動(休学・退学・除籍・留級・停学など)が生じた場合、奨学金の全額または一部を返金していただくことがあります。学籍異動が生じた場合は、各キャンパスの奨学金担当窓口まで必ず申し出てください。

奨学生として採用された後も各種手続きが必要になる場合があります。奨学金掲示板や情報ポータルサイトの見落としに気をつけてください。

### VII. 奨学金担当窓口

奨学金制度についてご不明な点は、下記の担当窓口までお問い合わせください。

対 象	担当窓口	連絡先
法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン・デザイン工・グローバル教養学部 に所属する学生	学生センター 厚生課 (市ヶ谷キャンパス外濠校舎 1階)	03-3264-9486
経済・社会・現代福祉・スポーツ健康学部 に所属する学生	学生センター 多摩学生生活課 (多摩キャンパスEGG DOME2階)	042-783-2151
情報科・理工・生命科学部に所属する 学生	学生センター 小金井学生生活課 (小金井キャンパス管理棟2階)	042-387-6011
外国人留学生	(市ヶ谷キャンパス) グローバル教育センター (58年館2階)	03-3264-5475
	(多摩キャンパス) 学務課グローバル担当 (総合棟地下1階)	042-783-2130
	(小金井キャンパス) 学務課グローバル担当 (管理棟3階)	042-387-7018

# 診療所／健康診断

## 診療所

充実した学生生活を過ごすために、健康管理は不可欠です。本学の各キャンパス設置の診療所は、医師・看護師が常駐し、診療、健康診断、健康相談等を実施しています。

体調不良時、けがをした時あるいは健康についての

相談がある時は、診療所を利用してください。

●授業期間外(夏休み等)は、診療時間等が短縮になります。法政大学ホームページなどでご確認ください。

●市ヶ谷診療所と多摩診療所の診療受診時には、「健康保険証」が必要ですので、必ず持参してください。

診療所	診察受付時間 (授業期間外は短縮)		場所	電話番号
市ヶ谷	月～金	10:00～11:15 12:30～16:45	ポアソナード・タワー2階	03-3264-9503
多摩	月～金	10:00～11:15 12:30～15:45	1号館(総合棟)1階	042-783-2161
小金井	月～金	12:30～16:45	管理棟4階	042-387-6051



市ヶ谷キャンパス



多摩キャンパス



小金井キャンパス

## 健康診断

毎年4月上旬のガイダンス期間中に、学校保健安全法に基づき健康診断を実施しています。年に一度の健康チェックの機会ですので、必ず受診してください(所属キャンパスでの受診となります)。当該年度に体育実技科目受講予定の方も受診してください。

この健康診断により、病気の早期発見をはかり、病状等に応じて健康指導・検査・専門病院紹介などを行っています。過去、自覚症状のない病気がこの健康診断で発見されたケースもありますので、充実した学

生生活を過ごすためにも、この機会をぜひ上手に活用してください。

また、健康診断を受けた方は、「健康診断証明書」の発行が可能になります(1通につき発行手数料200円)。この証明書は、就職活動、各種実習参加、奨学金申請、合宿等各種プログラム参加に必要な場合がありますので、発行希望者は必ず健康診断を受診してください。



健康診断

# 学生相談室・障がい学生支援室・ハラスメント相談室

## 学生相談室

学生相談室は、学生が大学生活で直面する様々な問題について、解決の糸口を探し、よりよい「次の一歩」を踏み出せるようお手伝いをしています。各キャンパスに

設置され、相談したいことがあって困っているとき、気軽に利用できるようになっています。

### 【学生相談室よりご家族の方へ】

高校から大学への環境変化は、想像以上に精神的負担が大きく、大学生活に適應できなくなってしまうこともあります。食欲がない、眠れない、口数が少なくなる等の変化に注意し、「あれ、おかしいな」と気づいたら、声をかけてゆっくり話を耳を傾けてあげてください。話を聞いてもらえる状況をつくるだけで、安心して軌道修正できることもあります。

### ■家族の方の学生相談室利用について(Q&A)

Q. 学生の家族も相談できますか？

A. 学生であるご子息のことについて、ご相談に対応しています。

Q. 利用の仕方を教えてください。

A. 電話で予約し、来室していただけます。遠方の方の場合は、まず電話でお話を伺うことになります。学生と一緒に来談することもできます。

キャンパス	受付時間	場 所	電話番号
市ヶ谷	月 9:30～17:00 火～金 9:30～16:30	富士見坂校舎4階	03-3264-9493
多 摩	月～金 9:30～16:30	1号館(総合棟)4階	042-783-2158
小金井	月～金 9:30～16:30	管理棟4階	042-387-6050

Q. どのような人が話を聞いてくれるのですか？

A. 臨床心理士の資格をもつカウンセラーがお話を伺います。必要な場合には、精神科医師、関係教職員などと調整して進めることもあります。

利用は無料です。原則として個人の秘密は守りますので、安心して相談してください。

## 障がい学生支援室

### 障がい学生支援室とは

大学では、様々な障がい(身体・発達)を持った学生が学んでいます。

障がい学生支援室は、障がいのある学生がその他の学生と同じレベルで講義を受講できるようにするための「講義保障」を中心に、学生が社会へ出るための自立をサポートし、障がい学生と支援学生の双方が成長できるコミュニティ作りを目指しています。

支援室の活動は、その多くが学生ボランティア(障がい学生サポートスタッフ)によって支えられています。サポートスタッフは、ノートテイク講座など必要な講習を受けて登録し、サポートが必要な学生の講義へ派遣されています。なお、スタッフへは、活動に応じた謝礼が大学から支払われています。



## 支援室の主な活動

支援室の主な活動は以下のとおりです。

- ・障がい学生との個別面談
- ・ひとりひとりの学生に合った講義保障の手配
- ・定期試験や授業内試験時の配慮
- ・教員への配慮事項の伝達
- ・学生生活の支援
- ・進路・就職の支援
- ・各種講習会の実施 など

## 障がい学生支援室

キャンパス	場所	電話	開室時間	メールアドレス
市ヶ谷	58年館1階 学生ホール内	03-3264-6718	[月～金] 9:00～17:00	ishien@hosei.ac.jp
多摩	総合棟2階	042-783-4038	[月～金] 9:00～17:00 (昼休み 11:30～12:30)	tmshien@hosei.ac.jp
			[土] 9:00～12:00	
小金井	管理棟4階	042-387-6050	[月～金] 9:00～17:00	kshien@hosei.ac.jp

## ハラスメント相談室

URL <http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/torikumi/harassment/>

本学は、キャンパス(教育・研究・就学・就労環境)におけるハラスメント防止・対策体制の整備に取り組んでおります。

セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメントのない快適な環境となるよう、専門相談員が相談を受けて、一緒に問題の解決方法を考えます。また、申し立てのサポートもします。家族や信頼できる友人、教職員等と一緒に来室することもできます。守秘義務に配慮していますので、安心してご相談ください。

○市ヶ谷キャンパス

TEL.03-3264-4409 FAX.03-3264-4410

E-mail : stopharass@hosei.ac.jp

[受付時間]

月～金 9:30～11:30 12:30～16:30

(11:30～12:30は応相談)

土日祝は閉室

※相談は面談を基本としています。事前に予約をお願いします。

# 法政大学学生教育研究災害傷害保険 (略称：学研災) について

法政大学後援会による大学への寄付金を基に始められたもので、学生の教育研究活動中の事故に備えて、学部生および大学院生を対象として上記保険に加入しています。この保険の対象となる傷害は、被保険者(学

生)が在籍する大学の教育研究活動中に生じた偶発的な事故によって、身体に傷害を被った場合に保険金が支払われます。ただし、「病気」についてはこの保険の対象となりません。

## 1. 保険の対象範囲および概要

- ① 正課授業中の事故：講義・実験・演習・実技などの授業を受けている間、および指導教員の指示に基づき研究活動を行っている間の傷害事故
- ② 大学行事中の事故：入学式・大学祭・体育祭・学位授与式など学校行事中の傷害事故
- ③ 大学施設内の事故：授業間の休憩中、昼休み中など大学施設内にいる間の傷害事故
- ④ 課外活動中の事故：大学に登録されたクラブやサークルなど課外活動中の事故
- ⑤ 通学中・学校施設等相互間の移動中の事故

	正課授業中の事故 大学行事中の事故	大学施設内の事故 課外活動中の事故	通学中・学校施設等 相互間の移動中の事故
死亡	1,200万円	600万円	600万円
後遺傷害	傷害の程度により 72万円～1,800万円	傷害の程度により 36万円～900万円	傷害の程度により 36万円～900万円
医療	治療日数1日から対象、 治療日数により3,000円～30万円	治療日数14日以上が対象、 治療日数により3万円～30万円	治療日数4日以上が対象、 治療日数により6,000円～30万円
入院(日額)	4,000円	4,000円	4,000円

## 2. 取り扱い部局について

	法・文・経営・国際文化・人間環境・ キャリアデザイン・グローバル教養	経済・社会・ 現代福祉・スポーツ健康	情報科・ 理工・生命科	デザイン工
体育実技を除く 正課授業中の事故	各所属学部担当 (電話番号は裏表紙参照)	各学部事務課 (電話番号は裏表紙参照)	小金井 学生生活課 042-387-6011	デザイン工学部 担当 03-5228-3721
体育実技中および 体育会活動中の事故	保健体育部			
	03-3264-9498	042-783-2732		
大学施設内および課外活動中 の事故／通学・移動中の事故	市ヶ谷学生生活課 03-3264-9478	多摩学生生活課 042-783-2152		

## 3. 保険金が支払われない傷害および事故

故意、闘争行為、疾病、大学施設外および課外活動中で特に危険度の高い運動等(山岳登山、スカイダイビング等)の傷害は、保険金が支払われません。

地震など天災による傷害、放射線・放射能などによる傷害についても原則として保険金は支払われません。

## 4. 注意事項

- ① 上記の事故に該当する場合は、事故発生日から1カ月以内に取扱部局(上記参照)へ申し出が必要です。
- ② 詳細は、入学時に配付の「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」を参照してください。
- ③ 未登録団体で、本保険の適用を受けようとする場合

は、事前に所定の手続きをとってください。

- ④ 本保険の対象とならない軽微(短期間で完治)な傷害事故については、本学から通院1日あたり800円の医療補償金を支払いますので、取り扱い部局へ申し出てください。ただし、病気は対象になりません。

## トラブルに巻き込まれないために

### トラブルが生じたときの連絡先

< 各学生センター学生生活課 >

市ヶ谷

TEL : 03-3264-9476

多摩

TEL : 042-783-2152

小金井

TEL : 042-387-6011

ここでは会員の皆さまや学生諸君の身近に潜むトラブルの危険について共有しておきます。

#### ■ 振り込め詐欺

最近、弁護士、警察官、保険会社社員などに成りますなど手口が巧妙になっています。被害に遭わないためには日頃から家族間で連絡を密にしていることが大切です。例えば学生の履修状況やゼミ・サークルなどを知っていれば、いざというときに役立ちます。対策としては、不審な電話があったときは、①本人の携帯に電話をして事実関係を確認します。授業時間中で連絡のとれない場合は大学に連絡してください。②変だと思ったら、お金は振り込まず、警察に連絡してください。

また、大学生が知らず知らずのうちに「振り込め詐欺に加担した」として逮捕される事案も発生しています。「割の良いアルバイトがあるよ」と誘われ引き受けたところ、実は振り込め詐欺の被害者から直接現金を受け取る「受け子」であったり被害者が振り込んだ後に口座から現金を引き出す「出し子」であった、といったケースが増えており、アルバイト選択にも注意が必要です。

#### ■ 政治セクト(過激派)による勧誘

学習会系サークルを装った学外政治セクトにご用心！

社会問題を扱う学習会系サークル等を装った過激派の政治セクト。非合法活動も辞さない反社会的な存在である彼らが、大学周辺で署名活動(=個人情報収集)をしたり、時事問題についての講演会・読書会などを隠れ蓑にして勧誘を行い、キャンパス内で仲間を増やそうとしています。また、「学生自治会」「全学連」を名乗り、キャンパス内外で個人情報を集めることもありますので、安易に個人情報伝えることのないように十分に注意してください。

\*「学生自治会」は本学には存在しません。

#### ■ カルト宗教による勧誘

おかしい、怪しいと思ったら、はっきり「NO」!

ごく普通の学生サークルを装うカルト宗教団体。ゴスペルコンサートやサッカー大会を開催したり、ボランティアや国際交流のサークルを名乗って電話番号を聞いてきたり、アンケートに個人情報を記入させたりと、巧妙に加入を迫ってきます。安易に個人情報を伝えることのないように十分に注意してください。

#### ■ 飲み系サークル

サークル活動と称してただ集まって「飲む」ことだけを目的とした、いわゆる「飲み系サークル」(飲みサー)という集団が存在しています。飲み系サークルは集団で飲酒して騒ぎを起こすだけではなく、未成年への飲酒強要、イッキ飲みの強要等を行い、なかには大学施設や備品などの器物破損を行ったり、高濃度の酒をイッキ飲みしたために急性アルコール中毒により救急病院に搬送される、等の事例も報告されています。こうした行為には巻き込まれないように注意してください。

#### ■ マルチ商法

知人から「DVD教材(数十万円)を購入して会員になり、友人や知人を会員に勧誘すると歩合で利益が得られ簡単に儲けることができるよ」と誘われ、お金を用意できなければ学生ローンを紹介されて半強制的に会員となる。このようなマルチ商法・マルチまがい商法が大学生間を中心に増えている、との報告があります。安易に契約する前に問題が無いかどうか十分吟味することが必要です。万一、契約した場合も「おかしい」と感じた場合は「クーリング・オフ」が可能な場合もありますので早めに消費生活センターに相談しましょう。

# 防災面での危機管理について

災害時の安否確認・連絡方法は親子で話しあって決めておきましょう

## 建物について

1980年以降に建てられた校舎はすべて新耐震設計に対応しています。それ以前の建物については建設当時の耐震基準で設計されていますが、大地震が起きたらすぐ倒壊するというものではありません。このような旧基準で建てられた建物はすべて耐震診断を行い、現行基準をクリアできるように順次耐震補強工事や建替工事を行っております。なお、アスベスト封じ込め工事、除去工事も完了しており、年間1回の点検作業も実施しています。

では、地震が発生したらどうすればよいのか。その瞬間、「自分の身は自分で守る」以外に方法はありません。学校にいても自宅にいてもまたは街のどこかにいても、その瞬間は自分で自分の安全を確保することです。大学では、地震発生時にとるべき行動として、まず「身の安全確保」、その次に「火の始末または消火活動」、そして「周囲の救助・救援活動」の三大原則を身につけるよう啓発活動を実施しています。

火災や地震などが発生した時の体制は、大学の自衛消防組織が基本となり対応にあたります。普段から防災訓練等で経験を積み重ね危機管理に対する意識向上を図っています。

### <災害時の避難場所>

市ヶ谷：地震については原則として建物内待機

多摩：各建物に隣接する広場

小金井：キャンパス中庭

多目的グラウンド(梶野町)



防災グッズなどの備蓄品は大学が用意しています

### <大規模災害発生時にとる三大原則>

#### (1) 学校にいるとき

①身の安全を確保

②周囲の火の始末・初期消火

③周囲のケガ人の救助・救援活動

その後の行動については、学校が情報収集に努め指揮をとります。帰宅が困難なときは学校にとどまります。

#### (2) 自宅または学外にいるとき

まず、身の安全を確保。

通学・帰宅途中はただちに帰宅。

家族と連絡を取り合い安全を確保。

災害用伝言ダイヤル 電話番号 171

災害用伝言板サービス(携帯電話)

大規模災害発生時、発生地域で自分の安否情報を家族・親類・知人などに知らせるため、メッセージを登録できるサービスです。

詳しい設定・登録方法は、以下の各携帯電話会社の案内をご確認ください。

■NTT Docomo

<http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/index.html>

■au(KDDI)

<http://www.au.kddi.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengen/>

■SoftBank

<http://www.softbank.jp/mobile/service/dengen/>

■Y!mobile

<http://www.ymobile.jp/service/dengen/>

毎月1日と15日は体験利用ができます。

親子で使いこなせるようにしておきましょう。

# 就職



就職／理系の就職活動／教職・資格／講座／公務員／学部別の主な就職先／  
就職に関するQ & A

## キャリアセンター

URL <http://www.hosei.ac.jp/careersien/>

スタッフによる「個別相談」をはじめとして、資料・雑誌の閲覧やパソコンの利用ができます。OB・OG訪問には欠かせない先輩たちの就職活動記録をまとめた

「活動記録報告書」や「個別企業ファイル」は必読です。開室時間・行事の予定などは、掲示板、ホームページでお知らせしています。



市ヶ谷キャンパス  
外濠校舎2階 TEL.03-3264-9604



多摩キャンパス  
総合棟2階 TEL.042-783-2173



小金井キャンパス  
管理棟1階 TEL.042-387-6046

## キャリア教育プログラム

従来の教員による学生の教育・指導に、産業界の知見やニーズを反映した教育手法を組み合わせることによって、4年間の教育を「立体的に」展開しようとしています。

### 【特徴】

①「働く力を理解する講座・科目」では、本学オリジナルの映像教材を使用しながら、社会で働くときに何が求められるかを、実感を持って学ぶことができるよう工夫しています。

②「新しい形のインターンシップ」を実践します。従来の企業で研修を受けるインターンシップではなく、学生たちが実際にビジネスを体験することで自らの力を試し、実践から意欲や気づきを得る機会を設定していきます。

③本学が独自に開発した「働く力測定アセスメント」によって、学んだことの成果を振り返り、成長を確かめながら、さらに学びを深めていきます。

**公務員講座と法職講座** 外部の専門学校と比べて格段に安価な受講料にて提供します

### ○公務員講座

公務員を目指す学生への支援として、公務員講座を開講しています。学内講座のため、安価で受講することができます。入門講座(1年次)、基礎講座(2年次)、国家・地方公務員上級職対策講座(3~4年次)と、段階的なカリキュラム編成により、効率的な試験対策を行います。欠席した場合も、WEB・DVDの補講を受けることができます。

また、本学出身の公務員と触れあう機会を設けるなど、学習上のアドバイスから面接試験まで、さまざまな支援を行います。

### ○法職講座

法曹(裁判官・検察官・弁護士)を目指す学生への支援として、「法科大学院(ロー・スクール)」進学を目標とした法職講座を学内講座として開講しています。講座は外部の専門学校講師および本学卒業・修了生の弁護士による講義が行われ、法科大学院進学・司法試験合格をサポートします。

## 主な就職支援

### ○個別相談対応

経験豊富な専任職員およびキャリアアドバイザーが、業界・企業研究、エントリーシートや履歴書の書き方、面接対策等について、的確なアドバイスを展開しています。

### ○法政企業人コミュニティ(法政BPC)

組織的・持続的な「卒業生による学生への就職支援」と、卒業生同士の交流の場の提供を目的に、2012年7月24日に発足しました。社会の第一線で活躍している100名以上の卒業生と学生が本音で語り合う交流会を順次開催しています。

### ○学生サポーターによる就職相談

すでに進路が決まった4年生が学生サポーターとなり、キャリアセンター内のキャリアカフェにて、2年生や3年生の就職活動についての不安や質問に対し相談に応じます。また、サポーターが企画した支援行事も随時実施しています。

### ○ゼミ別出前就職セミナー

キャリアセンタースタッフがゼミ教室に向向いて、就職活動のアドバイスをを行っています。このように「少人数指導」のプログラムも用意することで、重層的なサポートを目指しています。

### ○就職ガイダンス

キャリアセンターの利用方法、現在の就職活動状況に対するアドバイス、各種就職支援行事の案内、先輩の活動報告等を確認して、就職活動全般について理解を深めていきます。

### ○就職セミナー

自己分析、業界・企業研究、筆記試験対策、面接対策等、就職活動を進めていくうえで大切なポイントをテーマ別に詳しく解説しています。

### ○学内企業説明会

1年間で約1,000社を超える企業・団体の人事担当者を招いて企業説明会を展開しています。参加した学生の企業研究がさらに深まるよう、様々な工夫を凝らしています。

## 主なキャリア形成支援

### ○インターンシップ

キャリアセンターでは、学生が在学中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行えるよう、民間企業の他、公共機関、非営利団体など、さまざまな職場でのインターンシップの機会を学生に提供しています。事前準備として、概要や参加することの意義、心構えを学習する各種の講座や先輩の体験談を聞けるガイダンスなどを実施しています。



インターンシップガイダンス

### ○社会人との交流

企業が学生に求めている能力はコミュニケーション能力です。社会に出ると、年齢、経験などが異なる多様な人たちと仕事をします。面接ではコミュニケーション能力の高さが重視されます。キャリアセンターではコミュニケーション能力を身につける方法をアドバイスします。



OB・OGと学生の交流会(法政BPC)

## 理系の就職活動

1. 基本的な就職活動のプロセスは文系と変わりません。

ただし、理系学生には「学校推薦」という「自由応募」とは別ラインで進む選考プロセスがあります。

2. 技術面接に対応できるようにしましょう。

学生の専門スキルについての面談です。

(1)特に力を入れて取り組んだ授業課題

(2)今後取り組んでいきたい研究内容などに答えられるようにしましょう。実際に物を作り上げた経験があればそのプロセスもヒントになります。

3. 自由応募と学校推薦

行きたい企業が学校推薦を行っているのであればぜひ

活用しましょう。ただし内定の辞退はできませんので、いろいろな企業の選考を受けつつ入社する会社を決めた場合は自由応募がお勧めです。

4. 工場見学や現場見学に参加しましょう。

一般的な会社説明会とは別に、生産現場や研究所といった現場を見学できる機会を設けている企業があります。自分の知識や技術がどのような現場で役立つのかを確認する良いチャンスです。

また、現場を見ておけば面接試験などの際に説得力が出てくるメリットがあります。興味ある企業で開催されている場合は、積極的に参加することで、企業の中に入っても誠実に仕事に取り組む人材であるとアピールできます。

## 学校推薦

企業から大学へ、学部、学科、専攻単位で学生の推薦依頼がきます。このような企業に対しては、主として選考会を行い企業ごとに推薦する学生を決定します。ただし、学校推薦での内定は絶対に辞退することはできません。企業研究を充分してから応募しましょう。

### ＜学校推薦募集を行うおもな企業＞

トヨタ自動車、本田技研工業、日産自動車、富士重工業、スズキ、小松製作所、富士ゼロックス、富士通、キャノン、凸版印刷、大日本印刷、オリンパス、リコー、ブリヂストン、清水建設、大成建設など

## 特殊な学校推薦「逆指名・マッチング方式」 <2015年度の実施例>

### ○逆指名

企業が先に選考を行い、合格者に対して学校推薦状を求める形式。実施される大学は限定されています。企業の求める人材に合致していれば相当数の合格者が出ます（NITデータ、NIT東日本）。

### ○マッチング方式

事業部が選考を行い、合格者に対して学校推薦状を求める形式です。大手電機メーカーがこの方式での採用です。各事業部が求めている人材と学生が希望する分野をすり合わせてミスマッチを防ぎます（日立製作所、NEC、パナソニック、三菱電機）。



# 教職・資格

URL <http://www.hosei.ac.jp/careersien/shikaku/index.html>

教員を目指すためには、教育職員免許法に定められている所定の科目・単位を取得し、さらに実際に中学・高校の教壇に立って授業を行う教育実習を受ける必要  
があります。このほか、中学校教員免許状を取得するには「介護等体験」が義務づけられています。

※は受験資格

学部	学科	中学校一種免許	高校一種免許	その他資格
法学部	法律学科	社会	地理歴史・公民	
	政治学科	社会	地理歴史・公民	
	国際政治学科	社会	地理歴史・公民	
文学部	哲学科	社会	地理歴史・公民	
	日本文学科	国語	国語	
	英文学科	英語	英語	
	史学科	社会	地理歴史・公民	
	地理学科	社会	地理歴史・公民	} いくつかの組 み合わせのみ
	理学科	地理歴史・理科		
	心理学科	社会	公民	認定心理士
経済学部	経済学科	社会	地理歴史・公民・情報	
	国際経済学科	社会	地理歴史・公民	
	現代ビジネス学科	社会	地理歴史・公民	
社会学部	社会政策科学科	社会	地理歴史・公民	社会調査士
	社会学科	社会	地理歴史・公民・情報	社会調査士
	メディア社会学科	社会	地理歴史・公民・情報	社会調査士
経営学部	経営学科	社会	公民・情報・商業	
	経営戦略学科	社会	地理歴史・公民・情報・商業	
	市場経営学科	社会	公民・情報・商業	
国際文化学部	国際文化学科	英語・中国語	英語・中国語・情報	
人間環境学部	人間環境学科	社会	地理歴史・公民	
現代福祉学部	福祉コミュニティ学科	社会	福祉	※社会福祉士 ※精神保健福祉士 スクールソーシャルワーカー
	臨床心理学科		公民	認定心理士
情報科学部	コンピュータ科学科		情報	
	デジタルメディア学科		情報	
キャリアデザイン学部	キャリアデザイン学科	社会	地理歴史・公民・商業	
デザイン工学部	建築学科			※一級・二級建築士
	都市環境デザイン工学科			測量士補 ※一級・二級土木施工管理 技術士
	システムデザイン学科		情報	
理工学部	機械工学科	数学	数学	
	電気電子工学科	数学	数学	電気主任技術者 無線技術士
	応用情報工学科	数学	数学・情報	
	経営システム工学科	数学	数学	
	創生科学科	数学・理科	数学・理科	
生命科学部	生命機能学科	理科	理科	技術士補 技術士 バイオ技術者
	環境応用化学科	理科	理科	技術士補 技術士
	応用植物科学科	理科	理科	技術士補、技術士、樹木医補、樹 木医、自然再生士補、自然再生士
GIS(グローバル教養学部)	グローバル教養学科	英語	英語	
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	保健体育	保健体育	スポーツリーダー ※アスレティックトレーナー ※健康運動指導士 ※健康運動実践指導者 ※トレーニング指導者

図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事(任用資格)、博物館学芸員は、全学部において取得できます。詳しくは上のURLを参照ください。また、スポーツ健康学部では上表の取得可能な資格があります。

## 講座

### 公務人材育成センター主催講座

TEL.03-3264-6285

講座名		開講 キャンパス	内容
公務員 講座	公務員入門講座 (1年次)	市ヶ谷 多摩	公務員の仕事や公務員試験についての理解を深め、公務員への目的意識の明確化、2年次以降に本格化する試験対策に向けて、基礎知識・基礎学力の強化に重点を置きます。
	公務員基礎講座 (2年次)	市ヶ谷 多摩	公務員試験の主要教養科目(数的処理・文章理解・社会科学・人文科学)、専門科目(憲法・民法・行政法・経済原論)について、基礎知識から体系的に学習していきます。
	公務員基礎講座 (2～3年次)(技術系)	小金井	教養科目および技術系公務員試験の最重要科目である「工学の基礎」について、夏期休暇期間に集中して講座を実施します。
	国家・地方公務員上級 職対策講座(行政職)	市ヶ谷 多摩	問題演習を中心とした講義を行い、覚えた知識を問題解答力へ変換していきます。本講座は公務員採用試験の面接重視傾向に対処する人物対策プログラムを強化しています。
	国家総合職(法律区分) 対策講座	専門学校へ 通学	国家公務員採用総合職試験(大卒程度)「法律区分」の合格を目指すための講座です。試験合格～官庁訪問対策まで、全面的なサポート体制を整えており、講義だけでなく、ゼミ形式の演習により更なるレベルアップを目指します。2年次の公務員基礎講座の受講者のみを対象としています。
	(オプション) 裁判所事務官対策講座 (3年次～)	— (web)	国家・地方公務員上級職対策講座(行政職)の受講生で、裁判所事務官を希望する学生を対象とした講座です。
	(オプション) 国税・財務専門官 対策講座(3年次～)	— (web)	国家・地方公務員上級職対策講座(行政職)の受講生で、国税専門官・財務専門官を希望する学生を対象とした講座です。
	(オプション) 東京都庁専門記述試験 対策講座 (3年次～)	市ヶ谷 多摩	国家・地方公務員上級職対策講座(行政職)の受講生で、東京都庁の希望者を対象にした講座です。都庁以外にも、専門記述試験を導入している自治体にも対応します。
直前期 市役所B・C 日程対策講座 (4年次)	市ヶ谷	市役所の採用試験時期に合わせ、再度総まとめを行う講座です。	
法職 講座	法職講座 (1年次～3年次)	市ヶ谷	法曹(裁判官・検察官・弁護士)を目指し、「法科大学院(ロー・スクール)」進学を目標とした講座です。講座の進度に応じて履修科目を選択する形式で実施します。講座は外部の専門学校講師および本学卒業・修士生の弁護士により行います。

### 高度会計人育成センター主催講座

TEL.03-3264-9330

講座名	開講 キャンパス	内容
会計専門職講座	市ヶ谷 多摩	公認会計士、税理士等の会計専門職を目指す上で必要不可欠である簿記を学びます。日商簿記3級から始め、最終的には1級に合格する力がつくまで指導します。

### 学生のキャリアアップ講座

講座名	開講 キャンパス	問い合わせ先	内容
(現代福祉学部生対象) 社会福祉士・精神保健福 祉士国家試験対策講座	多摩	現代福祉学部事務課 042-783-2806	試験に精通した専門講師による講義形式で実施致します。最新の試験傾向を踏まえながら、全学科を「基礎」から「応用」までステップアップ方式で学習し、模試を行いつつ、本試験レベルまで引き上げます。

講座名	開講 キャンパス	問い合わせ先	内 容
教員採用試験 二次試験対策講座	市ヶ谷 多摩 小金井	教職・資格担当 03-3264-9425	教員採用試験二次試験対策講座として、面接練習及び集団討 論練習を行います。

\* 上記の大学内で開講している講座には法政大学後援会から助成が行われています。

## その他

講座名	開講 キャンパス	問い合わせ先	内 容
自主マスコミ講座	市ヶ谷	support@jishumasu.com	アナウンサー、新聞・報道記者、出版、放送、広告などコース ごとに、フリートーク、論文対策、面接対策などを行う(講 師は主に第一線で活躍している本学OBマスコミ関係者)。

\* 上記の大学内で開講している講座には法政大学後援会から助成が行われています。

## エクステンション・カレッジ

TEL.03-3264-6243

### 【資格検定試験合格返金制度】

講座修了後、エクステンション・カレッジが指定する年・月の当該資格検定試験に合格した場合、受講料の10%を返金します。ただし、所定の手続きを行う必要があります。



## 2016年度開講予定講座

### ○資格講座(\*国家資格)

*行政書士合格講座 —街の身近な法律家—	人気の行政書士資格は、難関法律資格の一つでもあり、短期間での合格には講座の活用が有効です。本講座では、憲法・民法・行政法・商法の法律科目と一般知識を基礎から学びます。講義と演習の繰り返しにより知識の定着を図り、合格に必要な力を身につけます。
*宅地建物取引士資格合格講座	宅建は、不動産業・金融業だけでなく、幅広い業種で活躍できる資格です。法律知識ゼロから学習する方にも、無理なく合格レベルの知識を身に付けられるよう、講座を進めます。宅建試験での合格のカギとなる基礎問題での確実な得点を目指します。
秘書検定準1級・2級合格講座	秘書技能検定とは、社会人としてのマナーの基本が身に付いていることを証明する資格です。企業知識やビジネス文書、正しい敬語やビジネスマナーなどが含まれ、就職活動だけでなく、就職後も役立つ知識・技能が身に付きます。
*旅行業務取扱管理者資格合格講座	旅行業界は、就職志望先として根強い人気があり、狭き門となっています。そのため、業界唯一の国家資格「旅行業務取扱管理者」資格の取得は必須です。

### ○語学講座

TOEIC®テストスコアアップ講座 (リスニング編・リーディング編)	TOEIC®テストの出題傾向に合わせた攻略法に焦点を当て、短期間でスコアアップを狙います。
IELTS対策講座(6.0目標)	リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4つの分野における重要な試験対策スキルを学び、IELTSの重要な分野の語彙を増やすために必要な言語と表現を学びます。

# 公務員

公務員は、国の機関に勤務する国家公務員(総合職・一般職と専門職がある)と、都道府県や市町村などの地方公共団体に勤務する地方公務員とに大別することができます。公務員の採用試験改革(出題範囲の見直しや、選択科目数の変更)により受験者層が拡大したことや、採用数が減少していることもあり、ここ数年高倍率が続

いています。選考方法も、筆記試験と同様に面接にも重点がおかれるなど、厳選採用の時代に入りました。

公務員と一口に言っても、その種類や仕事内容は様々です。公務員を目指す人は、希望する公務員の研究を進めると同時に、早めに、そして計画的に勉強に取り組むことが必要になります。

## 民間企業との併願をする場合

公務員試験と民間企業との併願は、負担がかなり大きくなります。企業が採用を行う時期は、公務員試験を受験する人にとって試験直前の重要な時期でもあります。できるだけ早く志望先企業の採用日程等を把握して、両方の活動スケジュールを立てなければなりま

せん。公務員試験の日程が公示されるのは、おおむね4月上旬からになりますので、それ以前に、希望する民間企業には広くエントリーしておき、試験日程が重なった時も、方向転換ができるようにしておきましょう。

## 2015年度公務員内定状況

### ○国家公務員

内定先	内訳			文科系			理工系			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
内閣府	2	1	3	1		1	3	1	4			
総務省	2	1	3	2		2	4	1	5			
法務省	3	2	5				3	2	5			
外務省												
財務省	9	3	12				9	3	12			
文部科学省												
厚生労働省	5	1	6				5	1	6			
農林水産省	1	1	2	1		1	2	1	3			
経済産業省	1		1	1	1	2	2	1	3			
国土交通省	4		4	1	1	2	5	1	6			
環境省	1		1				1		1			
防衛省	6	2	8				6	2	8			
会計検査院												
衆議院事務局	1		1				1		1			
参議院事務局												
裁判所	1		1				1		1			
その他												
合計	36	11	47	6	2	8	42	13	55			

※省庁には分局、外局、出先機関も含む

※大学院修了者を含む

### ○地方公務員

内定先	内訳			文科系			理工系			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
都道府県庁	32	16	48	13	3	16	45	19	64			
東京都特別区	39	15	54	10	1	11	49	16	65			
政令指定都市	16	13	29	8	3	11	24	16	40			
市町村 (政令指定都市除く)	83	32	115	7	2	9	90	34	124			
警察	29	17	46	2	1	3	31	18	49			
消防	12		12	1		1	13		13			
その他	3	1	4				3	1	4			
合計	214	94	308	41	10	51	255	104	359			

※大学院修了者を含む

# 学部別の主な就職先（2015年度）

- **法学部**：日本生命保険、日本銀行、パナソニック、KDDI、JR 東海、ソフトバンク、三菱東京 UFJ 銀行、JR 東日本、富士通、みずほ銀行、東京海上日動火災保険、日本航空、JTB グループ、丸紅、大日本印刷、フジテレビジョン、ライオン、全日本空輸、森永製菓、損害保険ジャパン日本興亜、三井住友銀行、日本アイ・ピー・エム、マルハニチロ、高島屋、エイチ・アイ・エス、三菱電機、サッポロビール、ジェシービー、キッコーマン、豊田通商、厚生労働省、衆議院事務局、総務省、財務省、国土交通省、経済産業省、農林水産省、各都道府県庁、各市区町村、警察官、消防士
- **文学部**：日本航空、全日本空輸、三菱東京 UFJ 銀行、住友生命保険、東急エージェンシー、富士ゼロックス、損害保険ジャパン日本興亜、東宝、みずほ銀行、エイベックス・グループ・ホールディングス、テレビ東京、東京ガス、ジェイアール東日本企画、キリンビール、三井住友銀行、第一生命保険、JR 東日本、JR 東海、日本生命保険、積水ハウス、LIXIL、千葉銀行、三菱 UFJ 信託銀行、ソフトバンク、ANA エアポートサービス、横浜銀行、エイチ・アイ・エス、カプコン、三菱電機、三井住友信託銀行、国土交通省、林野庁、各都道府県庁、各市区町村、警察官、消防士、教員
- **経済学部**：NTT ドコモ、KDDI、第一生命保険、日立製作所、損害保険ジャパン日本興亜、三井住友銀行、キヤノン、JR 東日本、三菱東京 UFJ 銀行、日産自動車、全日本空輸、三井住友海上火災保険、NTT 東日本、オリエンタルランド、JR 東海、大成建設、資生堂、武田薬品工業、TOTO、本田技研工業、パナソニック、ジェシービー、大和ハウス工業、みずほ銀行、三越伊勢丹、JTB グループ、大日本印刷、ソフトバンク、帝人、SMBC 日興証券、東京消防庁、環境省、総務省、各都道府県庁、各市区町村、警察官、教員
- **社会学部**：三越伊勢丹、博報堂、TOTO、NTT 東日本、サントリー食品インターナショナル、東映、損害保険ジャパン日本興亜、武田薬品工業、NHK、三菱東京 UFJ 銀行、JR 東日本、第一生命保険、テレビ朝日、東宝、みずほ銀行、NTT ドコモ、パンダイ、大日本印刷、野村不動産、産業経済新聞社、吉本興業、アミュース、SMBC 日興証券、ソフトバンク、オリックス、三井住友銀行、JTB グループ、楽天、ホリプロ、ニチレイフーズ、内閣府、総務省、国土交通省、各都道府県庁、各市区町村、警察官、消防士、教員
- **経営学部**：損害保険ジャパン日本興亜、JR 東日本、三菱東京 UFJ 銀行、日本航空、電通、ライオン、東京海上日動火災保険、住友商事、パイロットコーポレーション、三井住友銀行、NTT ドコモ、ハウス食品、商船三井、パナソニック、ロッテ、コーセー、東京急行電鉄、NTT 東日本、武田薬品工業、三井住友海上火災保険、積水ハウス、アサヒビール、アステラス製薬、ソフトバンク、川崎汽船、三菱電機、第一生命保険、大日本印刷、船井総合研究所、KDDI、国税庁、厚生労働省、各都道府県庁、各市区町村、警察官、教員
- **国際文化学部**：ヤフー、JR 東日本、アシックス、三菱重工業、全日本空輸、日本航空、三菱東京 UFJ 銀行、JTB グループ、明治安田生命保険、成田国際空港、NTT 東日本、三井住友銀行、トヨタ自動車、ANA エアポートサービス、KDDI、みずほ銀行、損害保険ジャパン日本興亜、パナソニック、サントリーホールディングス、エイチ・アイ・エス、カシオ計算機、清水建設、読売新聞社、日本生命保険、ソフトバンク、オリックス、YKK、JAL スカイ、日本旅行、国税庁、各市区町村、警察官、教員
- **人間環境学部**：富士通、大日本印刷、損害保険ジャパン日本興亜、東京海上日動火災保険、大和ハウス工業、パンダイ、日本生命保険、三菱東京 UFJ 銀行、みずほ銀行、竹中工務店、三井住友銀行、トヨタ自動車、全日本空輸、丸紅、東京ガス、JTB グループ、ハウス食品、日本航空、マツダ、旭化成、オリックス、三菱 UFJ 信託銀行、あいおいニッセイ同和損害保険、第一生命保険、富士重工業、ヤクルト本社、プリンスホテル、オリパラス、小松製作所、ジェシービー、国税庁、各都道府県庁、各市区町村、警察官
- **現代福祉学部**：オムロン、ベネッセスタイルケア、NTT 東日本、ユニ・チャーム、ANA エアポートサービス、日本生命保険、JR 東日本、みずほ銀行、リック、大和ハウス工業、ニチエス館、マルハニチロ、積水ハウス、オリックス、大塚製薬、日本銀行、三井住友銀行、キュービー、日本赤十字社、NEC、品川区社会福祉協議会、野村證券、そごう・西武、あいおいニッセイ同和損害保険、明治安田生命保険、中央共同募金会、JTB グループ、ミリアリソートホテルズ、ソーニーミュージックグループ、各都道府県庁、各市区町村
- **キャリアデザイン学部**：東急エージェンシー、日立製作所、ベネッセコーポレーション、サンリオ、大日本印刷、塩野義製薬、日産自動車、みずほ銀行、オリエンタルランド、JR 東日本、三菱東京 UFJ 銀行、コクヨ、キリンビバレッジ、JR 東海、博報堂、全日本空輸、三菱マテリアル、JTB グループ、野村證券、日本航空、楽天、ソフトバンク、JAL スカイ、三井住友銀行、キヤノンマーケティングジャパン、MeijiSeika フェルマ、三井住友カード、日本コシヤ、近畿日本ツーリスト、太平洋セメント、厚生労働省、各市区町村、警察官、教員
- **GIS (グローバル教養学部)**：楽天、アサツーディ・ケイ、トレンドマイクロ、マルハニチロ、古河産業、三井住友銀行、共同通信社、カター国際航空、トーマンエレクトロニクス、QVC ジャパン、NTT データ・グローバルソリューションズ、関東航空計器、スズキ、クリーク・アンド・リバー社、ECC、三井物産スチール、ニフティ、新日鐵住金、ヤマト運輸、全日本空輸、パシテラ・コンサルティング・ジャパン、キッツ、サン・フリア、エンプラス、Tokyo International KinderCare、翻訳センター、Earth Technology、イーグルリテイリング、オズマビジュアル、テイクアンドグヴ・ニース
- **スポーツ健康学部**：楽天、ANA エアポートサービス、日本体育協会、スポーツニッポン新聞社、三井住友海上火災保険、デサント、ダンロップスポーツ、三井住友銀行、ソフトバンク、ゴールドウィン、三菱東京 UFJ 銀行、キリンビバレッジ、エイチ・アイ・エス、大日本印刷、みずほ銀行、全日本野球協会、JR 東海、モルテン、第一生命保険、三井物産、ホーア、大丸製靴、タタタ、ブルボン、オービック、野村證券、ヤマト運輸、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、兼松、積水化学工業、防衛省、各市区町村、警察官、教員
- **情報科学部**：富士通、NEC フィールディング、ローム、オリパラス、日立製作所、アクセントチュア、ヤフー、サイバーエージェント、千葉銀行、NEC、野村證券、NHK、日本ビューティー・パッケージ、沖電気工業、ソフトバンク、キヤノン、TIS、富士通エンジニアリング、エヌ・ティ・ティ・データ、富士ソフト、日立システムズ、みずほ証券、伊藤忠テクノソリューションズ、ドコモ・システムズ、ジェイアール東日本情報システム、理想科学工業、ナビタイムジャパン、ソネットエンタテインメント、インターネットイニシアティブ、NTT データアイ、総務省
- **デザイン工学部**：旭化成ホームズ、都市再生機構、ヤフー、鹿島建設、JR 東海、オリエンタルランド、住友林業、小田急電鉄、JR 東日本、大成建設、東京急行電鉄、エヌ・ティ・ティ・データ、熊谷組、乃村工務社、NTT 東日本、大林組、丹青社、オリパラス、竹中工務店、西武鉄道、タカラトミー、ANA エアポートサービス、大日本印刷、大和ハウス工業、中日本高速道路、富士ゼロックス、YKKAP、清水建設、三菱電機、国土交通省関東地方整備局、各都道府県庁、各市区町村、警察官、消防士
- **理工学部**：JR 東日本、富士重工業、KDDI、トヨタ自動車、全日本空輸、NTT 東日本、ソフトバンク、三菱電機、三井住友銀行、オリパラス、JR 東海、商船三井、日産自動車、東京急行電鉄、パナソニック、キヤノン、損害保険ジャパン日本興亜、NHK、大成建設、富士通、スズキ、ANA エアポートサービス、パナール・エア、NEC、バイオニア、セコム、セイコーエプソン、楽天、アルプス電気、産業経済新聞社、警察庁関東管区警察局、各都道府県庁、警察官、教員
- **生命科学部**：東芝、ヤマザキナビスコ、日本製粉、NTT 東日本、岩谷産業、高梨製薬、伊藤ハム、キヤノンマーケティングジャパン、山崎製パン、大和証券、カネボウ化粧品、エイチ・アイ・エス、NEC、京セラ、LIXIL、大王製紙、村田製作所、日本郵政グループ、日野自動車、野村證券、日新火災海上保険、ボラファルマ、日本サムスン、ベネフィット・ワン、みずほ証券、日本原燃、サイバーエージェント、カルチュア・コンビニエンス・クラブ、東洋エン지니어リング、高砂熱学工業、経済産業省、林野庁

## Q&amp;A

**Q** Uターン就職をするにはどうしたらいい？

**A** まず、Uターン就職と首都圏での就職のどちらに注力するか判断が重要です。Uターン中心の場合、長期休みを利用して、各都道府県のUターン就職推進センター、商工会議所等を活用されることを勧めております。また、首都圏内に支部を置く県もあるので、そちらも活用いただきたいと思います。

**Q** 公務員と民間企業の併願は可能？

**A** 可能ではありますが、公務員筆記試験対策の達成度合いによるところがあります。公務員は筆記試験対策に最も時間を費やすことになるかと思いますが、民間企業の就職活動を並行して行うことにより、筆記試験対策が疎かにならないようご注意くださいと思います。そのために、選考を受ける民間企業を絞り込む作業も重要となります。

**Q** 子供が就職活動で苦戦している。どのように対応すれば？

**A** 納得のいく結果を得られない原因を冷静に探る事が大事です。そのため、まずはキャリアセンターにお越しいただくよう促していただきたいと思います。自己分析、業界研究など見直す必要がある場合があり、それを行わないことには新たな求人をご紹介しても実を結ばないことになる可能性があるためです。

**Q** 親としてどのようなことができる？

**A** 近年の新卒採用の早期化・長期化により、就職活動は体力的にも精神的にも厳しさを増す状況にあります。そのため相談事などにはできるだけ関わっていただき、ご支援いただきたいと思います。ご自分の職務体験など社会的な面の話などをしていただくのもよいかと思います。また、就職活動にはどうしても必要な費用（スーツ代や交通費）が発生するため、そのための経済的支援もお願いしたいと思います。他方、親御様ご自身がお子様の代行で事を起こすことのないようご注意くださいと思います。決してお子様のためになりませんのでご留意下さい。

# 大学情報

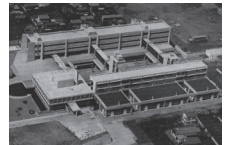


法政大学の歴史・草創期の功労者／著名出身者／校旗・校章／校歌・応援歌・学生歌・  
法政大学行進曲／市ヶ谷キャンパス Map／多摩キャンパス Map／小金井キャンパス  
Map／オレンジネットワーク事業／定期刊行物案内／国際教育交流／海外交流大学／一  
般社団法人法政大学校友会（卒業生組織）／学校法人法政大学データ一覧／大学院／図  
書館／活躍する体育会／法政オリジナル GOODS

# 法政大学の歴史・草創期の功労者

## 歴史

- 1880(明治13)年 東京法学校(講法局・代言局)設立。在野の法律家・金丸鉄と伊藤修らによって東京駿河台に創られた
- 1881(明治14)年 東京法学校講法局を独立させ、東京法学校(主幹・薩埵正邦)となる
- 1883(明治16)年 政府の法律顧問としてフランスから招かれていたパリ大学教授のポアソナード博士が教頭に就任
- 1886(明治19)年 日仏協会の前身である仏学会(会長・辻新次)によって東京仏学校設立
- 1889(明治22)年 東京法学校と東京仏学校とが合併して、和仏法律学校と改称。箕作麟祥博士が校長となり、自由、清新な学風をさらに発展させた
- 1903(明治36)年 専門学校令により財団法人和仏法律学校法政大学と名称を改め、予科、大学部、専門部、高等研究科を設置/初代総理(現在の総長)に、わが国「民法の父」といわれる梅謙次郎博士が就任
- 1904(明治37)年 清国留学生法政速成科開講
- 1920(大正9)年 大学令により初めて私立大学の設置が認可され、財団法人法政大学となる  
法学部、経済学部を設置
- 1921(大正10)年 麹町区富士見町4丁目(現在地)に校舎を新築し移転
- 1922(大正11)年 法学部に文学部、哲学部を新設して法文学部となる
- 1944(昭和19)年 工学部の前身の法政大学航空工業専門学校を設立
- 1947(昭和22)年 法文学部が法学部、文学部に改編され、経済学部と合わせて3学部となる。同年7月に通信教育部を設置
- 1949(昭和24)年 学校教育法により新制大学として発足
- 1950(昭和25)年 工学部を設置
- 1951(昭和26)年 私立学校法により学校法人法政大学となる  
新制大学院(人文科学研究科・社会科学研究科)を設置
- 1952(昭和27)年 社会学部を設置
- 1959(昭和34)年 経営学部を設置
- 1964(昭和39)年 小金井校舎竣工
- 1965(昭和40)年 大学院工学研究科を設置
- 1980(昭和55)年 創立100周年
- 1984(昭和59)年 多摩校舎竣工。経済学部第一部と社会学部第一部の1年次生、多摩キャンパスで授業開始
- 1992(平成4)年 92年館(大学院棟)竣工
- 1994(平成6)年 小金井キャンパスに「南館」竣工
- 1999(平成11)年 国際文化学部、人間環境学部を設置/多摩キャンパスに多目的共用施設「EGG DOME」竣工/ISO14001認証取得
- 2000(平成12)年 現代福祉学部、情報科学部を設置/市ヶ谷キャンパスに「ポアソナード・タワー」竣工/多摩キャンパスに「現代福祉学部棟」竣工/小金井キャンパスに「西館」竣工/創立120周年
- 2002(平成14)年 大学院人間社会研究科、情報科学研究科を設置
- 2003(平成15)年 キャリアデザイン学部を設置/国際日本学インスティテュートを設置
- 2004(平成16)年 大学院社会科学研究科7専攻を改組、7研究科編成となる/大学院法務研究科(法科大学院)を設置/大学院イノベーション・マネジメント研究科(経営大学院)を設置/国際日本学インスティテュートに博士課程を設置/市ヶ谷キャンパスに「法科大学院棟」竣工/小金井キャンパスに「マイクロ・ナノテクノロジー研究センター」竣工
- 2005(平成17)年 スポーツ・サイエンス・インスティテュート(SS)を設置/大学院システムデザイン研究科を設置
- 2006(平成18)年 大学院国際文化研究科を設置/「富士見坂校舎」・「新一口坂校舎」使用開始
- 2007(平成19)年 デザイン工学部を設置/市ヶ谷キャンパスに「外濠校舎」竣工
- 2008(平成20)年 理工学部、生命科学部、GIS(グローバル教養学部)を設置/大学院政策創造研究科を設置/小金井キャンパスに「東館」竣工
- 2009(平成21)年 スポーツ健康学部を設置
- 2010(平成22)年 現代福祉学部を福祉コミュニティ学科、臨床心理学科に改組/大学院デザイン工学研究科を設置
- 2011(平成23)年 小金井キャンパス「北館」「管理棟」竣工
- 2012(平成24)年 大学院公共政策研究科を設置
- 2013(平成25)年 大学院キャリアデザイン学研究科、理工学研究科を設置/小金井キャンパスに「中央館」竣工
- 2014(平成26)年 生命科学部を生命機能学科、応用植物科学科、環境応用化学科に改組/市ヶ谷キャンパスに「一口坂校舎」竣工
- 2015(平成27)年 大学院連帯社会インスティテュートを設置
- 2016(平成28)年 大学院スポーツ健康学研究科を設置/市ヶ谷キャンパスに「富士見ゲート」竣工





## 草創期の功労者

## ■ 東京法学社の設立者たち

法政大学の歴史は、1880(明治13)年4月に設立された「東京法学社」に始まります。この年は、わが国憲政史上に重要な地位を占める国会期成同盟が結成され、国会開設上願書が太政官に提出されるなど、自由民権運動の全国的な高揚期に当たっていました。法制史上でも、代言人(現在の弁護士にあたる)規則の改正や刑法・治罪法の公布など、近代的法制の整備が緒につきはじめた年でした。東京法学社は、このような時代背景の中で、にわかには高まりはじめた代言業務と法学教育の必要に応えるため、金丸鉄、伊藤修、薩埵正邦らの若い法律家によって、東京神田・駿河台北甲賀町に設立されました。

金丸鉄は1852(嘉永5)年、豊後国杵築藩士の子として生まれ、19歳で上京。独力で出版社時習社を興し、日本最初の法律専門誌『法律雑誌』を創刊した人物です。伊藤修は1855(安政2)年、金丸と同じく豊後国杵築藩士の子として生まれ、1877(明治10)年、代言人免許を得て訴訟業務に従事。また薩埵正邦は、1856(安政3)年、京都の石門心学の家に生まれ、上京。法律を独学中、ボアソナード博士の知遇を得て司法省雇、民法編纂局兼務時に直接指導を受けました。



かなまる てつね  
金丸 鉄  
(1852~1909)



いとう おさむ  
伊藤 修  
(1855~1920)



さつた まさくに  
薩埵 正邦  
(1856~1897)

## ■ G.E.ボアソナード博士(1825~1910)

フランス・ヴァンセンヌ市生まれ。パリ大学を卒業し、博士号を取得した後、グルノーブル大、パリ大の教授を歴任、1873(明治6)年、政府の法律顧問としてわが国に招かれ、太政官、司法省、外務省などの顧問として、20年間にわたり刑法定、治罪法定、民法典などの法典編纂や、司法省法学校の教授、政府の外交政策への助言などに尽力した人物です。

1883(明治16)年9月、本学の前身である東京法学校(後に和仏法律学校と改称)の教頭に就任した博士は、以後最終帰国まで10年以上にわたり、無報酬で門弟の教育に情熱を注ぎ、本学の基礎固めに精魂を傾けました。

東京法学校は校長を置かず、主幹・薩埵正邦が経営していたので、実質的に本学は「ボアソナードの法学校」であったといわれています。ボアソナードにより培われたフランス自然法的近代法の基本理念は、本学の「自由と進歩」の学風をつくりあげる基盤となりました。

2000(平成12)年3月に竣工した「ボアソナード・タワー」は、本学草創期に大きな功績を残されたボアソナード博士にちなんで命名されました。



## ■ 梅謙次郎博士(1860~1910)

1903(明治36)年、専門学校令の公布に伴い、本学は財団法人和仏法律学校法政大学と校名を改めます。この時、大学部、専門部、高等研究科および予科が設置され、総理(現在の総長)に就任したのが、梅謙次郎博士です。

「空前絶後の立法家」「先天的な法律家」と称された博士は1860(万延元)年、出雲松平侯の侍医の子として生まれました。東京外国語学校仏語科および司法省法学校を首席で卒業。フランス留学では、リヨン大学から法学博士の学位を授与、さらにリヨン市からヴェルメイユ賞碑が贈られ、論文「和解論」は市費出版されるという名誉も受けました。

1890(明治23)年、ドイツ留学から帰国後、和仏法律学校の学監に就任。以来、51歳で急逝するまでの20年余、帝国大学教授、法制局長官、文部省総務長官などの要職を次々と歴任する多忙な中、本学の運営に身を挺されました。学生の試験答案にいちいち目を通したばかりでなく、学生の就職にまで奔走しました。

文部省総務長官の時、ドアに「面会日火曜日」と書いてあるその脇に「但し法政大学並びに校友会員はこの限りにあらず」とあり、さらに本学在任中、給与などは一切受け取らなかったといえます。校長、総理時代、本学の諸事業には必ず梅博士の姿が見られました。



## 著名出身者

**法曹界／政界：**遠藤光男(元最高裁判事)／瀬戸英雄(弁護士) ほか(以上法曹界)

青山周平／秋本真利／穴見陽一／上田清司(埼玉県知事)／江崎孝／翁長雄志(沖縄県知事)／金子恵美／川口博／木内均／神風英男／菅義偉(内閣官房長官)／田中和徳(元環境副大臣)／徳永エリ／長谷川大紋／藤田大助／松下新平／山本拓(元農水副大臣)  
ほか(以上政界)

**財界：**飯島安志(キーンソシエイツ社長)／磯部任(アマダホールディングス社長)／伊藤秀二(カルビー社長)／井上貴功(クロスキャット社長)／岩部金吾(文化シヤッター相談役)／上田弘(コアサ・フナシヨク会長)／大内昭彦(リンテック会長)／岡村秀樹(セガホールディングス社長)／兼井雅史(飯田産業社長)／木村興三(筑波銀行相談役)／小島信夫(京葉銀行会長)／小林辰興(栃木銀行相談役会長)／佐々木徳久(ロイヤルホスト社長)／佐藤勇夫(宮崎銀行相談役)／佐藤脩(Olympicグループ相談役)／潮崎敏彦(文化シヤッター社長)／清水彰(AOKI社長)／鈴木和夫(ライト工業社長)／鈴木光(国際紙パルプ商事相談役)／堰八義博(北海道銀行会長)／高橋清(パイロットコーポレーション相談役)／瀧澤利一(日本パルカー工業社長)／瀧澤豊(日本アンテナ社長)／田中伸明(フリービット社長)／田谷哲哉(田谷<TAYA>会長)／土谷忠彦(イチケン相談役)／竹中宣雄(ミサワホーム社長)／永谷明(永谷園相談役)／兵部行遠(ミライアル会長)／前川輝之(クレディセゾン会長)／松丸美佐保(神田通信機会長)／丸山永樹(エムケー精工相談役)／三浦善功(日清食品会長)／宮嶋宏幸(ピックカメラ社長)／宗国旨英(本田技研工業特別顧問)／村田國樹(ジョリーバスタ社長)／森岡篤弘(日成ビルド工業社長)／山内英靖(やまや社長)／山口学(関電工会長)／山崎泰明(いちよし証券社長)／吉川志郎(ENEOSフロンティア社長) ほか

**マスコミ：**縣良二(フジサンケイビジネスアソシエイト会長)／石原正康(幻冬舎取締役)／小玉圭太(幻冬舎取締役)／小根山克雄(信越放送会長)／佐藤博夫(宮崎放送相談役)／竹村修己(テレビ高知社長)／竹石松次(新潟放送社長)／永野為光(東北放送相談役)／中村卓朗(西日本放送社長)／雨宮萌果・小松宏司・鈴木奈穂子・千葉美乃梨・登坂淳一・古野晶子・森田哲意(NHKアナウンサー)／久野静香・平松修造(日本テレビアナウンサー)／品田亮太・蓮見孝之・堀井美香(TBSアナウンサー)／川野良子・木村拓也・竹下陽平・谷岡慎一(フジテレビアナウンサー)／池谷麻依・加藤明子・菅原知弘(テレビ朝日アナウンサー)／島田弘久・白石小百合(テレビ東京アナウンサー)／染谷恵二・羽佐間正雄(スポーツアナウンサー)／赤平大・伊藤里絵・大村正樹・小島奈津子・内藤聡子・八塩圭子・山元香里(フリーアナウンサー)／生島ヒロシ(司会者)／板橋洋佳(朝日新聞記者・新聞協会賞受賞)／高田昌幸(高知新聞記者・新聞協会賞受賞) ほか

※アナウンサー職としてはこのほか多くのOB・OGがNHK、民放キー局、準キー局、地方局、フリーランスで活躍しています。

**文芸・芸術界：**古賀剛・竹田真砂子・飯嶋和一・吉田修一・初野晴(文芸作家)／池田雄一(評論家)／沢野ひとし(イラストレーター)／糸井重里・勝浦雅彦(コピーライター)／岩谷光昭・鬼海弘雄(写真家)／上原ひろみ(ジャズピアニスト)／金子達仁・戸塚啓(スポーツライター)／鈴木裕輔・増田明美(スポーツジャーナリスト)／高山文彦(ノンフィクションライター)／久住昌之・ひぐちアサ・ほりのぶゆき(マンガ家)／杉本信昭・園子温・中江功・堤幸彦・真利子哲也(映画監督)／青島千穂(アーティスト)／はままさのり・吉田玲子・山本優(脚本家)／虎澤英雄(陶芸家) ほか

**芸能界：**伊藤淳史・誠直也・美木良介・村上弘明・菊池桃子・高畑充希・中江有里・星野知子・前田亜季・真家瑠美子(俳優)／KAN・甲本ヒロト・庄野真代・田中星児・NAOKI(EXILE)・秦基博・みなみらんぼう・山下穂尊(いきものがかり)／音楽)／安座間美優(モデル)／浅見真州(能楽師)／澤登翠(活弁士) ほか

**スポーツ界：**石井文裕・稲葉篤紀・江川卓・江本孟紀・大島公一・大引啓次・加賀美希昇・葛西稔・後藤武敏・小早川毅彦・小松剛・G.G.佐藤・関根潤三・高村祐・武内久士・田淵幸一・廣瀬純・二神一人・矢野英司・山本浩二・山本功児(野球)／九鬼潤(テニス)／青山繁・大竹秀之・葛和伸元・熊田康則・古田史郎・南克幸・諸隈直樹(バレーボール)／朝日健太郎(ビーチバレー)／三宅義信・三宅義行・三宅宏実(重量挙げ)／川勝良一・清水秀彦・水沼貴史・柳沢将之・本田拓也(サッカー)／磯松大輔・為末大・徳本一善・伊藤友広・内藤真人・金丸祐三(陸上)／浅野良太・伊藤剛臣・遠藤幸佑・熊谷皇紀・桜庭吉彦・坂田正彰・苑田右二・日和佐篤(ラグビー)／内田翔・末永雄太・中野高(水泳)／佐藤有香・本田武史(スケート)／水巻善典・小池リサ(ゴルフ)／板倉令奈・鈴木貴美一(バスケットボール)／竹鼻建(スキー)／井原慶子(カーレース)／篠宮龍三(フリーダイブ) ほか

(主な著名出身者を掲載。役職等は2016年2月現在調べ。敬称略・五十音順)

# 校旗・校章

## 校旗

### ■ 校旗

法政大学の校旗は、松室致学長の時代、大学令の施行によって名実ともに大学に昇格した1921(大正10)年4月、現在の千代田区富士見に第一校舎が新築された時に初めて作られました。しかし、この校旗は1945(昭和20)年5月25日の空襲で、本学校舎とともに焼失。二代目の校旗は1947(昭和22)年に学生からの募金(きょきん)で高島屋に依頼して制作しました。三代目となる現在の校旗は二代目のデザインを踏襲し、2008年1月に作られたものです。



### ■ 略旗

校旗が学位授与式・入学式で使用されるのに対し、略旗はその他の大学主催の行事および校友の会合において、大学のシンボル旗として使用されています。略旗のデザインの起源については、元々応援団の「団旗」によるものと考えられますが、寸法などが不明確であったため、1990(平成2)年、正式に縦180cm、横270cmとし、また中央の「H」の位置をはじめとする細かな寸法も定められました。



## 校章

### ■ 法政大学

法政大学の最初の校章は、「大学」の文字の左右に「法政」の文字を記したものでした。その後、1921(大正10)年頃に「大」と「学」との間に法政の欧文イニシャル「H」を挿入したものが用いられました。1922(大正11)年、予科の山崎静太郎教授(楽堂と号して能楽の研究者・批評家でもあった)の創案で、「H」の文字を王冠で囲んだ金モールの予科の校章ができました。現在の校章は、1930(昭和5)年に制定されたもので、これも山崎教授の考案です。



大学の二字を龜の子型に図案したもので、長い伝統と永遠の真理を表しています。

### ■ 法政大学高等学校 法政大学第二中・高等学校

この校章は法政大学予科の校章として制定されたもので、現在は法政大学高等学校、第二中・高等学校の校章になっています。

校章の中心に「Hosei」の頭文字の「H」、下は「University」の頭文字の「U」を表し、上に王冠をいただいています。この王冠はフランス型の王冠で、法政大学の前身東京法学校が1880(明治13)年に設立され、自由民権と人類普遍の自然法を謳歌したフランス法思想を命脈として、教学の指導者にフランス人法学者ボアソナード博士があつたことから、フランス型の王冠にしたと伝えられています。また、中心の「H」は「Hope」の意味を含ませ、純情で潔白な青年の希望を表します。



### ■ 法政大学中学校

法政大学中学校の校章は、旧制の法政中学校そして新制の第一中学校へと引き継がれてきました。これは学制が旧制から新制に変わるなかで、本来なら新制の高校へと引き継がれるところですが、当時は新旧学制の変更や旧制の法政大学商業学校との再編の狭間で、前身を問うのではなく、同じ「中学」としての校章が引き継がれました。



### ■ 法政大学女子高等学校

付属校として誕生した翌年の1950(昭和25)年4月に制定されました。全体の形は盾で、Chastity(清純)を表します。HOSEI UNIV. の地の水色は清らかさを、文字のオレンジは情熱を表しています。左上はクラウンHで、法政大学の伝統ある校章です。右下のSは高等学校(Senior)を表します。



## ■ 襟章(バッジ)

1958(昭和33)年、それまで学部ごとに作られていたバッジを統一しようとして、学生から図案を募集しました。数多くのアイデアの中から、経済学部第二部3年生(当時の)宇津木牧男さんの作品を原図案として、のちに東京オリンピックのシンボルマークをデザインした亀倉雄策氏にデザインを委嘱、現在のバッジができました。法政大学のスクールカラーである紺色とオレンジ色を使い、紺色の地にオレンジ色の「H」の文字をあしらっています。



## ■ ブランドマークとエンブレム

「自由と進歩」の学風をより分かりやすく伝えるため、2013年にブランドマークとエンブレムを策定しました。

ブランドマーク：さまざまな方面でエネルギーに躍動する法政大学の姿を、Hの文字でシンボリックに表現しました。エンブレム：ブランドマークと同様の考えに基づき、法政大学の伝統ある校章とその頭文字H、そしてシンボルモチーフを組み合わせてエンブレムとして表現しました。



スクールカラーの由来：法政大学のスクールカラーは、オレンジと紺(法政ブルー)です。古い応援歌の歌詞によると2つの色は「暁(あかつき)の太陽」と「青空」を表しています。ただし、ブルーの色合いは、紫より濃い青紫です。印刷番号は、オレンジがDIC161(4色分解/Y100%+M60%)、ブルーはPANTONE280(4色分解/C100%+M90%)。

校歌

法政大学校歌

作詞・佐藤春夫  
作曲・近衛秀麿

一、若きわれらが命のかぎり

ここに捧げて(ああ)愛する母校

見はるかす窓(の)富士が峯の雪

蜚集めむ門の外濠

よき師よき友つどひ結び

法政 おお わが母校

法政 おお わが母校

二、若きわれらが命のかぎり

ここに捧げて(ああ)愛する母校

われひと共にみとめたらずや

進取の気象質実の風

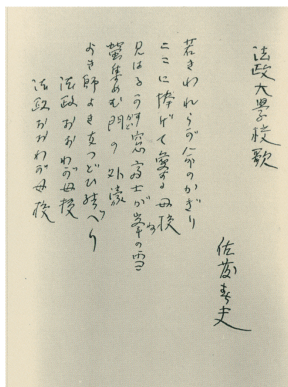
青年日本の代表者

法政 おお わが母校

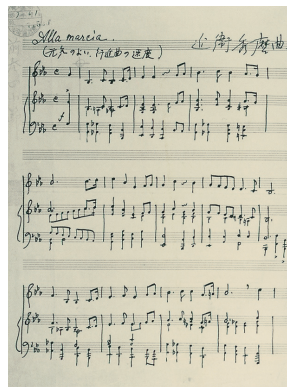
法政 おお わが母校



佐藤春夫  
▼佐藤春夫筆の新校歌歌詞



近衛秀麿  
▼近衛秀麿筆の新校歌楽譜



校歌の由来

1929(昭和4)年、学生の間到校歌作成委員会が結成され、同時に経費の募金運動が始まりました。「学生委員が、帽子を持って学生の間を回ると、すぐ帽子は銀貨でいっぱいになった」といわれています。無論、当時校歌がなかったわけではなく、現在行進曲として歌われている「名大いなれ法政」が校歌だったのです。しかし、「我等が法政の意気を示すべく」新しい時代にふさわしい校歌が待望されたのでしょう。

青春の烽火<sup>のろし</sup>勝 承夫 作詞  
平井康三郎 作曲

一、青春の烽火は高く  
燃え立つよ吾等が胸に  
ああ法政 不滅の生命  
澆測とここにあふる

二、オレンジのその情熱と  
その香り吾等が胸に  
ああ法政 希望のひかり  
学舎に今ぞそそぐ

三、新しき文化の理想  
花開く吾等が胸に  
ああ法政 スクラム堅き  
躍進の若き力

法政 法政 吾等が母校

## オレンジの園に

勝 承夫 作詞  
平井康三郎 作曲

一、若い心の情熱こめて  
匂うオレンジ輝やく希望  
さあ歌おうよ自由の朝を  
さあ歌おうよ二度ない春を

二、風も薫るよ外濠越えて  
吾等生徒うらら法政の華  
仰く青空世界に続く  
さあ歌おうよ光の朝を  
さあ歌おうよ未来ある未来

三、丘をはるかに富士ヶ嶺映えて  
夢もあふれる母校の窓よ  
さあ歌おうよ理想の園に  
さあ歌おうよ真理の春を  
吾等生徒うらら法政の華

## 学生歌

## 応援歌

## 若き日の誇り

法政大学応援団 作詞  
岡村雅雄 作曲

法政 法政 法政  
燃ゆる陽の生命こそ  
沸る我等が血潮  
今ぞ競技の試練  
征覇を誓いて鍛えし腕  
見よこの振興の気概  
恐れどなき力持て  
征け闘え破れ堅壁を  
我らが勝利の凱歌  
おお高らかに叫ばん  
若き日の誇りぞ

法政 法政 法政

## 若き獅子

清岡卓行 作詞  
佐藤勝 作曲

オレンジの旗 爽やかに  
世紀を超えて 伝統の  
自由の風に ひらめけば  
おお 法政 栄光の  
前衛になふ 若き獅子  
見よ 激突のたたかひに  
汗血淋漓 うるはしく  
勝利の星を つねに呼ぶ  
法政 法政 たぐひなき  
われらの母校 おお 法政

## 名大いなれ法政

為光 直経 作詞  
瀬戸口藤吉 作曲

一、お濠に影うつして  
いや妙にも花咲く  
丘の桜眺めて吾が魂声あぐ  
日の出するところより 日の入るところまで

二、千代田の城巡りて  
いや繁くも伸び行く  
緑の松仰ぎて吾が魂声あぐ  
日の出するところより 日の入るところまで

三、朝の光うけて  
いや白雲輝やく  
真白の富士仰ぎて吾が魂声あぐ  
日の出するところより 日の入るところまで  
名大いなれ法政 名大いなれ法政

## 法政大学行進曲

## 暁の勇者

高橋俊夫 作詞・作曲  
鈴木厚司 編曲

一、昇る朝日を 仰ぎ見て  
我らは誓う 勝利の二文字  
いざ行け いざ行け 暁の勇者  
栄えある我らの その呼び名  
響け天下に 法政 法政

二、猛き強者 集う時  
たぎる闘志で 大地が燃える  
いざ行け いざ行け 暁の勇者  
栄えある我らの その呼び名  
響け天下に 法政 法政

暁の勇者

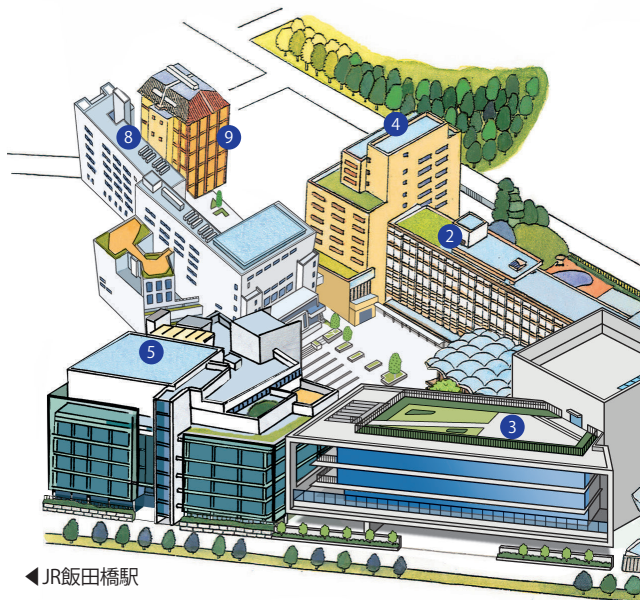
# 市ヶ谷キャンパスMap

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1 TEL 03-3264-9240

- 大学院人文科学研究科(国際日本学インスティテュート含む)、国際文化研究科、経済学研究科、法学研究科、政治学研究科(※)、社会学研究科、経営学研究科、人間社会研究科、政策創造研究科、デザイン工学研究科、公共政策研究科(※)、キャリアデザイン学研究科 ※連帯社会インスティテュート含む
- 専門職大学院法務研究科、イノベーション・マネジメント研究科

- 法学部
- 文学部
- 経営学部
- 国際文化学部
- 人間環境学部
- キャリアデザイン学部
- デザイン工学部
- GIS(グローバル教養学部)
- 通信教育部

- 1 55年館
- 2 58年館
- 3 富士見ゲート【2016年9月利用開始】
- 4 80年館
- 5 外濠校舎
- 6 ポアソナード・タワー
- 7 守衛所(市ヶ谷門横)【工事中】
- 8 富士見坂校舎
- 9 市ヶ谷総合体育館
- 10 市ヶ谷田町校舎
- 11 連帯社会研究交流センター(八重洲市市谷ビル5階)、  
連帯社会インスティテュート(同5・7階)
- 12 新見附校舎
- 13 大学院棟
- 14 法科大学院棟
- 15 新一口坂校舎
- 16 法科大学院法律事務所リエゾン(一口坂TSビル2階)、  
法務専修生自習室(同3階)、特別講義室(同4階)
- 17 一口坂校舎
- 18 九段校舎・九段校舎別館
- 19 デザイン工学研究科(市ヶ谷大郷ビル6・7・8階)

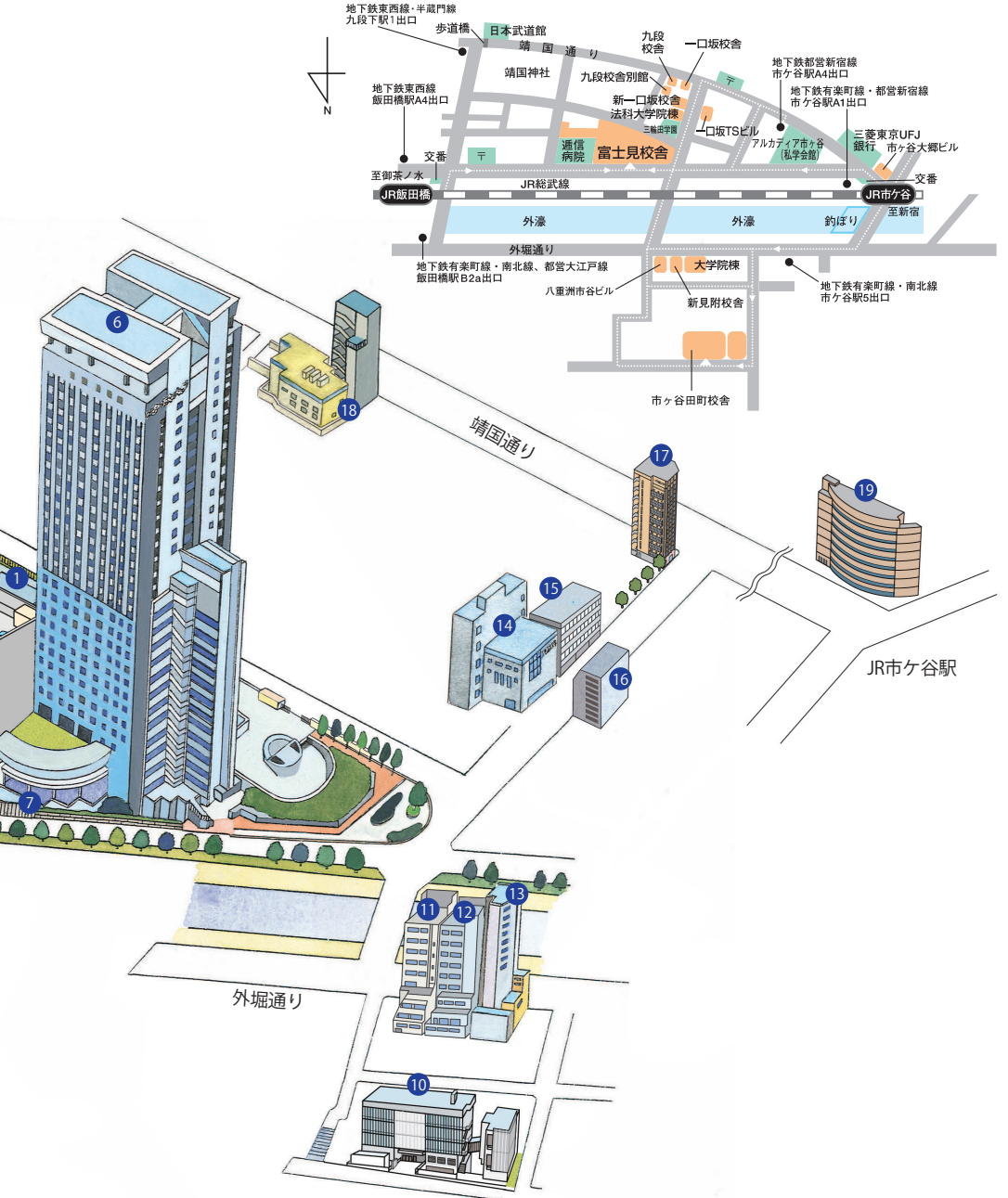


## ● 主なターミナルからの交通アクセス

18 東京駅	JR中央線快速—約4分	御茶ノ水駅	JR総武線—約4分	飯田橋駅	徒歩—約10分
20 新宿駅	JR総武線—約10分	市ヶ谷駅	徒歩—約10分		
20 池袋駅	地下鉄有楽町線—約10分	飯田橋駅	徒歩—約10分		
19 渋谷駅	地下鉄半蔵門線—約6分	永田町駅	地下鉄有楽町線—約3分	市ヶ谷駅	徒歩—約10分
20 上野駅	JR山手線—約4分	秋葉原駅	JR総武線—約6分	飯田橋駅	徒歩—約10分

※ 内の数字は、総所要時間(乗り換え時間を除く)を表す。

市ヶ谷キャンパス



## ■ ボアソナード・タワー

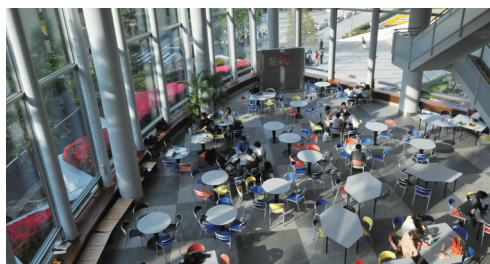
地上27階、地下4階建て、高さ122.43mの市ヶ谷キャンパスのランドマーク。ゼミ室や、学部資料室、研究室、実習・実験室、附属研究施設のほか、多目的ホールであるスカイホール、学生ホール、マルチメディアスタジオ、情報カフェテリア、入学センターなどが設置されています。



地下  
1階

### フォレストガーデン (学生食堂)

ガラス越しに外濠公園の緑を眺めながら、明るい雰囲気でお食事ができます。座席数は350。



1階

### ヘリオス(学生ホール)

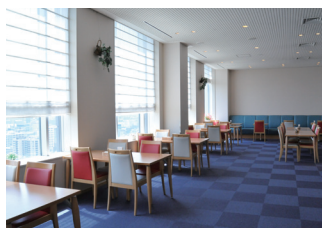
高い天井とガラス張りの開放的な空間が特色の学生ホール。学生の情報ギャラリーとして利用されています。



3階

### ピア・ラーニング・スペース

グループワーク・エリア、ワークショップ・エリア、AVライブラリー・エリアの、目的に応じた3つのエリアで構成されています。



25階

### スタッフクラブ

卒業生が母校で気軽に食事を楽しめる施設です。夜のお食事・パーティーなどについては事前予約が必要です。

お問い合わせ先

TEL 03-3264-5078



26階

### ラウンジ

卒業生の同窓会など、団体の利用に適した貸切会場です。利用にあたっては使用料が必要です。

要予約・お問い合わせ先

TEL 03-3264-9396



### スカイホール(多目的ホール)

同時通訳システムやAVシステムなどの設備をもち、国際会議や各種のイベントに利用できる多機能スペース。



## ■ 外濠校舎

870人収容の薩埵ホールをはじめ、大中小の教室、メディアラウンジ、スタディールーム(自習室)、学生用の会議室、映像編集室・メディア制作室などの多目的な機能を備えた複合施設です。環境配慮型建物として省エネルギー ESCO事業も積極的に導入しています。



### 薩埵ホール(6〜7階)

870人収容の大ホール。講演やコンサート、また可動式の椅子席を収納し、オープンスペースとしても活用しています。



屋上庭園▶

## ■ 富士見坂校舎

教室やサークル向けスペース、学生ラウンジなどを備えた校舎。ダンスや演劇の練習に最適な、壁面に鏡を張ったホワイエなどを備えています。

また、2011年に開設した学習ステーションでは先輩スタッフによる新入生へのサポートなど、さまざまな学習に関する企画を実施し、学びの機会を提供しています。



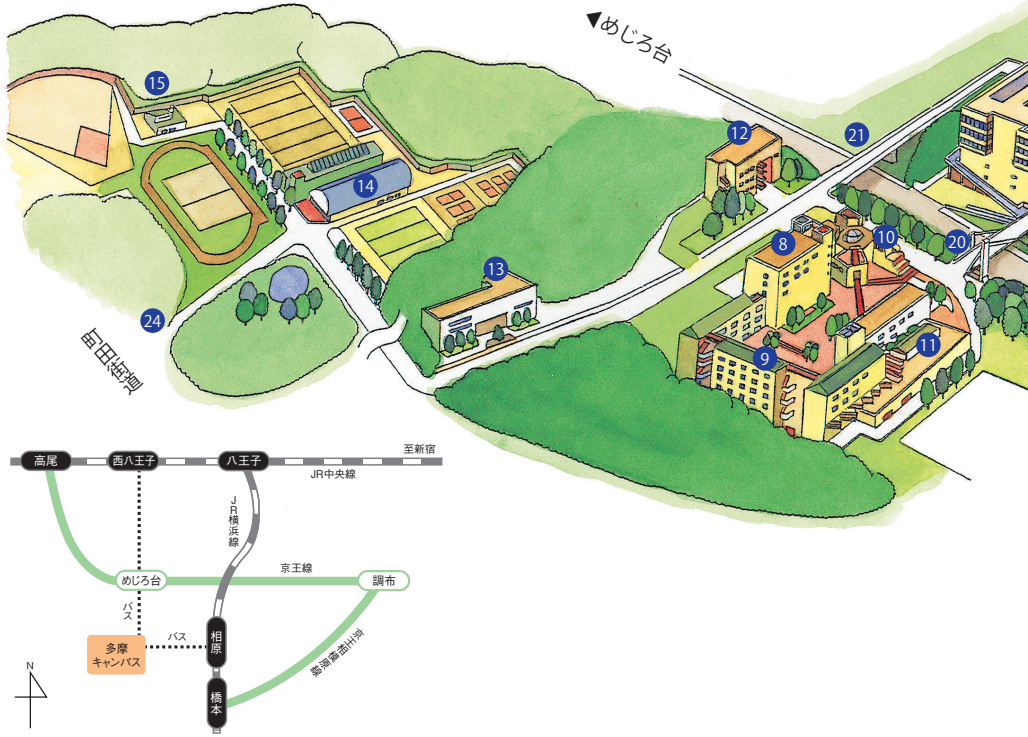
▲学習ステーション



# 多摩キャンパスMap

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042-783-2091

- 大学院経済学研究科、社会学研究科、人間社会研究科、スポーツ健康学研究科
- 経済学部 ● 社会学部 ● 現代福祉学部 ● スポーツ健康学部

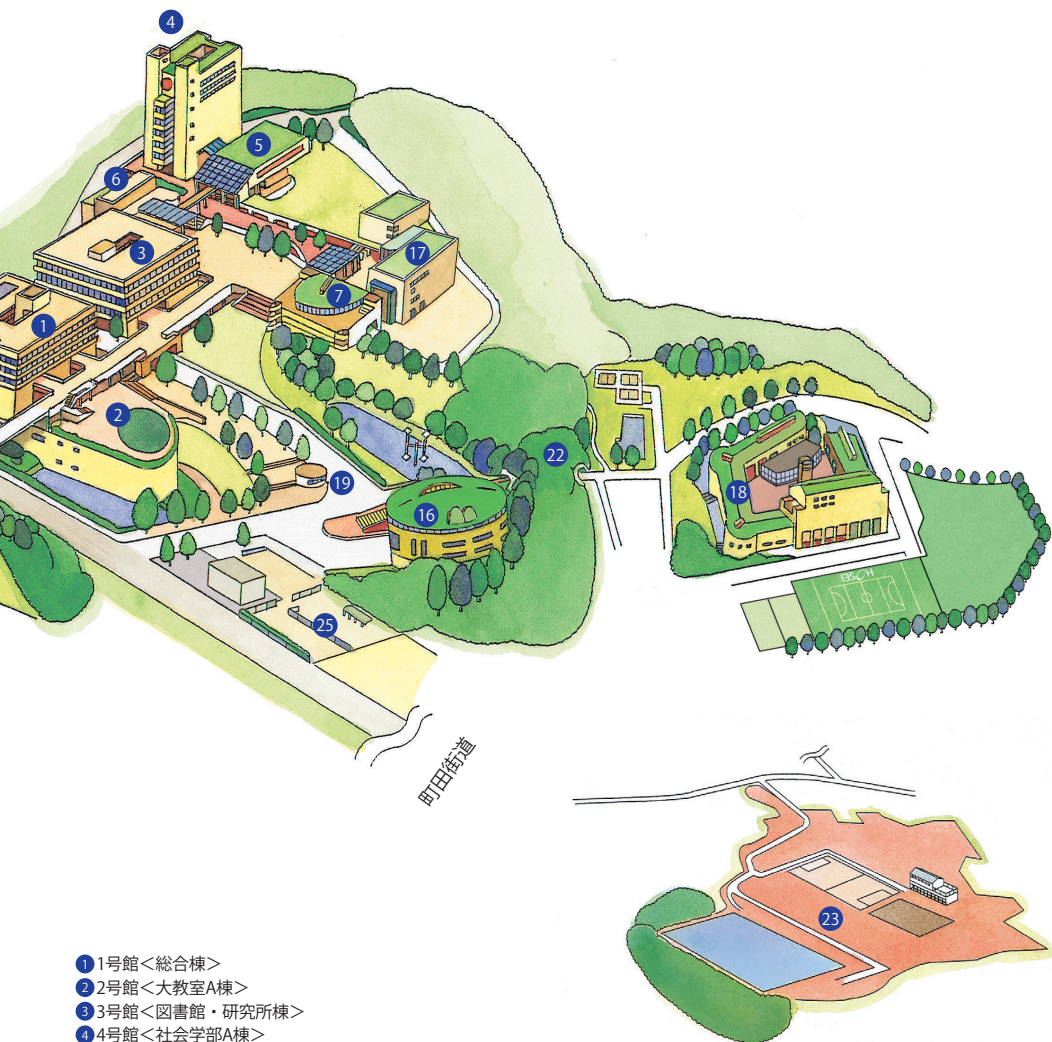


## ● 主なターミナルからの交通アクセス

82 大宮駅	JR埼京線快速—約32分	新宿駅	京王線準特急—約40分	めじろ台駅	バス—約10分
114 千葉駅	JR総武線快速—約39分	東京駅	JR中央線中央特別快速—約53分	西八王子駅	バス—約22分
25 八王子駅	JR中央線—約3分			西八王子駅	バス—約22分
28 町田駅	JR横浜線—約15分			相原駅	バス—約13分
62 横浜駅	JR横浜線—約13分	*新横浜駅	JR横浜線—約36分	相原駅	バス—約13分

多摩キャンパス

※ 内の数字は、総所要時間(乗り換え時間を除く)を表す。 ★新横浜駅は経由で、乗り換えではありません。



- ① 1号館<総合棟>
- ② 2号館<大教室A棟>
- ③ 3号館<図書館・研究所棟>
- ④ 4号館<社会学部A棟>
- ⑤ 5号館<社会学部B棟>
- ⑥ 6号館<食堂A棟>
- ⑦ 7号館<大教室B棟>
- ⑧ 8号館<経済学部A棟>
- ⑨ 9号館<経済学部B棟>
- ⑩ 10号館<経済学部C棟>
- ⑪ 11号館<食堂B棟>
- ⑫ 12号館<研究・実験棟>
- ⑬ 13号館<百周年記念館>
- ⑭ 14号館<総合体育館>
- ⑮ 15号館<体育棟>

- ⑯ 16号館<多目的共用施設(EGG DOME)、バスターミナル(1階)>
- ⑰ 17号館<現代福祉学部棟>
- ⑱ 18号館<スポーツ健康学部棟>
- ⑲ 総合案内所
- ⑳ 法政Vブリッジ
- ㉑ 法政大橋
- ㉒ 法政トンネル
- ㉓ 城山地区(サッカー場、馬場、多目的グラウンド)
- ㉔ グラウンド門案内所
- ㉕ 駐輪場(自転車、バイク)

## ■ 総合棟 図書館・研究所棟

正門を入ると、目に飛び込んでくるのが整然と並ぶ2棟の中層の校舎。向かって左が総合棟で、キャリアセンター、総合情報センター、大学院人間社会研究科の教育・研究施設、臨床心理相談室、そして2013年に開所した多摩地域交流センターなどがあります。右の図書館・研究所棟には、多摩図書館および大原社会問題研究所などの研究所が置かれています。



## ■ 経済学部棟

正門から入って法政Vブリッジを渡ると、シンボリックな半透明のドーム屋根が見えてきます。ここが経済学部エリア。中庭を囲むように中低層の校舎群が落ち着いた佇まいを見せています。一般の教室のほか、十分な数のゼミ室を完備しているのが大きな特色。経済学部棟エリアには学生食堂や売店も用意されていて、学びやすく生活しやすい空間となっています。

## ■ 社会学部棟

キャンパスの右奥にそびえる高層の4号館を中心とした社会学部エリア。4号館および隣接の5号館には、さまざまな広さの教室やゼミ室、多目的スタジオ、教員の研究室などが配置されています。また、社会学部エリアには食堂棟が設けられ、学生食堂や売店があります。4号館の上層階からは丹沢大山の山並みが眺望でき、四季折々の彩りを楽しむことができます。



## ■ 現代福祉学部棟

現代福祉学部棟は「福祉」を体感できるようにバリアフリーの設計になっています。建物内にはプレイセラピー室や心理学実験室など臨床心理に関する施設が充実していることも特徴です。また、ボランティア体験や福祉現場での実習をスムーズに行えるよう、実習指導室では個別相談を行うなど、ソフト面でも人にやさしいエリアです。

## ■ スポーツ健康学部棟

学部開設に合わせて2009年に大幅な改修をし、誕生したスポーツ健康学部棟。2011年には学年進行に伴い不足している食堂ラウンジを増築しました。ダイナミックな湾曲のガラス壁をはじめ、内装には法政オレンジ・ブルーの壁面やペンダント照明といった特徴を有し、食堂利用時間以外は学生ラウンジとして利用されています。



## ■ EGG DOME

バスターミナルと直結したEGG DOMEは学生のための多目的共用施設。クラブ・サークル活動など課外活動の拠点として利用できるほか、多目的ホールでは映画会やコンサートなどのイベントが行われます。食堂やラウンジは、友人と食事をしながらくつろぐ学生でにぎわっています。



▲陸上競技場

## ■ 体育施設

広大な敷地の中に、総合体育館をはじめ、軟式野球場、陸上競技場400mトラック、ラグビー場、ホッケー場、テニスコート、多目的コート、サッカー場などがあり、体育の授業や体育会の練習場として活用されています。



多摩総合体育館▶  
地下1階には競泳用の公認プールがあり、2階のアリーナは、バレーボールコートが4面とれる広さです。そのほかトレーニングセンター、卓球場など各種室内競技場があります。

## ■ 法政Vブリッジ

総合棟から経済学部棟へと続く橋。これにより図書館・研究所棟から経済学部棟への移動時間が短くなります。Vブリッジという名前は公募により決定したものです。



## ■ 円形芝生

総合棟前の大教室A棟屋上部分にある円形芝生。昼食や青年会議など、特に天気の良い日は格別な学生の憩いの場になっています。

## ■ キャンパス循環バス

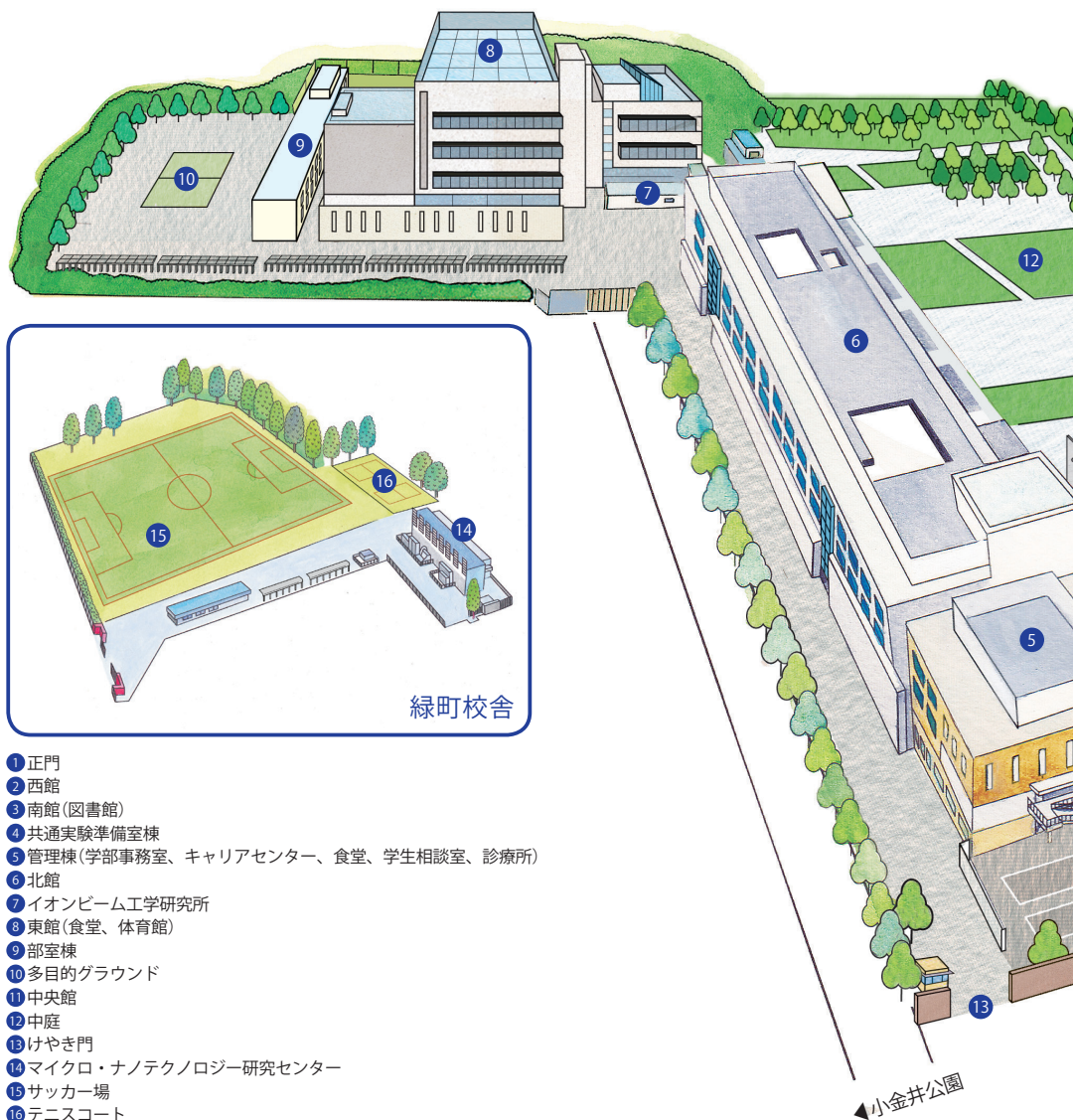
スポーツ健康学部棟から総合体育館までの間を無料バスが随時往復しています。これにより、広い多摩キャンパス内もスムーズに移動することができます。



# 小金井キャンパスMap

〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2 TEL 042-387-6008

- 大学院情報科学研究科、理工学研究科
- 情報科学館
- 理工学館
- 生命科学館



- ① 正門
- ② 西館
- ③ 南館(図書館)
- ④ 共通実験準備室棟
- ⑤ 管理棟(学部事務室、キャリアセンター、食堂、学生相談室、診療所)
- ⑥ 北館
- ⑦ イオンビーム工学研究所
- ⑧ 東館(食堂、体育館)
- ⑨ 部室棟
- ⑩ 多目的グラウンド
- ⑪ 中央館
- ⑫ 中庭
- ⑬ けやき門
- ⑭ マイクロ・ナノテクノロジー研究センター
- ⑮ サッカー場
- ⑯ テニスコート

● 主なターミナルからの交通アクセス

89 千葉駅	JR総武線快速—約39分	東京駅	JR中央線快速—約35分	東小金井駅	徒歩—約15分、バス—約5分		
39 渋谷駅	京王井の頭線急行—約17分	吉祥寺駅	JR中央線快速—約7分	東小金井駅	徒歩—約15分、バス—約5分		
44 池袋駅	JR山手線—約8分	新宿駅	JR中央線快速—約21分	東小金井駅	徒歩—約15分、バス—約5分		
69 横浜駅	JR湘南新宿ライン(普通)—約33分						
60 大宮駅	JR埼京線—約11分	武蔵浦和駅	JR武蔵野線—約27分	西国分寺駅	JR中央線快速—約7分	東小金井駅	徒歩—約15分、バス—約5分
38 八王子駅	JR中央線快速—約23分				東小金井駅	徒歩—約15分、バス—約5分	

※ ■内の数字は、総所要時間(乗り換え時間を除く)を表す。



梶野町校舎

東小金井駅



## ■ 西館

1階がキャンパスへのメインアプローチとなっている西館。高度にマルチメディア化された設備が特色です。一般教室や研究室、実験室のほか、マルチメディアホール、PC教室、学生ラウンジなどが設けられています。マルチメディアホールは、会議や講演会などに使用する施設で、全座席に情報コンセントが設置され、大型3面ディスプレイを備えた130人収容のホールです。遠隔会議も可能です。



▲マルチメディアホール



## ■ 東館

教室、ゼミ室、スタディールーム(自習室)、研究・実験室、講堂兼用体育館、食堂、マルチユースホール、応用植物科学科が使用する温室など、用途の異なる施設を収容した多機能複合施設。延べ床面積は約2万 $m^2$ 。住宅地に隣接するキャンパス特性も考慮した外観デザインとなっています。



▲温室



▲図書館

## ■ 南館

実験・実習・図書館棟としての役割を持つ南館。ここでは、研究室や各種教室のほか、蔵書数およそ16万冊の小金井図書館が置かれています。





## ■北館・管理棟

渡り廊下で結ばれている北館と管理棟。北館には主に、理工学部のための実験室や研究室をはじめ、AV機器が常設されたゼミ室、スタディールーム(自習室)などが配置。環境配慮型施設でもあり、外壁には太陽光発電パネルが設置されています。また管理棟には、食堂、診療所、事務室など、学生生活をサポートする施設が整えられています。



▲キャリアセンター



## ■中央館

主に理工学部創生科学科が利用している中央館。2011年4月の同学科設置にともない建設が進められ、2013年3月に竣工しました。実験室や研究室などが完備されています。



▲創生科学科事務室窓口



▲演習室

## ■緑町校舎

西館や管理棟などがある梶野町校舎から徒歩約10分に位置する緑町校舎。サッカー場とテニスコートに加え、生命機能模擬技術の開発などを行っているマイクロ・ナノテクノロジー研究センターも位置しています。



# オレンジネットワーク事業／定期刊行物案内

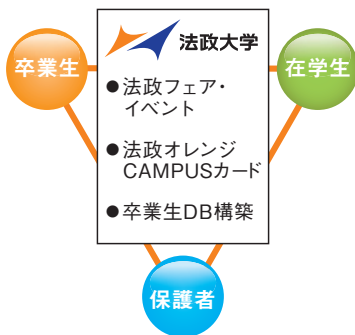
## オレンジネットワークについて

オレンジネットワークとは、卒業生・在学生・保護者・教職員という、大学関係者を結ぶネットワークのことです。このネットワーク強化のため、現在以下の事業を行っています。

- (1)「法政フェア」の実施
- (2)「法政オレンジCAMPUSカード」の加入促進
- (3)「卒業生データベース」の構築

その他にも保護者の皆さまを対象とした説明会なども開催し、さらなるネットワーク強化に注力いたします。

## HOSEI Orange Network



## ■法政フェア

法政フェアは、本学が卒業生とご家族など、幅広く法政大学のコミュニティーに属する方々を対象として開催しているイベントです。

前は2015年9月20日(日)に市ヶ谷キャンパスで開催し、お子さまを連れてご家族を中心に2,049人の皆さまにご来場いただきました。

今年の法政フェアは、2016年9月18日(日)に市ヶ谷キャンパスにて開催する予定です。法政コミュニティーの一員であることの「誇り」や「歓び」を感じいただける催しにしたいと考えておりますので、ぜひお越しください。



## ■法政オレンジCAMPUSカード

法政オレンジCAMPUSカードとは、本学が三井住友カード株式会社ならびに法政大学生協同組合と提携して発行する本学のオフィシャル・クレジットカードです。卒業生・保護者・教職員に向けた「ゴールドカード」および「クラシックカード」、学生に向けた「学生カード」を発行しています。

卒業生・保護者・教職員の方がカードをご利用いただくことでカード会社から本学に支払われる還元金は奨学金などに活用し、学生の就学支援やキャンパスライフの向上に役立っています(カードのポイントは個人に貯まります)。ご入会方法など詳細はウェブサイトをご確認ください。

### ●ご連絡先

法政大学 卒業生・後援会連携室

TEL 03-3264-4924

E-mail koyu@hosei.ac.jp

URL <http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/torikumi/orangenet/card/>



学生カード



クラシックカード

## ■ 卒業生データベース構築

卒業生データの整備は、学校法人法政大学と卒業生(各付属校卒業生から大学院修了生まで)との連絡を密にする目的で行われており、主に広報誌『法政』(下記参照)の発送用データとして使用しています。

広報誌『法政』がお手元に届かない場合や、転居や改姓、転職をされた際には、以下いずれかの要領で変更内容をご連絡ください。

### ● インターネット

本学ウェブサイトの「卒業生の方へ」の中の、「住所等連絡先登録・変更」―「卒業生住所等変更届(オンライン)」からお手続きください。

### ● 郵送またはEメールで変更される場合

下記(1)～(8)を明記の上、右記登録先までお送りください。

- (1) 漢字氏名・フリガナ(改姓・名の場合は旧姓・名も)
- (2) 性別 (3) 生年月日 (4) 現住所 (5) 電話番号
- (6) 卒業(修了)学部／研究科、学科／専攻 (7) 卒業(修了)年月 (8) 勤務先

ご連絡いただいた住所や電話番号などの個人情報は、「個人情報保護法」に則り、本学の「個人情報保護規程」に基づき、細心の注意を払い取り扱っています。

なお、同規程により、「法政大学卒業生名簿」の刊行は行っておりません。

### ● 登録先

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

法政大学卒業生・後援会連携室

**E-mail** koyu@hosei.ac.jp

注1) 大学へ登録されたデータは各種卒業生組織が管理するデータとはリンクしていません。卒業生組織(各学部同窓会など)へ加入している方は、大学とは別に、それぞれの事務局へも各種変更のご連絡をお願いします。

注2) 卒業生データの登録は、必ずご本人の責任のもとでお願いします。

### ● お問い合わせ先

法政大学卒業生・後援会連携室

**TEL** 03-3264-9230

## PUBLISHING

## 定期刊行物案内(大学広報誌)

### ■ 広報誌『法政』

広報誌『法政』は、在学生とその父母・保護者の方々を対象に、年8回発行している広報誌です。各キャンパスで学生に配付するとともに、学生の保証人または学費振込み用紙を送付している住所宛に郵送でお届けしています。

卒業生、または一般の方で年間購読(有料)を希望される方は、お名前・ご住所と「広報誌法政の購読希望」を明記し、E-mailまたはFAXにて下記までお申し込み下さい。発行時期、年間購読料などのご案内をお送りいたします。

### ● お申し込み・お問い合わせ

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

法政大学総長室広報課 広報誌『法政』編集部

**FAX** 03-3264-9639 **E-mail** pr@adm.hosei.ac.jp



### ■ 法政大学報

2014年度まで卒業生・後援会連携室から、学校法人法政大学が設置する学校(各付属校、大学、大学院、通信教育部)の卒業生を対象にお届けしていた『法政大学報』(年2回発行)は、2015年度より、広報誌『法政』8・9月合併号および1・2月合併号に統合され、それぞれ7月末、12月末頃に卒業生に無料でお届けいたします。

### ■ 公式SNS



学校法人法政大学総長室広報課は、公式SNSとして2011年にTwitterを、2012年にFacebookを開設しました。キャンパスの季節の風景や各種イベントなど、法政大学の「今」がわかるさまざまな情報をお届けしています。

○ **Twitter** [http://twitter.com/hosei\\_pr](http://twitter.com/hosei_pr)

○ **Facebookページ**

<http://www.facebook.com/HoseiUniversity>

# 国際教育交流

## ■ 法政大学派遣留学制度

2・3年生の応募者の中から選考の上、3・4年生次に奨学金を支給し、海外協定校に留学生として派遣する制度です。派遣先で取得した単位は、帰国後、教授会審査を経て本学の単位として認められます。奨学金は70万円または100万円(派遣先で異なる)が支給されま

す(この奨学金の一部20万円は法政大学後援会から助成されています)。派遣先大学の授業料は学生交換協定などにより免除されます。

※詳細は「派遣留学生募集要項」、またはホームページで確認してください。

派遣国	派遣先大学	受験言語	募集・選考	派遣期間	派遣人数	13年	14年	15年			
アメリカ	トルーマン州立大学	英語	10月～11月	8月・9月～翌年5月6月	各2名程度	2	3	2			
	ベイラー大学					2	2	2			
	カリフォルニア大学デイヴィス校					5	4	3			
	ボイシー州立大学					4	4	2			
	サンディエゴ州立大学					2	2	2			
	ウェストチェスター大学					—	2	3			
	ガステイバス・アドルフアス大学					—	3	2			
	ウィスコンシン大学ミルウォーキー校					—	—	2			
	ミネソタ州立大学マンケート校					—	—	—			
	ウェストフィールド州立大学					—	—	—			
イギリス	シェフィールド大学	英語	6月	2月～12月	各2名程度	0	2	2			
	リーズ大学					3	3	2			
	ニューカッスル大学					0	3	0			
オーストラリア	ブラッドフォード大学	ドイツ語	6月	2月～12月	各2名程度	2	2	2			
	シドニー大学					3	3	5			
ドイツ	ボンンド大学	ドイツ語	6月	2月～12月	各2名程度	1	1	2			
オーストリア	ウィーン大学					—	—	—			
スイス	サンクトガレン大学	ドイツ語/英語	6月	2月～12月	各2名程度	2	2	1			
チェコ	チェコ工科大学	英語	10月～11月	8月・9月～翌年5月6月	各2名程度	0	0	0			
フランス	リヨン第三大学	フランス語				2	2	2			
	西部カトリック大学	フランス語				1	0	3			
	ヴェルサイユ大学	フランス語/英語				1	1	0			
イタリア	パリ・デイドロ(第七)大学	フランス語				2	0	3			
	ストラスブール大学	フランス語				2	3	1			
	カルロ・カッターネオ大学	イタリア語/英語				0	0	0			
スペイン	ヴェネツィア大学	イタリア語/英語				6月	2月～12月	各2名程度	1	1	2
	ビック大学								—	—	—
ロシア	バルセロナ大学	スペイン語				10月～11月	8月・9月～翌年5月6月	各2名程度	—	—	—
	モスクワ国立大学	ロシア語	1	1	2						
	サンクトペテルブルク国立大学	ロシア語	1	2	2						
ウズベキスタン	国立研究大学高等経済学院	ロシア語/英語	6月	2月～12月	各2名程度	—	—	—			
	タシケント国立東洋学大学	ロシア語				0	0	0			
韓国	延世大学校	朝鮮語/英語	6月	2月～12月	各2名程度	2	2	2			
	ソウル大学					2	—	—			
	徳成女子大学					1	3	3			
	梨花女子大学校					2	2	2			
中国	ソウル市立大学	朝鮮語/英語	10月～11月	8月・9月～翌年5月6月	各2名程度	—	—	—			
	上海外国語大学	中国語				3	0	0			
	中央民族大学	中国語				2	0	1			
台湾	首都師範大学	中国語/英語	10月～11月	8月・9月～翌年5月6月	各2名程度	—	1	3			
	國立中山大學					中国語	2	3	2		
	淡江大学					中国語	—	—	3		
	國立政治大学					中国語	—	—	—		
	元智大学					中国語	—	—	—		
タイ	國立台湾師範大学	中国語	6月	2月～12月	各2名程度	—	—	—			
マレーシア	タマサート大学	英語				—	1	1			
メキシコ	マラヤ大学	スペイン語				—	—	—			
	グアダハラ大学	スペイン語				—	—	—			

※選考試験出願には語学スコアの提出が必要です。(英語: TOEFL®IBT 71～必要スコアは派遣先大学による)

※ソウル大学は2014年度以降、派遣先としていません。

## ■ 認定海外留学制度

希望する留学先大学(学位授与権を有する正規の4年制高等教育機関)から入学許可を得て本学に申請し、所属学部の審査を経て留学する制度です。

留学先で取得した単位は帰国後、教授会の審査を経て本学の単位に認められます。

認定海外留学を対象とした奨学金制度としては「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」(応募選考制)、「法政大学後援会認定海外留学奨学金」、「グローバルキャリア

支援基金による海外留学支援奨励金」があります。

2年次からの申請および語学プログラムを受講の上、正規課程を履修する条件付き入学での申請も可能です。

また、米国のボイシー州立大学・ミネソタ州立大学マンケート校への本制度を利用した新たなプログラムを実施しています。

※申請資格および条件などの詳細はグローバル教育センター発行の募集要項、またはホームページで確認してください。

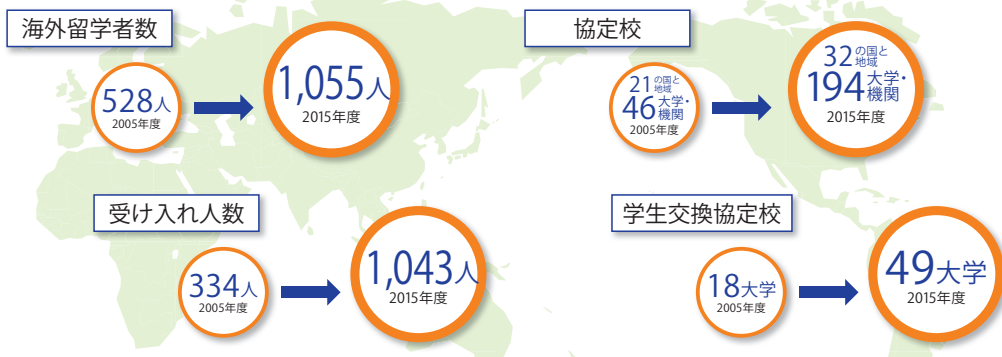
## ■ 学部独自の留学制度・海外研修制度

学部・制度名	形態	2015年度参加人数	留学先	期間	目的
法学部 Hosei Oxford Programme	国際政治学科全員 法律・政治学科(若干名)	156	イギリス・オックスフォード大学	夏休み約2週間程度	オックスフォード大学ユニバーシティレッジでの授業や寮生活を通じて、英語力を学び、国際的な視野を広げる
文学部哲学科 国際哲学特講	哲学科2~4年次までの履修希望者(定員20名を超える希望者がいた場合には選抜)	8	フランス	1週間	哲学の諸問題を海外の風土・文化の中で、海外の学生との合同ゼミを通して学ぶ
文学部英文学科 SAプログラム	英文学科1~4年次までの希望者(学内選考あり)	12	アイルランド	夏休み3週間	英語と英語文化・英米文学を海外で学ぶ
		9		秋学期約4ヵ月間	
	英文学科2~4年次までの希望者(学内選考あり)	1	アメリカ	秋学期約7ヵ月間	
		3		秋学期約4ヵ月間	
経営学部 SAプログラム	定員約30名 (学部内選考あり)	28	アメリカ、オーストラリア	2~4年次秋学期に約3~4ヵ月間	ビジネスに必要な英語コミュニケーション能力を高め、異文化理解を深める
国際文化学部 SAプログラム	学部生全員 (ただしSS1参加者は選択制、外国人留学生はスタディ・ジャパンプログラムへ参加)	267	イギリス、アメリカ、オーストラリア、カナダ、スイス、フランス、ロシア、中国、スペイン、韓国	長期：2年次秋学期約3~5ヵ月	外国語運用能力を磨き、異文化への共感力とコミュニケーション力を高める
		5	アメリカ	短期：2年次夏休み約5週間	外国語運用能力、異文化への共感力、コミュニケーション力を向上させると共に情報処理の実践を行う
人間環境学部 海外フィールドスタディ	希望者(学部内選考あり)	76	オーストラリア、東南アジア、中国、ヨーロッパ など※年度により変わります。	夏休みまたは春休みに10日~14日程度	現地で環境問題の見聞を高める
キャリアデザイン学部 SAプログラム	定員10名 (各国5名上限・学部内選考あり)	10	オーストラリア、ニュージーランド	秋学期約3ヵ月間	英語コミュニケーション能力を高めるとともに、異文化の理解と交流を深めることを通じて、自らのキャリア形成の基盤を築く
GIS Overseas Academic Study Program	希望者全員 (派遣先の条件を満たすこと)	8	アメリカ、カナダ、イギリス	4~5ヵ月間	学部課程の正規授業を受講
			ニュージーランド	4~5ヵ月間もしくは10ヵ月間	
経済学部 SAプログラム	定員約60~100名 (学部内選考あり)	45	アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ※年度により変わります。	2年次春学期約4ヵ月間	留学先の文化、社会、経済、ビジネスなどを英語で学ぶ
社会学部 SAプログラム	希望者(学部内選考あり)	19	アメリカ、カナダ、中国	半期：2年次または3年次秋学期の3~5ヵ月間 長期：3年次の約8ヵ月間(カナダのみ)	語学能力を磨き、異文化社会に対する理解を深める
社会学部 単位認定海外短期留学制度	ドイツ語初級A・B、フランス語初級A・Bを履修した者	6	ドイツ、フランス	1~3年次の春休み期間 2~4年次の夏休み期間	社会学部が認定した外国語研修機関に留学し、語学能力を磨く
現代福祉学部 海外研修制度	定員30名(学部内選考あり)	30	スウェーデン など	2年次の夏休み10日間程度	海外において社会福祉や地域づくり、心理の現場を学ぶ
スポーツ健康学部 海外課外研修	定員22名(学部内選考あり)	22	アメリカ	2・3年次の夏休み2週間	英語能力を磨き、スポーツ健康学の知識を深める
理工学部 SAプログラム	定員約30名(EST[サイエンス]コース・CCP[コミュニケーション]コース合計)	11	アメリカ	夏休み4週間	英語による科学技術コミュニケーション能力を高めるなど
			アイルランド	春休み4週間	
生命科学部 SAプログラム	定員約30名(EST[サイエンス]コース・CCP[コミュニケーション]コース合計)	10	アメリカ	夏休み4週間	英語による科学技術コミュニケーション能力を高めるなど
			アイルランド	春休み4週間	

# 海外交流大学

## ■国際化する法政大学

### ●10年間の推移



○国際教育交流や海外協定校についての詳細はウェブサイトをご覧ください。 URL <http://www.global.hosei.ac.jp/>

## ■海外留学先での事故等の対応について

法政大学では、大学のプログラムで留学する全ての学生に、「法政大学海外危機管理対策規程」に基づいて以下の対策をとっています。

### 海外旅行傷害保険に加入

- 本学が包括契約している海外旅行傷害保険に加入していただき、留学中の病気・ケガ、事件に巻き込まれた際の迅速な対応に備えます。
- 渡航前に、上記保険会社の担当者による危機管理ガイドンスを実施します。

### 24時間対応の緊急連絡先

派遣留学・SAプログラムでは、本学と協定を締結している大学またはその附属機関の担当者と本学の各学部、グローバル教育センターが連携を取り、24時間対応の緊急連絡先を用意して安全確保に努めています。また、必要な場合は教職員が現地に行き対応します。大学と学生が密にコミュニケーションをとる体制

- 学生の状況把握のために、留学用ポータルサイトを利用して定期的な生活状況の報告を義務づけています。
- 大学から留学地域の危機管理情報などを随時配信しています。

## ■国際交流関係情報の収集先

キャンパス	形態	場所	電話
市ヶ谷	グローバル教育センター国際交流課	58年館2階	03-3264-9662
	Gラウンジ	55年館1階	03-3264-4502
	国際交流課掲示板	外濠校舎2階	
	SA課掲示板	外濠校舎1階	
多摩	奨学金	外濠校舎1階	学生センター厚生課 03-3264-9486
	多摩グローバル担当		042-783-2130
	奨学金	総合棟地下1階	多摩学生生活課 042-783-2152
小金井	多摩のSAについては		各学部事務課 参照 裏表紙*印
	小金井国際交流支援室	管理棟2階	042-387-7018
	奨学金		小金井学生生活課 042-387-6042
	小金井のSAについては		各学部事務課 参照 裏表紙*印

## 一般社団法人法政大学校友会（卒業生組織）

一般社団法人法政大学校友会は、2014年4月に新たに立ち上がった組織であり、学校法人法政大学が設置する学校の卒業生の会員をもって組織されています。

校友会は、全国各地の地域支部、学部、付属校同窓会、職域やサークル関係の卒業生団体などと、個人加入の会員によって構成されており、これに加えて2014年3月以降の卒業生は、卒業年度ごとに原則一斉加入する「年度同期会」を通じて校友会に参加することになります。もちろん、2013年度以前から、法政大学の卒業生組織は存在していましたが、同一年次の卒業生が全員加入するという仕組みではありませんでした。

校友会の具体的な取り組みとしては、CCS事業（キャリア支援・カルチャー活動・スポーツ交流）を中

心に、広報事業、イベント事業、校友会建設事業などを行っており、卒業生同士の交流だけでなく、在学生への支援にも力を入れています。

卒業生と大学はいつの時代も運命共同体です。卒業生の活躍は大学を活気づけ、大学の躍進は卒業生を勇気づける関係にあります。

法政大学校友会は世代、性別、出身地などの違いを超えて、法政の名のもとに集い、「卒業後も法政の一員であり続けること」が実感できる場所です。

全ての卒業生にとって魅力的な法政ネットワークを構築したいと思いますので、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

※校友会の終身会費(3万円)は、4年次春学期の学費と共に徴収いたします。

### 【校友会の具体的な取り組み】

CCS事業：キャリア支援・カルチャー活動・スポーツ交流

広報事業：校友会報発行・卒業アルバム制作

イベント事業：法政大学全国卒業生の集い・オール法政新年を祝う会

校友会建設事業：卒業生と在学生が交流を行う活動拠点の建設

### CCS事業

企画公開講演会



音楽団体派遣



スポーツイベント後援



### 3大イベント

オール法政新年を祝う会



法政大学全国卒業生の集い



オール法政ゴルフ大会



一般社団法人法政大学校友会（会長：桑野秀光）

TEL：03-3264-1831 FAX：03-3264-4770 URL：http://www.hoseinet.jp

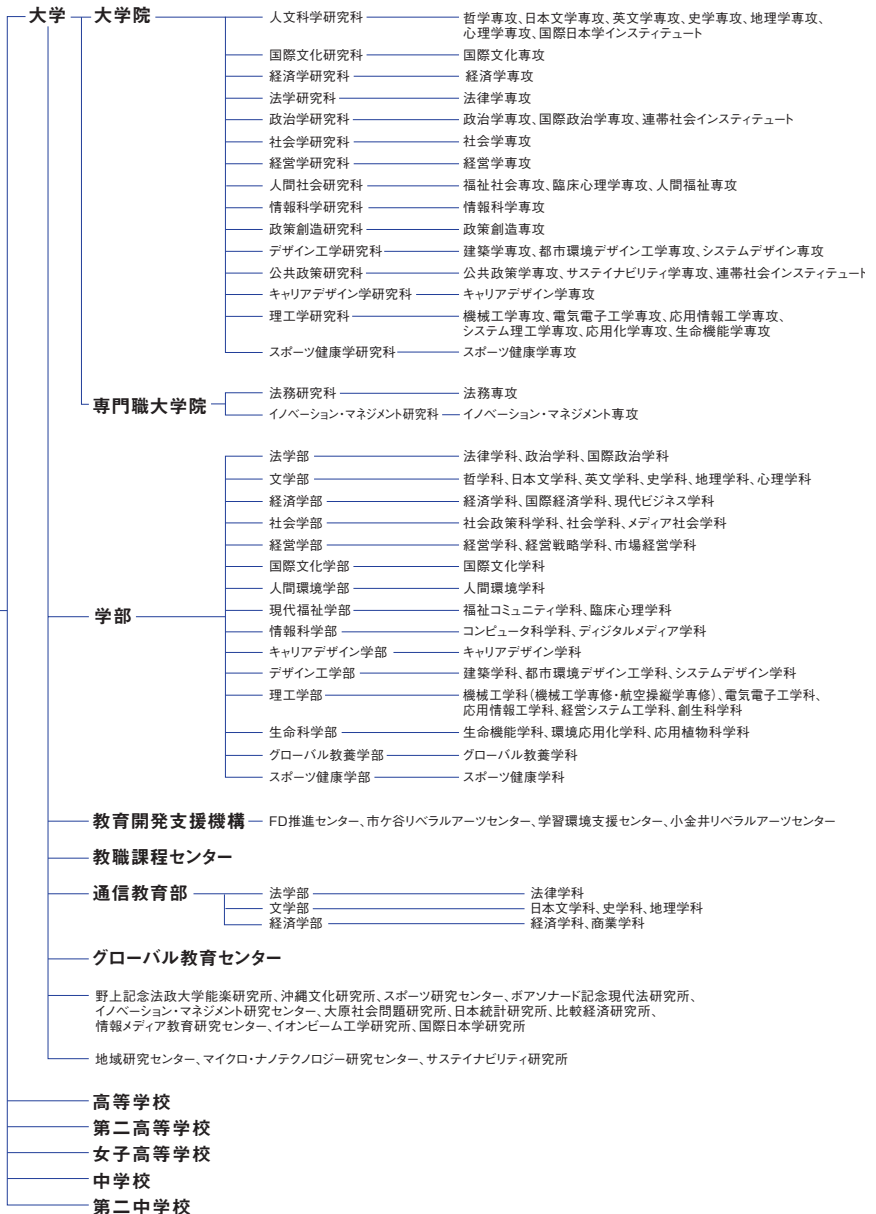
# 学校法人法政大学データ一覧

## 学校組織図

評議員会

理事会  
 総長(理事長)  
 常務理事会

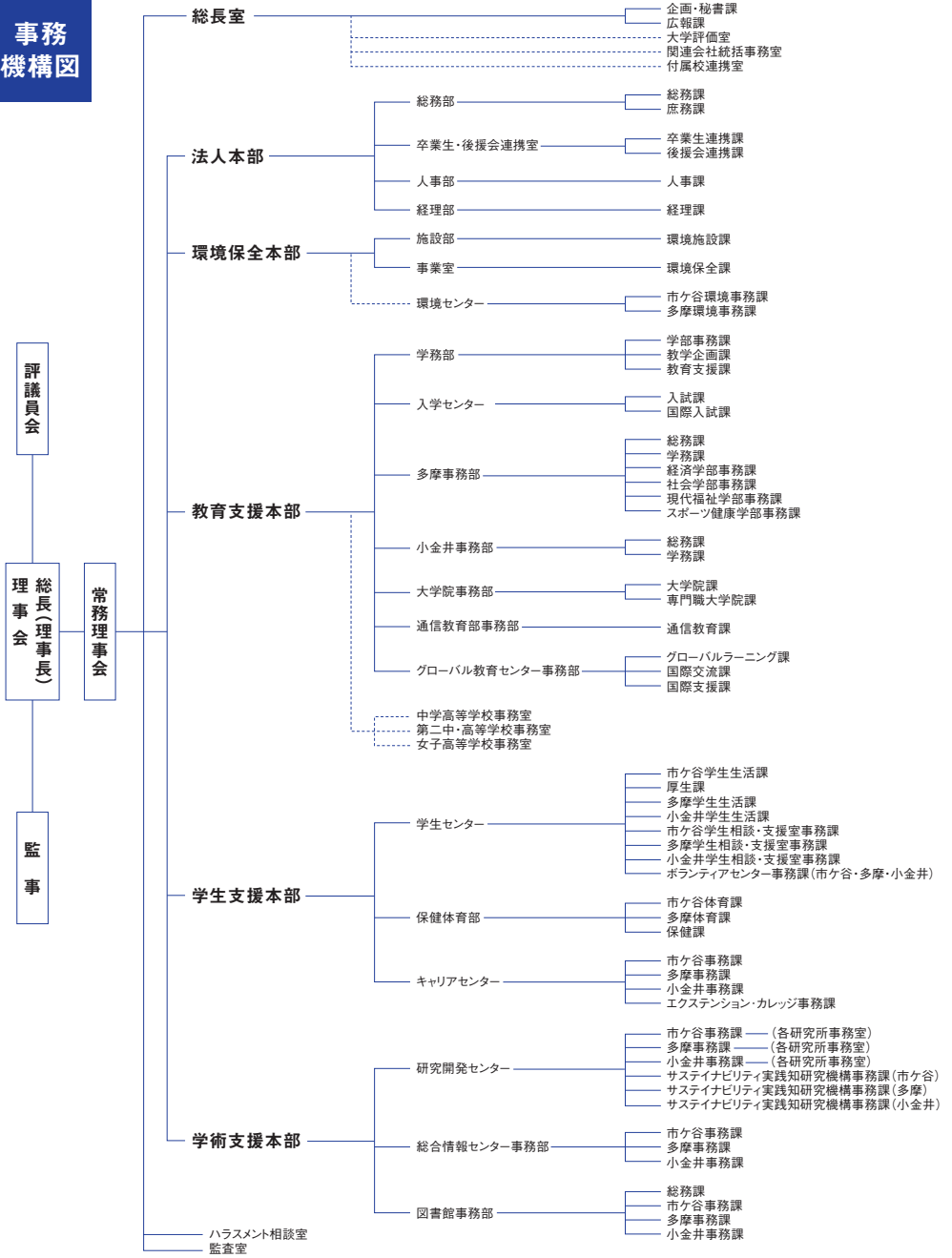
監事



※上記は2016年4月現在、学生を募集している大学・大学院・付属校の開通閉通局を表示。



事務  
機構図



※点線は外局を示す(2016年4月現在)。

## 学生数

(2016年5月1日現在)

統計

男	女	計
25,065	15,201	40,266

大学院			専門職大学院		
男	女	計	男	女	計
1,114	524	1,638	115	35	150

大学			通信教育部			高等学校			中学校		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
18,067	10,509	28,576	3,259	2,441	5,700	1,809	1,402	3,211	701	290	991

## ■市ヶ谷キャンパス

学部

	法学部	文学部	経営学部	国際文化学部	人間環境学部	キャリアデザイン学部	デザイン工学部	グローバル教養学部
男	2,397	1,478	2,206	405	803	598	957	149
女	1,284	1,472	1,193	743	684	802	322	208
計	3,681	2,950	3,399	1,148	1,487	1,400	1,279	357

大学院(修士・博士前期課程)

	人文科学研究科	国際文化研究科	経済学研究科	法学研究科	政治学研究科	社会学研究科	経営学研究科	キャリアデザイン学研究科	公共政策研究科	デザイン工学研究科	政策創造研究科
男	99	5	24	4	16	11	51	19	53	138	80
女	81	16	21	8	10	11	24	19	19	40	69
計	180	21	45	12	26	22	75	38	72	178	149

大学院(博士後期課程)

	人文科学研究科	国際文化研究科	経済学研究科	法学研究科	政治学研究科	社会学研究科	経営学研究科	政策創造研究科	デザイン工学研究科	公共政策研究科
男	51	4	16	2	9	15	13	32	19	55
女	49	4	6	3	2	4	1	19	1	23
計	100	8	22	5	11	19	14	51	20	78

大学院(専門職学位課程)

	イノベーション・マネジメント研究科	法務研究科
男	64	51
女	20	15
計	84	66

通信教育部

	法学部	文学部	経済学部
男	854	1,017	1,388
女	531	1,029	881
計	1,385	2,046	2,269

## ■多摩キャンパス

学部

	経済学部	社会学部	現代福祉学部	スポーツ健康学部
男	2,977	1,961	469	507
女	945	1,355	577	191
計	3,922	3,316	1,046	698

大学院

	修士・博士前期課程		博士後期課程
	人間社会研究科	スポーツ健康学研究科	人間社会研究科
男	15	5	6
女	40	2	10
計	55	7	16

## ■ 小金井キャンパス

### 学部

	情報科学部	理工学部	生命科学部
男	516	2,065	579
女	116	261	356
計	632	2,326	935

### 大学院

	修士・博士前期課程		博士後期課程		
	情報科学研究科	理工学研究科	情報科学研究科	理工学研究科	工学研究科
男	46	310	4	6	6
女	9	31	1	0	1
計	55	341	5	6	7

## ■ 中学・高等学校生徒数

	中学校		高等学校		
	法政中	二中	法政高	二高	女子高
男	194	507	316	1,493	0
女	222	68	377	224	801
計	416	575	693	1,717	801

## 留學生数

(2016年5月調べ)

### 統計

男	女	計
354	395	749

### 学部

	法	文	経済	社会	経営	国際文化	人間環境	現代福祉	情報科	キャリアデザイン	デザイン工学	理工	生命科	グローバル教養	スポーツ健康
男	18	31	27	44	28	8	8	2	3	23	24	27	8	8	0
女	14	40	15	45	21	29	16	5	0	25	11	3	5	3	0
計	32	71	42	89	49	37	24	7	3	48	35	30	13	11	0

### 大学院(修士・博士前期課程)

	人文科学	国際文化	経済学	法学	政治学	社会学	経営学	人間社会	情報科学	政策創造	デザイン工学	公共政策	キャリアデザイン学	理工学	スポーツ健康
男	18	2	15	1	3	3	5	0	1	11	10	2	0	3	0
女	36	13	17	3	5	7	11	9	0	19	6	3	0	1	1
計	54	15	32	4	8	10	16	9	1	30	16	5	0	4	1

### 大学院(博士後期課程)

	人文科学	国際文化	経済学	法学	政治学	社会学	経営学	人間社会	情報科学	政策創造	デザイン工学	公共政策	理工学
男	3	0	1	1	1	1	0	1	3	1	3	1	1
女	15	2	0	2	1	1	1	2	1	1	0	2	0
計	18	2	1	3	2	2	1	3	4	2	3	3	1

### 大学院(専門職学位課程)

	イノベーション・マネジメント	法務
男	4	0
女	3	1
計	7	1

## ■ 国別留学生数

	中国	韓国	フランス	アメリカ	中国(台湾)	ドイツ	ベトナム	ロシア	マレーシア	イギリス	ウズベキスタン	イタリア	インドネシア	タイ	オーストラリア	その他
学部	290	142	10	8	18	0	2	4	1	2	1	3	0	0	2	8
大学院	212	14	1	0	5	2	3	2	0	0	3	3	3	2	0	8
計	502	156	11	8	23	2	5	6	1	2	4	6	3	2	2	16

## ■教職員数(2016年5月1日現在)

### ●大学教員 740名(兼任講師除く)

○教授	605
○准教授	97
○講師	22
○助教	14
○助手	2

#### 学部別内訳

法学部63／文学部73／経済学部77／社会学部66／  
経営学部59／国際文化学部46／人間環境学部31／現  
代福祉学部28／情報科学部24／キャリアデザイン学  
部28／デザイン工学部36／理工学部74／生命科学部  
31／グローバル教養学部15／スポーツ健康学部18／  
大学院46／研究所・その他24

### ●専任職員 417名

専任職員(技術現業含む)

### ●付属校教員 220名

#### 学校別内訳

法政大学中学高等学校	62
法政大学第二中・高等学校	119
法政大学女子高等学校	39

## ■学位記(博士)授与者数(1963年～2016年5月1日現在)

### ●課程博士 380名

### ●論文博士 222名

## ■卒業生累計(2016年5月1日現在)

( )は別科で外数

1885～1922年度	第一回～専門学校令	1,567
1888～1889年度	東京仏学校	20
1905～1908年度	速成科	1,134
1907～1951年度	専門部	22,065(613)
1923～1951年度	学部(旧制大学)	11,276
1952～1983年度	短期大学部	9,128
1951～2015年度	学部(新制大学)	376,857
1952～2015年度	通信教育課程	21,415
1953～2015年度	大学院	15,954
総計		459,416(613)

## ■役職者氏名(2016年5月1日現在)

### ●理事

総長・理事長	田中 優子
常務理事	廣瀬 克哉／佐藤 良一／神谷 健司
	増田 正人
理事	鈴木 文夫／井上 泰一／石塚 護
	潮崎 敏彦／小林 清宣／北詰 昌敬

### ●監事

監事	西山俊太郎／足立 敏彦／山重美登士
----	-------------------

### ●副学長

副学長	熊田 泰章／福田 好朗／新田 誠吾
	八名 和夫

### ●学部長等

研究科長会議議長代行者	熊田 泰章
専門職大学院運営委員会議長	廣尾 勝彰
法学部長	荒谷 裕子
文学部長	奥田 和夫
経済学部長	奥山 利幸
社会学部長	徳安 彰
経営学部長	奥西 好夫
国際文化学部長	栩木 玲子
人間環境学部長	小島 聡
現代福祉学部長	岩崎 晋也
情報科学部長	廣津登志夫
キャリアデザイン学部長	金山 喜昭
デザイン工学部長	森 猛
理工学部長	李 磊
生命科学部長	石垣 隆正
グローバル教養学部長	ダイアナ コー
スポーツ健康学部長	清雲 栄純

### ●学校長

法政大学中学高等学校長	飯田 亮三
法政大学第二中・高等学校長	北詰 昌敬
法政大学女子高等学校長	和仁 達郎

■ 2016年度予算書

資金収支予算書(総括表)

(収入の部) (単位:千円)

科 目	2016(平成28)年度 予算	
	金額	構成率
学生生徒等納付金収入	36,552,663	64.8%
手数料収入	3,036,952	5.4%
寄付金収入	423,142	0.8%
補助金収入	4,410,061	7.8%
資産売却収入	3,600,172	6.4%
付随事業・収益事業収入	311,802	0.6%
受取利息・配当金収入	391,507	0.7%
雑収入	966,979	1.7%
借入金等収入	2,000	0.0%
前受金収入	6,313,341	11.2%
その他の収入	7,516,521	13.3%
資金収入調整勘定	△ 7,156,324	△ 12.7%
当年度資金収入合計	56,368,816	100.0%
前年度繰越支払資金	8,162,083	
収入の部合計	64,530,899	

(支出の部) (単位:千円)

科 目	2016(平成28)年度 予算	
	金額	構成率
人件費支出	26,654,837	50.2%
(教・職員人件費、役員報酬)	(25,543,875)	(48.1%)
(退職金支出)	(1,110,962)	(2.1%)
教育研究経費支出	11,903,156	22.4%
管理経費支出	1,564,413	2.9%
借入金等利息支出	20,802	0.0%
借入金等返済支出	502,460	0.9%
施設関係支出	6,124,147	11.5%
設備関係支出	1,063,187	2.0%
資産運用支出	3,625,962	6.8%
その他の支出	2,239,608	4.2%
[予 備 費]	430,000	0.8%
資金支出調勘定	△ 1,051,112	△ 2.0%
当年度資金支出合計	53,077,460	100.0%
翌年度繰越支払資金	11,453,439	
支出の部合計	64,530,899	

当年度資金収支差額	3,291,356	
-----------	-----------	--

事業活動収支予算書(総括表)

(単位:千円)

科 目		2016(平成28)年度 予算			
		金額	構成率		
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	36,552,663	80.1%		
	手数料	3,036,952	6.7%		
	寄付金	398,172	0.9%		
	経常費等補助金	4,403,936	9.6%		
	付随事業収入	293,802	0.6%		
	雑収入	966,979	2.1%		
	教育活動収入計	45,652,504	100.0%		
	人件費	26,679,805	58.8%		
	(教・職員人件費、役員報酬)	(25,543,875)	(56.3%)		
	(退職給与引当金繰入額)	(1,135,930)	(2.5%)		
事業活動支出の部	教育研究経費	16,759,915	37.0%		
	(資金収支額)	(11,903,156)	(26.2%)		
	(減価償却額)	(4,856,759)	(10.7%)		
	管理経費	1,908,222	4.2%		
	(資金収支額)	(1,564,413)	(3.4%)		
	(減価償却額)	(343,809)	(0.8%)		
	徴収不能額等	0	0.0%		
	教育活動支出計	45,347,942	100.0%		
	教育活動収支差額	304,562			
	受取利息・配当金	391,507	95.6%		
教育活動外収入の部	その他の教育活動外収入	18,000	4.4%		
	教育活動外収入計	409,507	100.0%		
	事業活動支出の部	借入金等利息	20,802	100.0%	
		その他の教育活動外支出	0	0.0%	
		教育活動外支出計	20,802	100.0%	
		教育活動外収支差額	388,705		
		経常収支差額	693,267		
		特別収入の部	資産売却差額	2,386,060	98.7%
			その他の特別収入	31,095	1.3%
			特別収入計	2,417,155	100.0%
事業活動支出の部			資産処分差額	868,185	100.0%
			その他の特別支出	0	0.0%
	特別支出計		868,185	100.0%	
	特別収支差額		1,548,970		
	[予 備 費]		430,000		
	基本金組入前当年度収支差額		1,812,237		
	事業活動収支差額比率		3.7%		
	基本金組入額合計	△ 3,497,368			
	当年度収支差額	△ 1,685,131			
	前年度繰越収支差額	△ 57,321,464			
基本金取崩額	0				
翌年度繰越収支差額	△ 59,006,595				

(参考)

事業活動収入計	48,479,166
事業活動支出計	46,666,929

※予算、決算に関する詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。

URL <http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/johokokai/hokoku.html>

■ 2016年度一般入学試験・学部別志願者数(前年比)

学部	2016年度 募集人員	2016年度 志願者数	2015年度 志願者数	前年比 増減	前年比 増減(%)
法学部	532	12,130	10,811	1,319	112%
文学部	469	9,213	9,159	54	101%
経済学部	615	11,320	9,928	1,392	114%
社会学部	505	10,602	9,154	1,448	116%
経営学部	526	12,543	12,433	110	101%
国際文化学部	159	3,109	3,371	-262	92%
人間環境学部	201	4,198	3,266	932	129%
現代福祉学部	172	3,992	2,349	1,643	170%
キャリアデザイン学部	177	4,558	4,790	-232	95%
GIS(グローバル教養学部)	45	1,248	759	489	164%
スポーツ健康学部	130	3,160	2,894	266	109%
情報科学部	110	2,525	2,291	234	110%
デザイン工学部	242	6,485	6,044	441	107%
理工学部	455	11,451	11,367	84	101%
生命科学部	187	5,442	5,370	72	101%
T日程入試(統一日程)合計	657	19,045	17,994	1,051	106%
英語外部試験利用	35	430	—	430	—
A方式入試(個別日程)合計	3,119	50,975	47,013	3,962	108%
「大学入試センター試験」 利用入試B方式	549	24,832	23,121	1,711	107%
「大学入試センター試験」 利用入試C方式	140	6,618	5,787	831	114%
航空操縦学専修	25	76	71	5	107%
総合計	4,525	101,976	93,986	7,990	109%

■ 施設・土地面積

2016年3月31日現在

- 大学キャンパス部分  
校地面積：943,079.13m<sup>2</sup>  
校舎面積：344,580.13m<sup>2</sup>
- 大学キャンパス以外の  
セミナーハウス、合宿所等  
校地面積：190,267.55m<sup>2</sup>  
校舎面積：19,716.77m<sup>2</sup>
- 併設中学・高校  
校地面積：110,916.64m<sup>2</sup>  
校舎面積：80,837.72m<sup>2</sup>

■ 蔵書冊数

2016年3月31日現在

- 市ヶ谷図書館……………744,630冊  
和漢書：553,846冊  
洋書：190,784冊
- 多摩図書館……………841,904冊  
和漢書：500,015冊  
洋書：341,889冊
- 小金井図書館……………160,013冊  
和漢書：129,604冊  
洋書：30,409冊

■ 情報機器数(教育研究用PC台数)

2016年3月31日現在

市ヶ谷	2,000
多摩	1,465
小金井	6,817
合計	10,282

法政大学大学院は、1951年の開設以来、時代とともに発展拡充してきています。夜間・昼夜開講の研究科の設置、研究科横断型のインスティテュートの設置、ロースクールをはじめとする高度職業人養成課程の専門職大学院の設置がそれらを代表しています。入

学試験も学内(学部内)入試、一般入試、自己推薦入試、外国人入試、社会人入試など様々な形式で実施しています。詳細は本学ホームページ、下記各キャンパス大学院担当へお問い合わせください。

## ○修士課程・博士後期課程

研究科名	専攻名	修士課程(入学定員)	博士後期課程(入学定員)	問い合わせ		
人文科学	哲学	修士(哲学)	15	博士(哲学)	大学院事務部大学院課 03-5228-0550・0551	
	日本文学	修士(文学)	20	博士(文学)		
	英文学	修士(文学)	20	博士(文学)		
	史学	修士(歴史学)	15	博士(歴史学)		
	地理学	修士(地理学)	15	博士(地理学)		
	心理学	修士(心理学)	10	博士(心理学)		
国際日本学インスティテュート	修士(学術)		博士(学術)			
国際文化	国際文化	修士(国際文化)	15	博士(国際文化または学術)		3
経済学	経済学	修士(経済学)	50	博士(経済学)		10
法学	法律学	修士(法学)	20	博士(法学)		5
政治学	政治学	修士(政治学)	10	博士(政治学)		5
	国際政治学	修士(国際政治学)	25			
社会学	社会学	修士(社会学)	20	博士(社会学)	5	
経営学	経営学	修士(経営学)	60	博士(経営学)	10	
キャリアデザイン学	キャリアデザイン学	修士(キャリアデザイン学)	20			
公共政策	公共政策学	修士(公共政策学)	25	博士(公共政策学)	10	
	サステイナビリティ学	修士(サステイナビリティ学)	15	博士(サステイナビリティ学)	5	
政治学/公共政策	連帯社会インスティテュート	修士(学術)				
政策創造	政策創造	修士(政策学)	50	博士(政策学)	10	
				博士(学術)		
人間社会	福祉社会	修士(福祉社会)	15	博士(人間福祉) 博士(学術)	5	
		修士(学術)				
	臨床心理学	修士(臨床心理学)	15			
	人間福祉					
スポーツ健康学	スポーツ健康学	修士(スポーツ健康学)	10		多摩事務部スポーツ健康学部事務課 042-783-3003	
情報科※	情報科学	修士(理学)	30	博士(理学)	5	
理工※	機械工学	修士(工学)	50	博士(工学)	2	
	電気電子工学	同上	50	同上	5	
	応用情報工学	同上	50	同上	4	
	システム理工学	同上	75	同上	4	
	応用化学	修士(理工学)	30	博士(理工学)	3	
	生命機能学	修士(生命科学)	40	博士(生命科学)	4	
デザイン工	建築学	修士(工学)	55	博士(工学)	2	
	都市環境デザイン工学	修士(工学)	25	博士(工学)	2	
	システムデザイン	修士(工学)	30	博士(工学)	3	

※ 2016年9月に理工学研究科と情報科学研究科で、サステイナブルなグローバル社会を支える総合理工学を英語で学ぶ横断型大学院プログラム「IIST」を新設します。

## ○専門職学位課程

研究科名	専攻名	修士課程(入学定員)	博士課程(入学定員)	問い合わせ
法務	法務		法務博士(専門職)	30 大学院事務部専門職大学院課 法科大学院担当 03-3264-9928
イノベーション・マネジメント	イノベーション・マネジメント	経営管理修士(専門職) 経営情報修士(専門職)	60	大学院事務部専門職大学院課イノベーション・マネジメント担当 03-3264-4341

## 図書館

法政大学図書館は、市ヶ谷・多摩・小金井の各キャンパスにあり、蔵書数は和・洋の各種資料を含めて174万冊に達します。1899(明治32)年に設置され、100年以上の長きにわたり、本学の教育と研究を支えてきました。現在も法政大学図書館は、大学の心臓として、多くの学生や教員に利用されています。



市ヶ谷図書館

市ヶ谷キャンパスの80年館にあり、地下4階から地上2階までの6フロアで構成されています。2階は閲覧スペースとなっており、地下は閉架書庫となっています。また、市ヶ谷田町校舎に閲覧室、富士見坂校舎に「ラーニングcommons」を設置しています。



多摩図書館

多摩キャンパス3号館にあり、地下2階から地上4階までの6フロアで構成されています。3階には180台以上のPCが利用できるPCルームの他、グループ学習が可能な「ラーニングcommons」や「グループ学習室」および「クリエイティブルーム」を設置しています。



小金井図書館

小金井キャンパス南館にあり、地下1階・1階と3階の3フロアで構成されています。1階には「ラーニングcommons」や屋外で読書ができる「サンクンガーデン」、3階にはより静かな「スタディールーム」とDVD視聴専用の「メディアライブラリー」を設置しています。

## 卒業生の利用について

学校法人法政大学の設置する学校の卒業生の方はどなたでも利用できます。

### ■ 利用登録・更新手続き

カウンターで所定の申込書に記入し、登録手続きをしてください。ライブラリーカードを発行します。登録には、卒業生であることを証明する書類(卒業証明書や学位記の写し)およびご自身を証明する公的な証明書(運転免許証など)が必要です。必ずご持参ください。

卒業生のライブラリーカードは年度ごとの更新となります。

### ■ 利用できる資料

図書館が所蔵する資料は、開架・閉架を問わず館内利用できます。

### ■ 館外貸出

開架・閉架図書(2週間)、政府刊行物・雑誌・紀要(1週間)、合計10冊まで館外貸出できます。

### ■ 所蔵調査

電話による所蔵についての問い合わせには応じられません。図書館ウェブサイト(下記URL)から蔵書検索ができるOPACをご利用ください。

**URL** <http://www.hosei.ac.jp/library/>



# 活躍する体育会

## ■ 主要大会結果(2015年4月～2016年3月)

※学年は大会当時

### ●国内大会(全日本、全日本学生(インカレ)大会優勝、日本新記録など)

【自転車競技部】全日本学生トラックレースシリーズ：総合優勝＝荒井佑太(経営2)／全日本大学対抗選手権：男子4kmチームパーシュート1位

【スケート部】日本学生氷上競技選手権：男子総合優勝／2015/2016ジャパンカップスピードスケート：第1、2、3戦1000m1位，第2戦マスタート競技1位＝藤野裕人(文4)／全日本学生スピードスケート選手権：スプリント部門1位＝藤野裕人

【陸上競技部】日本陸上競技選手権リレー競技大会：男子4×100m1位(大会新)、4×400m2位

【フェンシング部】全日本大学王座：男子サーブル1位／全日本大学対抗：男子サーブル1位、男子フルーレ1位／全日本選手権(団体)：男子サーブル2位、女子エペ2位／全日本学生個人選手権：男子フルーレ1位＝大石利樹(法3)、男子サーブル1位＝大崎葵一(経営2)、男子エペ1位＝中村豪(環境2)、女子フルーレ1位＝眞田玲菜(CD3)、女子サーブル1位＝福島史帆実(法2)／全日本選手権(個人)：男子フルーレ3位＝東哲平(経営4)、女子フルーレ3位＝眞田玲菜(CD3)

【バドミントン部】全日本学生選手権：男子団体優勝

【重量挙げ部】全日本学生ウエイトリフティング選抜大会：94kg級優勝＝赤松哲郎(CD3)、85kg級優勝＝平仲浩也(法4)／全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会：85kg級優勝＝新海裕輝(CD3)／全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会：94kg級優勝＝赤松哲郎，85kg級優勝＝平仲浩也

【剣道部】全日本女子学生選手権：優勝＝高橋萌子(CD4)

【射撃部】全日本女子学生ライフル射撃選手権：女子団体総合優勝、50mライフル三姿勢60発競技優勝＝小澤楓(福祉4)、50mライフル三姿勢60発競技団体優勝／全日本学生ライフル射撃選手権：50mライフル伏射60発競技優勝＝山本修生(情報3)

### ●国際大会(主な成績)

【自転車競技部】2016年アジア自転車競技選手権大会、ワールドグランプリ国際自転車競技大会：新村穰(法4)、ワールドグランプリ国際自転車競技大会：荒井佑太(経営2)

【水泳部】世界水泳選手権日本代表(4×200mリレー)＝青木智美(社会3)

【スキー部】FISレース密圏：大回転3位＝松浦由季乃(デ工2)

【スケート部】2016IIHF世界U20選手権：日本代表＝石田和哉(経営1)／2015/2016ジュニアワールドカップオランダ大会、ドイツ大会：日本代表＝大竹拓三(文1)／ワールドカップスピードスケート第5戦ノルウェー大会、2016世界スプリントスピードスケート選手権、世界スピードスケート大学選手権：日本代表＝藤野裕人(文4)、2015 ISUジュニアグランプリスロバキア大会、クロアチア大会：日本代表＝宮田大地(文1)

【陸上競技部】ユニバーシアード日本代表：4×100mリレー優勝＝長田拓也(経済3)、大瀬戸一馬(スボ健3)、世界陸上競技選手権日本代表＝長田拓也、大瀬戸一馬

【フェンシング部】世界大会(ジュニア部門)日本代表＝東哲平(経営4)、長島徳幸(文3)、大石利樹(法3)、中村豪(環境2)、高橋優作(法2)、横尾知浩(社会1)、野口凌平(経営1)、敷根章裕(法1)、久良知美帆(法4)、柳岡はるか(法3)、眞田玲菜(CD3)、緒方実奈海(法1)、村上久美(国際1)、富永恵美(法1)／2015世界選手権日本代表＝柳岡はるか、ユニバーシアード日本代表＝大崎葵一、安藤光平(法4)、福島史帆実(法2)

【剣道部】世界剣道選手権：団体優勝＝高橋萌子(CD4)

【レスリング部】アジアジュニア選手権大会日本代表＝齋藤僚太(経営1)



(スケート部写真提供：スポーツ法政新聞会)



# 法政オリジナル GOODS



▲トレーナー



▲Tシャツ



▲野球部応援グッズ



▲スウェットパンツ



▲マフラー



▲ネクタイ



▲法政大学オリジナル復興支援商品  
(ピンバッジとキーホルダー)



◀湯呑とマグカップ



▲えこびよんぬいぐるみ



▲マグカップ



▲名刺入れ



▲お菓子



▲応援手旗



ゴルフボール▶

購入方法と問い合わせ先

〒 102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1 ボアソナード・タワー地下1階  
株式会社 エイチ・ユー

TEL : 03-3264-5086 Email : info@h-u-goods.com

URL : <http://www.h-u-goods.com/>

※法政大学生生活協同組合でも、一部の商品を取り扱っております。